

荒砥上ノ坊遺跡 I

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

縄文時代～古墳時代の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 5

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

荒砥上ノ坊遺跡 I

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

縄文時代～古墳時代の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 5

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

例言・凡例

1. 本書は、県営ほ場整備事業荒砥北部地区に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書『荒砥上ノ坊遺跡Ⅰ』《遺物観察表編》である。
2. 遺物は、本文編に掲載した挿図中の実測図の順に掲載している。遺物の種類毎に表の書式は異なっている。遺物番号は挿図中の遺物番号に一致している。表中に使用した記号や略号は各々以下の通りである。
 - ①器種 《石器》U F = Used Flake (使用痕のある剥片)、R F = Retouchd Flake (加工痕のある剥片)
 - ②法量 《土器・石器》口：口縁部直径 底：底部直径 高：器高 胴：胴部最大径
石器の厚さは、おおむね断面実測位置で計測した。
なお、計測値に()を付したものは復元値である。
 - ③色調 陶磁器を除いて土器の色調は小山正忠・竹原秀雄編『新版標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局監修を用いて記載した。
3. なお、古墳時代初頭の遺構出土の器種のうち「弥生土器」は、弥生土器の器形や文様、整形技法の系譜を引く土器の意味で、時代性を表わしてはいない。

目 次

1. 縄文時代の出土遺物	1
2. 古墳時代初頭の出土遺物	4
3. 古墳時代中・後期の出土遺物	24

1. 縄文時代の出土遺物

I区72号住居出土遺物観察表《土器》第12図・PL4

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②色調	器形・整形・文様の特徴
1	縄文土器 深鉢	口縁部・底部欠損	ほぼ中央部に埋設	②橙7.5YR6/6	口縁部および底部を欠損する。胴下半は、火熱を受け赤化する。縄文はRL横位であるが、斜位に近く条が横走する。原体は硬質の繊維が使用されている。
2	縄文土器 浅鉢	胴部破片	中央部 床面上16.5cm	②明褐7.5YR5/6	口縁がくの字状に屈曲する浅鉢。器内外面に横位の整形痕が残る。一部に赤色塗彩が認められる。部分的であるため、全面塗彩が彩文であるかは不明。

I区72号住居出土遺物観察表《石器》第11～13図・PL4

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S1	磨石	21.2・12.0 4.5	石英閃緑岩 1750.0	南西隅 床面上3.5cm	偏平礫を用いる。裏面側には広い平坦面を有する一方、表面側には稜線を有する。表裏両面とも摩耗するほか、側縁部分・小口部分には敲打が著しい。
S4	敲石	7.0・4.6 1.7	黒色頁岩 74.0	北壁際 床面直上	偏平礫を用いる。礫の小口部分・側縁には弱い敲打痕が残る。小形だが、類似資料が同じ住居埋土より出土しており、ここでは敲石と認定した。
S3	加工痕ある剥片 RF	6.6・7.1 1.9	ホルンフェルス 101.0	南壁際 床面直上	幅広の縦長剥片を用いる。概して剥離を粗く全周するよう施す一方で、左側縁の上端部には微細な剥離が施され、この部分は弱く摩耗している。
S7	石錘	3.2・2.2 0.8	黒色安山岩 5.0	埋没土	横長の幅広剥片を用いる。やや粗い剥離を錯向状に施し、機能部を作出している。上端の平坦部分より微細な調整を施す。
S6	使用痕ある剥片 UF	8.2・7.0 1.0	黒色頁岩 66.0	北壁際 床面直上	礫面を大きく残す剥離の初期段階に生じる幅広の縦長剥片を用いる。剥片には弱い摩耗と微細な「刃こぼれ」が生じており、特に剥片端部の摩耗は著しい。
S5	石匙	6.4・10.8 1.2	黒色頁岩 56.0	東壁際 床面直上	幅広の横長剥片を用いる。粗く浅い剥離を周辺に加え、器体を作成している。刃部は緩く弧状を呈し、若干摩耗している。中央部分はノッチ状を呈し、刃部の再生を試みる。
S8	石棒	13.1・4.7 4.4	流紋岩質凝灰岩 173.0	東壁際 床面上7cm	断面円形の棒状に整形した礫を用いる。両端も、その一方をやや細くなるように整形している。細い方の小口はやや平らな面ができており、その周囲の側面に2条の沈線が刻まれている。側面中に2カ所剥落があるが、人為的なものか埋没時の変化かは判断できない。
S2	磨製石斧	15.2・6.4 3.4	変玄武岩 460.0	西壁際 床面直上	概ね、形状は左右対象で撥状に近い。刃部は長軸に対し偏る。側縁部分に残る敲打痕と表裏両面の上半部に残る敲打痕は異なり、前者は研磨の後の、後者は研磨の前の敲打。

2区1号住居出土遺物観察表《土器》第15・16図・PL5・6

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②色調	器形・整形・文様の特徴
3	縄文土器 深鉢	口縁部破片	P4付近 床面上7.5cm	②にぶい橙7.5YR6/4	口縁部がくの字状に張り出す波状口縁の深鉢。波頂部両側には小突起があり、直下には円形貼付文が加えられる。平行線による文様は、口縁波頂部および張り出し部分を中心に構成され、弧状もしくは入組状文が施される。縄文はRL横位。施文はやや粗で、部分的に認められる。
33	縄文土器 深鉢	口縁部破片	埋没土	②にぶい橙7.5YR6/4	№3と同一個体
23	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②黒褐10YR2/2	横位の平行線文により口縁部文様帯を構成する。縄文はRL横位。
17	縄文土器 深鉢	口縁部破片	埋没土	②にぶい黄橙10YR7/3	横位の平行線文により口縁部文様帯を構成する。波状口縁とみられる。
8	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい黄橙10YR7/3	横位の平行線文が施される。縄文はRL横位で、施文は粗雑。
7	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②浅黄橙10YR8/3	平行線による弧状文が施される。縄文はやや不明瞭であるが、R斜位で条が横走する。
24	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②明赤褐5YR5/6	幅広(4ミリ)平行線文により文様構成される。施文は深く明瞭。内面にも平行線文が横位、弧状に加えられている。外面の平行線よりやや巾狭で施文も浅い。整形痕か文様を構成するものかは不明。
15	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	①輝石粒多く含む。 ②にぶい赤褐5YR6/3	横位の平行線文は深く明瞭。縄文はRL横位。
18	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい赤褐5YR6/4	縄文は施文が粗く不明瞭であるが0段3条RL横位と観察される。平行線文は深く明瞭。
26	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい橙5YR6/4	幅広(4ミリ)の平行線文は、一方が強く施文され、もう一方は浅く不明瞭となる傾向がある。縄文は認められない。
37	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい橙5HR7/4	2帯1組の平行線文が施される。施文は丁寧で明瞭。縄文は認められない。
13	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい赤褐5YR6/4	平行線文は幅3ミリ程度で、施文はやや粗雑である。縄文は認められない。
19	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい赤褐2.5YR4/4	器面に整形痕が残る。平行線文は一方が深く加えられる傾向がある。縄文は認められない。
9	縄文土器 深鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい橙7.5YR6/4	平行線文は、深く明瞭。縄文はRL横位で、施文は粗く条は不規則である。

遺物観察表

(2区1号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②色調	器形・整形・文様の特徴
12	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	①輝石粒多く含む。 ②褐7.5YR4/4	幅3ミリの平行線文が1センチ間隔で横位に加えられる。縄文は認められない。
43	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②橙7.5YR6/6	横位の平行線文帯により文様構成される。平行線文は一方がやや強く施文される傾向がある。縄文は認められない。胎土中に植物の種子とみられる圧痕が観察できる。
47	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②褐7.5YR4/4	2帯1組の平行線により木葉状入組文が構成される。縄文は部分的にRLが観察されるが、施文方位は不明。
27	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい黄橙10YR7/3	No25と同一個体
28	縄文土器 深鉢	頸部破片		埋没土	②にぶい黄橙10YR6/3	口縁部が強く張り出す深鉢。 No25と同一個体
29	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい黄橙10YR6/4	No25と同一個体
25	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい黄橙10YR6/3	胴上部がくの字状に張り出す深鉢。平行線文間に縦位および格子状の平行線を組み合わせ文様帯を構成する。文様帯間にはLR横位、L横位が交互に施され、縄文帯を形成する。
30	縄文土器 深鉢	頸部破片		埋没土	②にぶい黄橙10YR7/3	口縁部がくの字状に張り出す深鉢。平行線文により文様帯が構成される。縄文は部分的に観察されるが、施文は浅く種別は不明。
20	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②明褐7.5YR5/6	平行線により入組文が構成される。縄文は不明。
10	縄文土器 深鉢	口縁部破片		埋没土	②明黄褐10YR6/6	縄文はRL横位で、施文は良好。口唇上面にも同一原体による縄文が施文される。
11	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②明黄褐10YR6/6	縄文はRL横位。縄文、胎土等No10と類似しており、同一個体の可能性がある。
22	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②橙5YR6/6	平行線文間に列点状刺突文を加える。内面に炭化物付着。器面に縄文が部分的に観察されるが種別は不明。
6	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②褐10YR4/6	粗雑な刻目を加える平行線文により横位、弧状文が施される。縄文は不明瞭であるが、条が横走している。RLとみられる。
38	縄文土器 深鉢	口縁部破片		埋没土	②暗褐10YR3/3	波状口縁の口縁部片。口縁部がくの字状に張り出す深鉢。平行線文により文様構成されるが施文は深く明瞭。
16	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい橙7.5YR6/4	RL横位。施文は粗雑で、条・節は不規則である。
21	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②赤褐5YR4/8	RL横位。輪積み部分で剥落する。
4	縄文土器 深鉢	胴部破片		P4脇床面直上	②にぶい赤褐5YR5/4	器面には不明瞭ながらRL横位が観察される。浮線文は器体と異なる粘土により加えられ、矢羽根状の刻目が施される。
74	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい赤褐2.5YR4/4	No67と同一個体
67	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい赤褐5YR5/4	器体と異なる粘土により浮線文が加えられる。浮線文上には矢羽根状刻目、浮線文間には列点状刺突文が施される。縄文は認められない。
66	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②明赤褐5YR5/6	No65と同一個体
65	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②明赤褐5YR5/6	浮線文の貼付は丁寧で、上に加えられる矢羽根状の刻目は深く、器面に達する。縄文は認められない。器内面には炭化物が付着する。
72	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい赤褐5YR6/4	No65と同一個体
69	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②黒褐10YR3/1	浮線文上の刻目は丸棒状工具により加えられる。施文はやや粗い。不明瞭ながら縄文が観察され、RL横位とみられる。
68	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい赤褐5YR6/4	平行線文により文様が構成され、部分的に矢羽根状の刻目が施される。浮線文土器と同様の文様帯を構成する。縄文は認められない。
75	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい橙5YR7/4	No68と同一個体
73	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい赤褐5YR6/4	平行線文間に矢羽根状の刻目が施される。施文は丁寧で明瞭。
78	縄文土器 深鉢	口縁部破片		埋没土	②にぶい黄橙10YR6/4	口縁部が強く外反する水平口縁の深鉢。口縁に沿って、縦位平行線文帯が巡り、以下平行線文間には貝殻腹縁文が施される。
76	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい黄橙10YR6/4	平行線による区画文内に貝殻腹縁文が縦位に施される。内面には炭化物が付着する。
77	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい黄橙10YR6/4	No76と同一個体
5	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②にぶい橙7.5YR7/4	L(上直前段反燃横位。内面にも同一原体で横位に施文。内面施文の例は稀。
79	縄文土器 浅鉢	胴部破片		埋没土	①雲母片が多量に含まれる ②明褐7.5YR5/6 (部分的に赤く塗られている)	胴部に屈曲部をもち口縁が強く外反する浅鉢。器内外面とも整形は極めて良好で、平滑面が形成される。沈刻文もしくは縄文はみられないが、部分的に赤色塗彩が認められ、彩色が彩文が施されていたものとみられる。

1 縄文時代の出土遺物

2区1号住居出土遺物観察表《石器》第17図・PL6

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S9	凹み石	8.65・7.7 3.8	粗粒安山岩 310.0	P3付近 床面上9cm	丸い偏平礫を用いる。「凹み」の残存位置は表裏両面で異なり、表面側の「凹み」は礫の中央付近に、裏面側の「凹み」礫の中央に残る。表裏両面とも平坦部分は摩耗する。
S11	石製石斧	5.8・3.9 1.5	黒色安山岩 38.0	埋没土	下半部分を大きく欠損するため全体の形状は不明だが、概ね短冊状を呈する可能性が高い。側縁部分には極めて弱い摩耗が見られ、使用段階に破損した可能性が想定されよう。
S14	敲石	8.7・4.1 2.3	頁岩 125.0	埋没土	偏平礫を用いる。側縁・小口部分には使用で生じる剥離痕と敲打痕が著しい。
S17	刮器	8.2・4.8 1.3	黒色頁岩 41.0	埋没土	下端部分を除き、形状は概ね左右対象に近く、中央付近に肩を持つ。裏面形状・側縁の摩耗状況からみて打製石斧の転用か、再生段階に生じた大形剥片を用いる可能性が高い。
S15	加工痕ある剥片	4.2・6.8 1.1	黒色頁岩 29.0	埋没土	礫面を大きく残す剥離の初期段階に生じる剥片を用いる。加工部分は打面部分に集中的に見られる。
S18	石核	9.8・17.6 6.0	黒色頁岩 1250.0	埋没土	部分的に礫面を残す大形の分割礫を用いる。剥離作業は全面に及び、概して幅広い剥片を剥離している。

6区16号住居出土遺物観察表《土器》第18図・PL6

番号	器種	残 法 存 量	出土位置	①胎土 ②色調	器形・整形・文様の特徴
83	縄文土器 深 鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい赤褐2.5YR5/4	連続爪形文はやや深めだが施文はやや雑。縄文はRL横位が施される。
84	縄文土器 深 鉢	胴部破片	埋没土	②赤褐2.5YR4/6	連続爪形文は平行線文を施した後に加える。施文はやや粗雑。縄文はRL横位。
82	縄文土器 深 鉢	胴部破片	北西隅 床面上16.5cm	②にぶい黄橙10YR7/3	RL横位で浅く不明瞭。
81	縄文土器 深 鉢	胴部破片	北西隅 床面上18cm	②明赤褐5YR8/6	横位の沈線文は密に加えられるが、施文はやや雑。縄文は観察されない。
86	縄文土器 深 鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい黄橙10YR6/3	RL横位。浅く不明瞭。一部平行線文上にも縄文が加えられる。
85	縄文土器 深 鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい黄褐10YR5/3	縄文は浅く不明瞭だがRL横位。平行線文間に弧状および斜位の刻目加える。

2. 古墳時代初頭の出土遺物

Ⅰ区41号住居出土遺物観察表〈土器〉第21図・PL 8

番号	器種	残存法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
89	弥生土器 壺	口縁部1/4破片 口 (13.2cm)	南東部 床面上2cm	①細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	外反する口縁部破片。端部はやや丸くなる。 外面 口縁部縦方向ハケメ。横方向ナデ。 内面 口縁部横方向ハケメ後、上半部横ナデ。
98	土師器 高杯	杯部1/2残存 口 (16.6cm)	埋没土	①角閃石・石英細粒・細砂を含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	下端に稜をもち、口縁部が大きく外湾する高杯。口縁部は丸い。 外面 杯部縦方向ハケメ。横方向ナデ。下半横方向削り。口縁部横ナデ。内面 杯部横方向ハケメ後、横方向磨き。下半横方向削り。口縁部横ナデ。
94	土師器 鉢	口縁～体部中位1/4破片 口 (16.0cm)	南東部	①細砂・石英細粒・角閃石を多量に含む。②酸化焰。 硬質③にぶい黄橙10YR6/3	やや幅広の折り返し口縁の鉢。底部に穿孔の可能性もある。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向の削り。下位縦方向削り後、縦方向磨き。煤付着。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向の削りナデ。
88	土師器 小形甕	体部～底部1/4欠損 口 13.9cm 高 14.8cm 底 (4.6cm)	南東部 床面上18cm	①微細砂・長石粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR6/3	広口のくの字口縁の小形甕。口縁部外面にはやや肥厚する段がある。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向削り。下半横方向削り調整後、中位縦方向ハケメ。底部磨ナデ。煤付着。 内面 口縁部横方向ハケメ。体部横方向の削りナデ。底部指ナデ。
90	土師器 手捏ね鉢	体部中～下位残存 底 3.8cm	南東部 床面上18cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	薄く押えられている。底部はやや上がる。口縁部形態は不明。 外面 体部縦方向ハケメ後、縦方向磨き。底部ナデ。 内面 体部斜方向削り。底部ナデ。
93	土師器 甕	体部下位～底部残存 底 5.5cm	P1の中 底面上28cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③明黄褐10YR6/6	やや厚手の底部。内面から焼成前穿孔。孔は底部中央に1カ所。 外面 体部下位斜方向磨き。底部ナデ。 内面 体部下位斜方向削り。底部ナデ。
91	土師器 壺	底部残存 底 6.2cm	南東部 床面上18cm	①微細砂・直径3～5mmの石英粒を含む。②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	外面 体部下位横方向削り後、指ナデ。底部井桁状の削り。 内面 底部横方向ハケメ。
87	弥生土器 甕	口縁～体部下位残存 口 15.3cm 最 18.9cm	南西部 床面直上	①細砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化焰。 ③赤褐10R5/4	口縁部が高く内湾する。体部はやや歪む。 外面 口縁部4段の輪積み痕を残す。指頭痕が残る。体部縦方向ハケメ後中位のみ縦方向磨き。煤付着。 内面 口縁部横方向磨き。体部横方向磨き。
101	土師器 甕	口縁～体部上位小破片 口 (19.8cm)	埋没土	①微細砂・角閃石と直径1～3mmの細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	くの字に屈曲する口縁部破片。端部はやや外湾し、外面に面とりがある。 外面 口縁部縦方向ハケメ後、上端部のみ横ナデ。脚部横方向ハケメ。 内面 口縁部横方向ハケメ後、上端部のみ横ナデ。脚部横方向削りナデ。
92	土師器 甕	口縁部1/4破片 口 (20.0cm)	P1の中 底面上28cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR6/3	頸部が丸く屈曲する口縁部。端部外面に面とりする。 外面 口縁部斜方向ハケメ後横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜方向ハケメ。内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部横方向削りナデ。
102	土師器 甕	頸部～体部上位小破片	埋没土	①微細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。 ③黒5Y2/1	くの字に屈曲する頸部破片。 外面 口縁部下位縦方向ハケメ。体部上位横方向ハケメ。 内面 口縁部横方向ハケメ。体部横方向削りナデ。
97	土師器 甕	口縁部1/4破片 口 (20.0cm)	北部 床面直上	①微細砂・角閃石と直径3～5mmの砂粒・石英粒を少量含む②酸化焰③橙5YR4/6	頸部がくの字に屈曲する口縁部破片。端部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。 内面 口縁部横方向ハケメ後、横方向磨き。
95	弥生土器 壺	頸部破片	南東部 床面上2cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	体部は丸く、口縁部が直立すると思われる頸部破片。 外面 頸部斜方向ハケメ後横ナデ。体部上位一単位8条の櫛描波状文施文。内面 斜方向ハケメ後磨き。体部斜方向ハケメ。
99	弥生土器 壺	体部破片	埋没土	①直径2～3mmの小石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	球形胴部の甕形土器の体部上位破片。 外面 体部上位2～3条ずつの平行線文2段の下に、右下がりの斜平行線文が付され、それ以外が赤色塗彩されている。内面 指ナデ。
103	土師器 甕	体部破片	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/3	頸部がくの字に屈曲する破片。 外面 頸部横ナデ。体部斜方向ハケメ。 内面 頸部横方向ハケメ。体部横方向削りナデ。
96	弥生土器 壺	口縁部下半破片	南東部 床面上2cm	①微細砂。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3	頸部から高く外反する口縁部破片。 外面 口縁部横方向ハケメ後横ナデ。頸部櫛描波状文の上端が残る。 内面 口縁部横・斜方向ハケメ後磨き。
100	土師器 甕	体部破片	埋没土	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	頸部がゆるやかに屈曲する頸部破片。 外面 頸部横ナデ。体部横方向ハケメ。 内面 頸部横ナデ。体部横方向削りナデ。
104	土師器 甕	体部破片	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③灰褐5YR4/2	頸部がゆるやかに屈曲する頸部破片。 外面 頸部横ナデ。体部斜方向ハケメ。 内面 頸部かすかな横方向ハケメ。体部ナデ。

Ⅰ区41号住居出土遺物観察表〈石器〉第21図・PL 8

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S19	砥石	10.6・7.6 5.8	閃緑岩 700.0	埋没土	角礫の一面を使用する砥石。両端が破損している。

2 古墳時代初頭の出土遺物

(1区41号住居)

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S32	使用痕ある剥片	6.8・9.7 1.3	黒色頁岩 93.0	埋没土	礫面を大きく残す剥離の初期段階に生じる剥片を用いる。台形に近い剥片形状を呈し、剥片端部には微細な「刃こぼれ」が生じている。

I 区43号住居出土遺物観察表《土器》第23図・PL 9

番号	器種	残 存 法 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
107	土師器 小形甕	体部の一部・底部欠損	北壁際 床面上直上	①砂粒・石英粒を多量に含。 ②酸化焰。二次焼成。 ③赤褐10R5/4	口縁部が短く長立する小形甕。体部は中位が大きく膨らむ。 外面 体部縦方向窪ナデ。中位は二次焼成によるとみられる剥離が著しく、整形痕は不明。下位斜方向窪ナデ。口縁部横ナデ。体部保付着。 内面 体部下位縦方向ナデ。中位～上位横方向窪ナデ。口縁部横ナデ。
112	土師器 鉢	口縁～体部下位1/4破片 口(12.6cm)	南東壁寄り 床面上8.5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4	短く外反する口縁部。体部はあまり膨らまない。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ。上位に横方向のナデ痕がある。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横ナデ。中位斜方向窪ナデ。 下位横方向窪ナデ。
114	土師器 小形器台	口縁部・裾部一部欠損 口 8.2cm 高 8.4cm 底 10.2cm	南東隅 床面上2.5cm	①砂粒・長石粒・黒色鉱物 粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	器受部口縁が小さく屈曲する小形器台。台部が大きく、ラップ状に開く。 外面 器受部縦方向ナデ。口縁部横ナデ。接合部横ナデ。脚部縦方向窪 磨き。裾部横ナデ。内面 器受部横方向細かい窪磨き。口縁部横ナデ。 接合部ナデ。脚部上半縦方向ナデ。下半中広の横ナデ。
110	土師器 高杯	杯部1/2残存 口(13.2cm)	南東隅 床面上2.5cm	①細砂特に長石粒を多く含。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR7/4 内面黒10YR1.7/1	下部に稜をもつ小形の高杯。口縁部内面端部にかすかな面とりが残る。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向窪磨き。下位横方向窪削り。脚部縦方 向窪磨き。内面 口縁部横ナデ。杯部器面が荒れており、図化不能で あるが、縦方向の窪磨きがされていたとみられる。
116	土師器 高杯	脚部残存	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③浅黄橙10YR8/4	ラップ形に開く高杯の脚部。4分割の位置に穿孔。 外面 脚部縦方向窪磨き。 内面 脚部上半窪ナデ。下半横方向ハケメ。
115	土師器 台付甕	台部1/4破片	埋没土	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄褐10YR5/4	やや端部が内湾する台部。厚手。 外面 台部斜方向羽状のハケメ。裾部指押え。 内面 台部横方向ハケメ。
111	土師器 台付甕	体部下位～台部上位1/2残	北東隅 床面上4cm	①微細砂を少量含む。砂っ ぽい。②酸化焰。 ③にぶい黄褐10YR6/4	大きく丸い体部にやや内湾する台部がつく。 外面 体部ナデ後、縦・斜方向窪磨き。台部縦方向窪磨き。内面 縦 横方向ハケメ後、横方向窪磨き。台部横方向ハケメ後、横方向窪ナデ。
106	土師器 高杯	杯部1/2残存 口 21.0cm	東壁寄り 床面上11cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4	口縁端部がやや内湾する高杯。 外面 斜方向ハケメ後、横方向窪磨き。 内面 横方向窪磨き。内外面赤色塗彩。
109	土師器 高杯	杯部・口縁端部1/4欠損 口 23.0cm 高 13.2cm 底 11.0cm	北東部 床面上10cm	①砂粒を多く含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③淡黄2.5Y8/5	若干内湾する大きい杯部に、小さめの三角錐形の脚部。脚端部も内湾。 外面 杯部横方向ナデ。口縁部横ナデ。脚部縦方向ハケメ後、上半縦方 向窪ナデ。 内面 杯部縦方向窪磨き。口縁部横ナデ。脚部上半ナデ。下半横ナデ。
105	土師器 台付甕	ほぼ完形 口 11.3cm 高 20.3cm 最 15.8cm 底 8.4cm	南東隅 床面上12cm	①砂粒・長石細粒・赤色鉱 物細粒を多く含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③にぶい黄橙10YR6/3	やや長い外反する口縁部。丸い体部に、端部が外反する台部がつく。 外面 口縁部横ナデ。頸部弱いナデ調整。体部上半縦横方向ハケメ。下 半横方向窪削り。脚部斜方向窪ナデ後、部分的に縦方向窪磨き。下端部 横ナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ。体部上位横方向ハ ケメが部分的に残る。中位ナデ調整後、縦方向窪磨き。下位横方向窪ナ デ。脚部横方向窪ナデ。下端部横ナデ。
108	土師器 蓋	摘み部 残存 摘径 3.3cm	埋没土	①細砂を含む。②酸化焰。 ③浅黄2.5Y7/3	上面が平らな断面台形の摘み。 内外面ともナデ調整。
118	弥生土器 甕	口縁部破片	埋没土	①微細砂・角閃石を少量含。 ②酸化焰。やや硬質。 ③褐灰10YR6/1	やや外反する口縁部破片。 外面 口縁部3～4条の擬凹線。頸部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ。
119	弥生土器 壺	口縁部破片	埋没土	①微細砂を含む。粉っぽい。 ②酸化焰。③灰白2.5Y8/2	頸部外面に突出部のある破片。 外面 赤色塗彩。段端部に線状の刺突文。
120	土師器 鉢	口縁～底部1/2残存 口 12.1cm 高 6.6cm 底 3.7cm	埋没土	①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	小さな底部に内湾する体部。直立気味の口縁部がつく鉢形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向窪磨き。下半縦方向窪磨き。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向窪磨き。下半縦方向窪磨き。
117	土師器 高杯	杯部破片	埋没土	①微細砂・角閃石を含むが、 緻密。②酸化焰。硬質。 ③暗灰黄2.5Y5/2	口縁部下位内外面に段のつく、高杯形土器。端部は外反し薄い。 外面 口縁部横方向の丁寧な窪磨き。杯部横方向窪磨き。 内面 口縁部横方向の丁寧な窪磨き。杯部横方向窪磨き。
113	土師器 甕	口縁～体部中位1/4破片 口(13.6cm)	埋没土	①細砂・砂粒・角閃石を多 く含む。②酸化焰。硬質。 ③明赤褐5YR5/8	口縁部端部外面に面とり、内面は上方につまみ上げられる。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上半斜横方向窪磨き。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ後、横ナデ。体部縦方向窪磨き。

遺物観察表

I区50号住居出土遺物観察表《土器》第24・25図・PL11

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
135	土師器 小形器台	口縁部一部欠損 口 7.6cm 高 8.4cm 底 9.7cm	中央部南東寄 床面上1cm	①細砂・角閃石・長石粒を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	浅い器受部に三角錐形の脚部がつく。接合部の筒は短い。 外面 器受部縦方向ハケメ。接合部横方向ナデ。脚部縦方向に磨き後、裾部横方向横ナデ。内面 器受部横方向ハケメ後、中央部のみ放射状横ナデ。脚部下半横方向ハケメ。上半横方向横ナデ。
136	土師器 小形器台	ほぼ完形 口 7.9cm 高 8.0cm 底 9.5cm	中央部北東寄 床面上6.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/4	浅い器受部にやや長い三角錐形の脚部がつく。接合部内面はやや長い。 外面 器受部縦方向のハケメ(11本/cm)。接合部から脚部縦方向の磨き。裾部横方向磨き。端部横ナデ。 内面 器受部横方向ハケメ、中央部のみ横ナデ。脚部上半横・縦方向横ナデ。下半斜方向ハケメ後、横方向横ナデ。黒斑あり。
138	土師器 小形器台	器受部一部欠損 口(8.1cm)高 8.0cm 底 10.0cm	中央部南東寄 床面上4.5cm	①細砂・長石細粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	浅い器受部にやや長い三角錐形の脚部がつく。脚部内面は内湾。 外面 器受部斜・横方向ハケメ。口縁部横ナデ。接合部横方向ナデ。脚部縦方向磨き。下端部横方向ハケメ後、部分的に横方向磨き。 内面 器受部上半横方向ハケメ、中央部放射状・横方向横ナデ。脚部斜方向横ナデ。下端部横方向ハケメ。黒斑あり。
137	土師器 小形器台	口縁部・脚端部一部欠損 口 8.5cm 高 9.4cm 底 9.2cm	中央部北東寄 床面上1.5cm	①細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③橙5YR7/6	内湾しやや深めの器受部にラッパ状の脚部がつく。上下両端部に面とり。 外面 器受部横方向横ナデ(単位不明瞭)。口縁部横ナデ。脚部縦方向磨き。裾部横ナデ。内面 器受部斜方向横ナデ。口縁部端部横ナデ。脚部横方向横ナデ。裾部横ナデ。
134	土師器 鉢?	口縁部～中部位1/2残存 口(16.2cm)	北西部 床面直上	①砂粒・石英粒・微細砂を多く含む。②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙10YR6/4	やや内湾する口縁部破片。高杯形土器杯部の可能性もある。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ後、横・斜方向磨き。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向磨き。
130	弥生土器 高杯	杯部1/2残存 口(16.2cm)	東壁際 床面上10cm	①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	浅い碗形の高杯杯部。口縁部内面端部はやや丸く肥厚する。 外面 口縁部横ナデ。杯部斜方向磨き。 内面 横方向磨き。
140	土師器 鉢	口縁部～中部位1/2残存 口(7.8cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	ゆるやかに頸部が屈曲する小形の土器。口縁部端部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向磨き。体部指押え。
132	土師器 鉢	口縁部～底部1/2残存 口(14.6cm)高(6.3cm) 底 3.8cm	中央部 床面上3cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③赤褐2.5YR4/8	口縁部端部が短く内湾する鉢形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ後、上半斜方向磨き、下半横方向磨き。内面 口縁部横ナデ。体部横方向の丁寧な磨き。
133	土師器 鉢	口縁部～底部1/2残存 口 18.2cm 高 10.0cm 底 4.0cm	北部 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	比較的深い鉢形土器。口縁部は内湾し、底部は外面が丸くくぼむ。 外面 口縁部横ナデ。体部下半斜方向磨き、上半横方向磨き。底部放射状磨き。内面 口縁部横ナデ。体部から底部斜・縦方向磨き。
126	弥生土器 壺	体部1/2残存 最(25.0cm)	中央部南東寄 床面直上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	球形の体部。 外面 体部上位一単位7条の櫛波状文。中位斜方向磨き。 内面 横方向磨き。
121	弥生土器 壺	口縁部～体部上位1/2残存 口 12.6cm	中央部南東寄 床面上16cm	①細砂・角閃石を多量に含む。白色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/3	やや丸い体部に、外反する高い口縁部がつく。 外面 口縁部4段の輪積み痕を残す。横ナデ。体部上位横方向磨き後、単節細文を横転施文。一部に煤付着。黒斑あり。 内面 口縁部横方向磨き。体部横方向磨き。下位横方向磨き。
124	弥生土器 壺	体部の一部・口縁部欠損 底 5.1cm	南部 床面上2cm	①砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐2.5YR4/4	上半が丸く、下半がすぼまる壺形土器。 外面 体部横・斜方向磨き。 内面 体部ナデ調整。
129	弥生土器 小形壺	口縁部～体部下位1/2残存 口(10.6cm)	中央部 床面上5.5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③暗褐7.5YR3/3	ゆるやかに頸部が屈曲する小形壺形土器。口縁部端部はすぼまる。 外面 口縁部4段の輪積み痕を残す。その上をナデ調整。体部縦方向磨き。 内面 口縁部横ナデ、斜方向磨き。体部斜方向磨き。
128	弥生土器 壺	口縁部～肩部1/2残存 口(12.3cm)	南東部 床面直上	①細砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR4/3	ゆるやかに頸部が屈曲する壺形土器。口縁部端部外面に面とり。 外面 口縁部から頸部輪積み痕を残す。横ナデ(無文)。肩部横方向磨き。 内面 口縁部横ナデ。肩部横方向磨き。
122	弥生土器 壺	口縁部～体部中位1/2残存 口 14.6cm	東壁際 床面上7cm	①細砂・石英粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	球形の体部にくの字に外反する口縁部がつく。口縁部端部はやや丸い。 外面 口縁部横ナデ、輪積み痕が1条残る。頸部縦方向指ナデ。体部上位ナデ調整。中位から下半横方向磨き後、横方向磨き。 内面 口縁部から体部上位横方向磨き。下位横方向磨き。
123	土師器 壺	口縁部～体部中位1/2残存 口(16.2cm)	東壁際 床面上7cm	①砂粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰白10YR8/2	くの字に屈曲する口縁部。端部は大きく外反し外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。頸部やや丸くくぼむように横ナデ。体部斜方向磨き、部分的に縦・斜方向磨き。二次焼成痕。内面 口縁部横ナデ、中位のゆるやかな面とりがある。体部横方向磨き。黒斑あり。
127	弥生土器 壺	口縁部～体部上位1/2破片 口(13.4cm)	東壁際 床面上8.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③灰黄褐10YR6/2	端部が大きく外反するくの字口縁の壺形土器。 外面 口縁部上半横ナデ。口縁部下半から頸部縦方向磨き。体部上位ナデ。内面 口縁部横ナデ。口縁部下半から頸部横方向磨き。体部上位指ナデ、指押え。
139	弥生土器 壺	口縁部～肩部残存 口 16.3cm	炉脇 床面直上	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③淡黄2.5Y8/3	ゆるやかに屈曲し、高く外反する口縁部がつく壺形土器。 外面 口縁部縦方向ナデ調整。肩部縦方向磨き後、頸部縦方向磨き。 内面 口縁部横方向磨き後、下位のみ縦方向磨き。頸部横ナデ。肩部横方向磨き。頸部横方向の1条の磨きが巡る。
131	土師器 壺	体部下位～底部 底 3.8cm	中央北東寄り 床面上14cm	①直径2～5mmの砂粒・石英粒・微細砂を含。②酸化焰。硬質。③橙5YR6/8	小さな底部に大きく体部下半がつく壺形土器。 外面 体部下位羽状の斜方向磨き。底部ナデ。 内面 体部下半横方向のハケメ後、上半斜方向磨き。底部ナデ。

2 古墳時代初頭の出土遺物

I 区16・30号土坑出土遺物観察表《土器》第26図・PL12

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
787	土師器 高杯	脚部残存 底 7.8cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/8	杯部が欠損するが、785の高杯と同形態のものと考えられる。 外面 脚部上半縦方向磨き。裾部横方向磨き。 内面 脚部横方向磨ナデ。裾部には横方向ハケメが残る。
786	土師器 高杯	器受部下位～脚部上半残存	埋没土	①微細砂・角閃石を少量含。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	大きく裾が開く高杯形土師の脚部。 外面 器受部縦方向ハケメを残す。脚部縦方向磨き。 内面 器受部ナデ。脚部横方向磨ナデ。
785	土師器 小形高杯	杯部1/2・脚部1/2残存 口 11.4cm 高 7.9cm 底 9.0cm	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	碗形の杯部に短く裾部が開く低い脚部がつく高杯形土師。 外面 杯部横方向磨き。脚部上半縦方向磨き。下半横方向磨き。 内面 杯部斜方向磨き。脚部横方向磨ナデ。
784	土師器 小形高杯	杯部1/2・脚部1/2欠損 口 11.4cm 高 7.9cm 底 (6.5cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③赤褐2.5YR4/8	785と同形式の高杯であるが、脚部裾の広がり小さい。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦・横方向磨き。脚部上半縦方向磨き下部横方向ナデ。内面 口縁部横ナデ杯部縦方向磨き。赤色塗彩。脚部横方向磨ナデ磨削り。
782	土師器 甕(台付)	口縁～体部中位1/2残存 口 (12.0cm) 最 (13.6cm)	埋没土	①微細砂・直径2～5mmの小石を含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	頸部がゆるやかに屈曲する甕形土師。口縁部端部は丸い。 外面 口縁部上半横ナデ下半縦方向ハケメ。体部上位中位斜方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ一部ハケメが残る。体部横方向磨ナデ一部ハケメ残。
783	土師器 台付甕	体部下位～台部1/2残存 底 (9.6cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。白色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焰③明褐7.5YR5/4	ハの字形のやや短い台付甕の台部。端部外面に面をとる。やや内湾。 外面 体部下位縦方向ハケメ。台部縦・斜方向ハケメ。 内面 体部斜方向ハケメ。台部斜方向ハケメ。
788	土師器 壺	体部中位～底部1/2残存 底 (7.3cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR6/6	球形の体部の壺形土師。底部はやや厚く小さい。 外面 中位斜方向ハケメ後部分的にナデ下位はさらに横方向磨き。底部磨削り。内面 体部中位斜方向磨ナデ、下位横方向ハケメ後横方向磨ナデ。底部横方向磨ナデ。

I 区60号住居出土遺物観察表《土器》第27図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
144	土師器 壺	口縁部1/2破片 口 (10.3cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	やや内湾する口縁部破片。口縁部端部はすぼまる。 外面 口縁部ナデ後縦方向磨き。 内面 縦・斜方向磨き。
143	土師器 台付甕	体部下位～台部1/2残存 底 (8.0cm)	南東部 床面上1.5cm	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	薄くつくられた台付甕。内面裾部の折り返し等からS字甕の可能性高い。 外面 体部下位斜方向ハケメ。台部斜方向ハケメ。 内面 体部下位ナデ。台部指ナデ。
142	土師器 甕	口縁部1/2破片 口 (18.0cm)	南東部 床面直上	①直径1～3mmの小礫・角閃石を含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい橙7.5YR6/4	頸部がゆるやかに屈曲する甕の口縁部。端部外面に鋭く面をとる。 外面 口縁部斜方向ハケメ。 内面 口縁部横方向磨き。下位横方向ハケメ。
141	土師器 甕	口縁部のみ残存 口 19.0cm	南東部 床面上1.5cm	①微細砂と直径3～5mmの小石を少量含む。②酸化焰。 ③灰白2.5Y8/2	外面 口縁部上半横ナデ。下半縦方向ハケメ。 内面 口縁部横方向ハケメ後横ナデ。

2 区7号住居出土遺物観察表《土器》第28図・PL14

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
629	弥生土器 手捏ね 杯	口縁～台部1/2残存 口 (6.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焰。 ③にぶい黄2.5Y6/3	薄くつくられた手捏ねの杯形土師。口縁部端部は内湾する。 外面 口縁部～体部縦・斜方向磨き。台部指ナデ。底部ナデ。 内面 口縁部～体部横方向磨ナデ。台部ナデ。底部横方向磨削り。
628	弥生土器 台付甕	台部残存 底 10.3cm	P4埋没土	①直径2.5mmの砂粒・石英粒と多くの微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/6	やや端部が内湾してハの字状に開く台部。 外面 台部縦方向ハケメ。裾部横ナデ。 内面 台部縦方向磨ナデ。裾部横ナデ。裾部、端部(接地面)面とり。
630	弥生土器 甕	口縁～体部下位1/2残存 口 (8.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を少量含 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	頸部がゆるやかに屈曲する小形の甕形土師。 外面 口縁部端部外面縄文押圧。体部口縁下位～上位にLR横位縄文施文 内面 横方向磨き。
631	弥生土器 壺	体部破片	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	球形に近い体部の壺形土師の肩部破片。 外面 縄文施文後、その下位に4本一単位の乱れた櫛描波状を3段施文。さらにその直下に直径3mmの円形押型文を巡らせている。内面 ナデ。
632	土製品 紡錘車	1/2欠損	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	内外面とも磨ナデ調整。

遺物観察表

2区4号住居出土遺物観察表《土器》第31図・PL14

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
148	土師器 鉢	口縁部1/2残存 口 15.2cm 高 8.2cm 底 6.1cm		中央西寄り 床面上6cm	①粗砂・長石粒・石英粒を含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③にぶい橙5YR6/4	体部下半が膨らむ鉢形土器。底部は小さい。口縁部は外傾する。 外面 口縁部巾広の折返し口縁。横方向ハケメの後、横ナデ。体部縦方向ハケメの後、上半横方向ハケメ、篋ナデ。下半縦方向ハケメ。底部篋ナデ。内面 口縁部横方向ハケメ。口唇部のみ横ナデ。体部横方向ハケメ。頸部指押え。底部篋ナデ。
150	土師器 小形器台	完形 口 7.6cm 高 6.5cm 底 9.5cm		東壁脇 床面上4.5cm	①緻密・細砂・長石細粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰黄褐10YR6/2~4/2	浅い器受部に低い三角錘形の脚部がつく。中央の円孔はない。 外面 器受部横方向ハケメ。口縁部丁寧な横ナデ。接合部~脚部縦方向ハケメ。裾部横方向ハケメ。内面 器受部横方向ハケメ。口縁部横ナデ。接合部~脚部上半横方向ハケメ、下半横方向ハケメ。裾部ナデ。いわゆる特殊器台。突出した底部の上に大きく外反する杯部がつく。杯部下半には、8円孔が穿たれている。 外面 杯部縦方向ハケメ後、縦・横方向ハケメ。底部縦方向ハケメ。脚部縦方向ハケメ。 内面 杯部上半縦方向ハケメ後、縦・横方向ハケメ。下半横方向ハケメ。
149	土師器 高杯	杯部、脚部接合部		南壁寄り 床面上5.5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明褐7.5YR5/8	内湾する受け口状の口縁部と丸い体部の変形土器。口縁部は丸い。 外面 杯部縦方向ハケメ後、縦・横方向ハケメ。底部縦方向ハケメ。脚部縦方向ハケメ。 内面 杯部上半縦方向ハケメ後、縦・横方向ハケメ。下半横方向ハケメ。
154	弥生土器 壺	体部破片		埋没土	①細砂と角閃石を含む。 ②酸化焰③灰褐7.5YR5/2	外面 頸部に櫛描平行線文。体部上位に流水文。 内面 頸部横ナデ。体部横方向ハケメ。
146	弥生土器 壺	口縁部~頸部残存 口 16.8cm		北東壁際 床面直上	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	巾の狭い折り返し口縁のついた壺の口縁部。 外面 口縁部縦方向ハケメ後、上端・下端ともに横ナデ。頸部櫛描縹状文三連止。内面 口縁部縦方向ハケメ。頸部横方向ハケメ。
153	土師器 甕	口縁~体部1/3残存 口 (13.2cm)		埋没土	①砂粒を多く含む。黄褐色鉍物粒を含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③灰黄褐10YR6/2	内湾する受け口状の口縁部と丸い体部の変形土器。口縁部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ハケメ。中位縦方向ハケメ。黒色の煤付着。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ハケメ。輪積み痕が残る。
145	弥生土器 甕	口縁~体部下位ほぼ残存 口 12.5cm 高(20.0cm)		中央部 床面上5cm	①砂粒・小石・長石粒を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	頸部がゆるやかに屈曲する変形土器。 外面 口縁部横ナデ。頸部斜方向ハケメ。体部上位縦方向ハケメ、中位横方向ハケメ、下位縦方向ハケメ。内面 口縁部横方向ハケメ。頸部横方向ハケメ。体部上端ナデ調整、中位以下横方向ハケメ。
147	弥生土器 甕	体部下位1/2~底部残存 底 7.6cm		中央部 床面上5cm	①細砂を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/2	小さな底部からゆるやかに膨らみ立ち上がる体部の変形土器。 外面 体部中位横方向ハケメ、下位斜方向ハケメ、最下部横方向ハケメ。 内面 体部中位斜方向ハケメ、下位横方向ハケメ、最下部斜・横方向ハケメ。
152	土師器 甕	口縁~体部中位残存 口 19.2cm		埋没土	①砂粒・石英粒・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	頸部がくの字に屈曲する球形体部の甕。口縁部ははや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ、部分的にへら工具痕が残る。口縁部から煤付着。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向ハケメ、頸部に横方向ハケメ痕が残る。
155	土製品 支脚	両端部欠損 残存長 19.2cm 幅 5.6cm 厚 4.0cm		南東部 炉使用面直上 床面直上	①微細砂・白色鉍物粒を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄褐10YR5/4	断面隅丸長方形を呈する棒状。両端が欠損しているので全形は不明。 上面 両側面指ナデ。 下面 指ナデ調整前の叩き調整が残っている。

2区11号住居出土遺物観察表《土器》第33図・PL15

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
158	土師器 鉢	口縁部1/2欠損 口 (10.0cm) 高 10.4cm 底 5.1cm		南東隅 床面上3cm	①直径2~5mmの砂粒・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	外傾する短い口縁部。卵形の体部。底部は平底。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ後、上半横方向ナデ。 内面 口縁部横方向ハケメ後、上半のみ横ナデ。体部横方向ハケメ後、上半のみナデ。
156	弥生土器 壺	口縁~体部上位残存 口 12.3cm		南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。白色鉍物粒が目立つ。 ②酸化焰。やや硬質。 ③淡黄2.5Y8/3	ゆるやかに屈曲する頸部。外反するやや短い口縁部。 外面 口縁部4段の輪積み痕を残す。横ナデ。一部に煤付着。体部横方向・斜方向ハケメ。黒斑。 内面 口縁部横方向ハケメ。体部横方向ハケメ。
157	弥生土器 甕	頸~体部中位残存 最 20.8cm		南東隅 床面直上	①細砂・角閃石を多量に含む。白色鉍物粒が目立つ。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR6/4	球形に近い体部の変形土器。 外面 口縁部から体部上位無節、縄文横転施文。体部中位斜方向ハケメ後、横方向・縦方向ハケメ。体部広い範囲に煤付着。黒斑。内面 口縁部横方向ハケメ。体部上位横方向ハケメ。体部中位横方向ハケメ。
159	弥生土器 高杯	体部下半~脚部残存 口 16.9cm 高 12.0cm 底 8.3cm		南東隅 床面上2cm	①砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。 ③浅黄橙10YR8/3	直線的に開く杯部。三角錘形の脚部。台付変形土器の転用か。 外面 杯部斜方向ハケメ後、下半ナデ調整。接合部縦方向ハケメ。脚部ナデ調整。内面 杯部縦方向ハケメ、中央部篋ナデ。脚部横方向ハケメ。裾部横ナデ。
160	土師器 高杯	杯部1/2残存 口 (12.0cm)		中央部 床面上2cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	丸い椀形の高杯形土器の杯部。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ調整後、端がループ状になった磨き。
164	弥生土器 ?	台部1/4残存 底 (7.8cm)		埋没土	①微細砂少量含む。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	小形土器の台部。内外面から小穿孔があるが貫通していない。 外面 台部斜方向ハケメ後、縦方向ハケメ。内面 台部横方向ハケメ。
163	土師器 S字状口 縁台付甕	口縁部破片 口 (14.0cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	S字壺の口縁部。大きく開いた口縁部は直立に近く短く立ち上がり、さらに外傾する。口縁部内部には面とり。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。

2 古墳時代初頭の出土遺物

(2区11号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
161	土師器 甕	口縁部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (16.6cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を多く含 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐5YR4/3	口縁部がやや内湾する甕形土器の口縁部。 外面 口縁部～体部上位斜方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向寛ナデ。

2区12号住居出土遺物観察表《土器》第34図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
165	土師器 甕	体部破片		埋没土	①細砂・角閃石を多く含む ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	外面 斜・横方向ハケメ。 内面 横方向寛ナデ。

2区19号住居出土遺物観察表《土器》第35図・PL15

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
166	土師器 S字状口 縁台付甕	台部 $\frac{1}{2}$ 残存 底 (10.2cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	ハの字に開く台部。外面整形・内面裾部折り返しからS字甕と考えられる。 外面 脚部丁寧なナデ調整。斜方向ハケメ。 内面 脚部横方向寛ナデ。下端部折り返し部指押え。

2区20号住居出土遺物観察表《土器》第36図・PL16

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
169	土師器 鉢	口縁～底部 $\frac{1}{4}$ 残存		南東隅 床面上2cm	①砂粒を多く含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	やや厚い底部に外傾する鉢形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部下半横方向ハケメ。上半丁寧なナデ。
170	土師器 鉢	口縁～体部中位破片 口 (8.8cm)		南東部 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	筒形の体部。短く外傾する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横ナデ。下半縦・横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
168	土師器 甕	口縁部～体部上位 $\frac{1}{4}$ 残存 口 (14.0cm)		南西隅 床面上7cm	①細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③褐7.5YR4/3	大きくくの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向寛ナデ。
167	土師器 高杯	杯および脚部破片 底 (18.6cm)		西部 床面上2cm	①微細砂・白色微細粒を含 ②酸化焰。硬質。 ③赤褐2.5YR4/8	丸い碗形の杯部。裾部が大きく開く脚部がつくとみられる。 外面 杯部中位斜方向寛磨き。下位縦方向ハケメ。脚部縦方向寛磨き。 内面 杯部斜方向寛磨き。脚部上位ナデ。下位横・斜方向ハケメ。

2区20号住居出土遺物観察表《石器》第36図・PL16

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S33	敲石	9.6・5.5 2.4	変質安山岩 230	南東隅 床面直上	偏平な円礫の一端に敲打痕が残っている。

2区33号住居出土遺物観察表《土器》第39図・PL19・20

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
211	土師器 鉢?	口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 7.5cm 高 6.8cm		東壁寄り 床面直上	①微細砂・角閃石・長石粒・ 石英粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/3	筒形。口縁部はすぼまる。台付裝飾甕の口縁部の可能性がある。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ後、縦方向寛磨き。上半のみナ デ。 内面 口縁部横ナデ。体部斜・横方向寛削り、寛ナデ。
213	土師器 鉢	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (10.6cm) 高 4.25cm 底 (5.0cm)		埋没土	①細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	大きめの平底から、やや膨らんで立ち上がる体部。口縁部は丸い。 外面 口縁部・体部中位横ナデ。輪積み痕残す。体部下位指押え。底部 寛削り。内面 口縁部横ナデ。体部から底部横方向寛ナデ。
204	土師器 鉢	口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.0cm)		南壁脇 床面直上	①微細砂・角閃石多量に含 ②酸化焰③褐10YR4/4	口縁部は内湾する。 外面 口縁部横方向寛磨き。内面 口縁部寛磨き。
357	土師器 鉢	口縁部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (11.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰黄褐10YR4/2	体部は碗形で、口縁部はゆるい。 外面 口縁部横方向寛磨き。体部縦方向寛磨き。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛磨き。
932	土師器 鉢	口縁部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (12.4cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③黒褐7.5YR3/1	口縁部が内湾する。 外面 口縁部横・斜方向寛磨き。 内面 口縁部上半横方向寛磨き。下半器面が荒れており不明。
212	土師器 台付鉢	底部～体部下位残存 底 5.4cm		埋没土	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/3	やや中央がくぼんだ台がつく小形鉢。 外面 体部上半縦方向寛磨き。下位横方向寛磨き。底部寛ナデ。黒斑。 内面 体部斜・横方向寛磨き。底部ナデ。
358	土師器 埴	口縁部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (8.0cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を多く含 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR7/4	小形埴の口縁部。端部は内外面側から押えられて、内面には面とり。 外面 口縁部最上部横ナデ。下部羽状の斜方向寛磨き。 内面 口縁部最上部横ナデ。下部縦方向寛磨き。

遺物観察表

(2区33号住居・第39・40図)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
176	土師器 鉢	口縁～体部中位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 9.3cm	西壁周溝内 床面直上	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/3	頸部がゆるやかに屈曲するやや深めの鉢。口縁部端面外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向ハケメ。黒斑あり。 内面 口縁部横方向ハケメの後横ナデ。体部ナデ。
177	土師器 埴	体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 底 (3.0cm)	東壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む ②酸化焰。硬質。 ③灰白10YR8/2	底部の小さな埴形土器。 外面 体部横方向磨き。体部下位横方向磨削り。 内面 体部横・斜方向磨ナデ。
202	土師器 台付裝飾 壺	体部 $\frac{1}{2}$ ・脚部残存 最 (12.3cm) 底 9.4cm	東壁寄り 床面直上	①微細砂・長石粒を含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③橙5YR6/6	算盤玉形の体部。ハの字に開く低い台部。台下端部は内湾。体部中央に 巾3cm程の帯状貼付。 外面 体部縦方向・横方向ハケメ後、上半横方向、突帯部横方向、下半 斜方向の磨き。脚部縦方向ハケメ後、縦方向磨き。黒斑。内面 体 部上半粘土帯、指押え、無調整。下半指ナデ。脚部横方向ハケメ。
193	土師器 有孔鉢	口縁部 口 13.9cm 高 7.7cm 孔 1.3cm	東壁寄り 床面直上	①細砂・石英粒・長石粒を 少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙2.5YR6/6	底部が小さく、内湾する口縁部の有孔鉢。 外面 口縁部横ナデ。体部下半縦方向磨削り後、上半横方向磨削り。下 端部斜磨削り。 内面 口唇部横ナデ。体部丁寧なナデ後、上半のみ横方向ハケメ。
194	土師器 有孔鉢	口縁～体部 $\frac{1}{4}$ 欠損 口 17.0cm 高 9.7cm 孔 1.4cm	南壁脇 床面直上	①砂粒を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐2.5YR5/6	小さな底部から、やや丸い体部へつづく有孔鉢。口縁部はやや内湾する。 外面 体部下半縦方向磨削り後、上半横方向磨ナデ。 内面 体部下半縦・斜方向磨削り後、上半横方向巾広の磨ナデ。
175	土師器 壺	口縁～体部一部欠損 底部欠損 口 10.2cm	南壁際 床面直上	①直径2～3mmの石英粒・ 角閃石・砂粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/3	丸い体部。ほぼ直立する口縁部。端部はすぼまり内湾する。 外面 口縁部横方向磨き、下半には体部から連続する縦方向磨き。 頸部横方向磨き。体部上半縦方向磨き、中位横方向磨き、下位縦・ 斜方向磨き。 内面 口縁部上半横ナデ、下半横方向磨き。体部横方向磨ナデ。
209	土師器 小形器台	脚裾部一部欠損 口 9.5cm 高 8.4cm 底 10.7cm	東壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石・石英・長 石を多量に含む。 ②酸化焰。軟質。 ③にぶい橙5YR7/4	浅い器受部に裾がやや開く脚部がつく小形器台。口縁部外面に面とり。 外面 器受部横方向ナデ。脚部横方向磨き。裾部横ナデ。 内面 器受部中央放射状磨き、端部横ナデ。脚部下半横方向磨削り、 端部横ナデ、上半ナデ。
210	土師器 器台	口縁～脚中位残存 口 7.7cm	南壁脇 床面直上	①細砂・白色微細粒・直径 2.5mmの石英粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐5YR5/6	外反する浅い器受部。内湾する脚部。口縁部外面に巾広の面とり。 外面 器受部横ナデ。脚部縦方向磨き。 内面 口縁部横ナデ、凹線。器受部横方向磨削り。脚部上半斜方向ナデ。 下半横方向ハケメ。
207	土師器 小形器台	ほぼ完形 口 7.9cm 高 9.6cm 底 10.8cm	東壁寄り 床面直上	①砂粒・長石粒を多量に含 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐2.5YR5/6	外反する浅い器受部。内湾する高い脚部。口縁部はやや内湾し、外面 に面とり。 外面 器受部斜方向磨き。口縁部横ナデ。脚部縦方向磨き。裾部 横方向磨ナデ。 内面 器受部横方向磨削り。中央部放射状磨き。脚部横方向磨削り。
208	土師器 小形器台	ほぼ完形 口 7.4cm 高 9.4cm 底 9.6cm	東壁寄り 床面直上	①砂粒・石英粒・角閃石を 含む。緻密。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐2.5YR5/6	外反する浅い器受部。内湾する高い脚部。口縁部外面に面とり。 外面 器受部横ナデ後、脚部上下2段に縦方向磨き。裾部横方向磨削 り後、下端部横ナデ。内面 器受部上半横方向の細い磨き。下半横 方向放射状の磨削り。脚部横方向磨削り。
203	土師器 高杯	杯部 $\frac{3}{4}$ 残存 口 12.3cm	南壁脇 床面直上	①微細砂と多量の角閃石を 含む。②酸化焰。硬質。 ③明褐7.5YR5/6	碗形の高杯の杯部。 外面 口縁部横ナデ。杯部横・縦方向ハケメ後、横方向磨き。 内面 口縁部横ナデ。杯部横方向・斜方向磨き。
205	土師器 高杯	脚部下 $\frac{1}{2}$ 残存 底 (16.0cm)	南壁際 床面直上	①長石細粒・角閃石が目立 ②酸化焰。やや軟質。 ③褐灰10YR5/1	大きく開く高杯の脚部。 外面 脚部斜方向ハケメ。裾部横ナデ。 内面 脚部横方向磨ナデ。裾部横ナデ。
206	土師器 蓋	摘み部残存 摘径 2.5cm	南西隅 床面直上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR6/3	断面が逆台形の蓋の摘み部。上面はくぼんでいる。 外面 横・斜方向ハケメ後、縦方向磨き。 内面 指ナデ。
214	土師器 台付壺	台部 $\frac{3}{4}$ 残存 底 (7.2cm)	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/8	やや小形の台部。壺の台部と考えられる。 外面 台部上半ナデ、下半縦方向ハケメ。裾部横ナデ。 内面 台部横方向ナデ。
201	土師器 高杯	脚部 $\frac{3}{4}$ ・口縁部 $\frac{1}{4}$ 欠損 口 9.9cm 高 9.3cm 底 (16.0cm)	東壁寄り 床面直上	①細砂・長石粒・石英を含 む。胎土は緻密。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	下端に稜をもつ碗形の杯部。大きく裾部が開く脚部。脚部は内湾する。 外面 杯部横方向磨ナデ。口縁部横ナデ。接合部横方向磨ナデ。脚部上 半縦方向磨ナデ、下半横方向磨削り。裾部横ナデ。 内面 杯部横方向磨ナデ。中央部ナデ。口縁部横ナデ。脚部下半横方向 ハケメ。上半横方向磨ナデ。裾部横ナデ。部分的に斜磨き。
199	土師器 高杯	杯部の $\frac{1}{4}$ 残存 口 26.0cm	南壁脇 床面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	大形の高杯。口縁部は外反し、下端には稜をもつ。 外面 杯部横方向磨き。 内面 杯部横方向磨き。
197	土師器 高杯	杯部のみ残存 口 19.2cm	東壁寄り 床面直上	①細砂・長石粒・角閃石を 多く含む。②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	浅い体部に大きく外反する口縁部が段をもつてつく高杯。 外面 杯部横方向磨き。 内面 杯部横方向磨き。
198	土師器 高杯	杯部～脚部上半残存 口 21.0cm	南壁脇 床面上5cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR7/3	浅い碗形の体部に大きく開く口縁部がつく高杯。 外面 杯部縦方向ハケメ後、横方向磨き。口縁部横ナデ。脚部縦方向 磨き。内面 杯部横方向磨き。口縁部横ナデ。脚部横方向磨削り。 杯部屈曲部に煤付着。

2 古墳時代初頭の出土遺物

(2区33号住居・第40~42図)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
195	土師器 高杯	杯部一部欠損 口 18.5cm 高 14.5cm 底 11.1cm	南壁脇 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR6/4	浅い体部に大きく外反する口縁部が段をもってつく高杯。脚部はやや裾が開くハの字の低いものがつく。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向磨き、下半斜方向磨き。脚部縦方向ハケメ後、縦方向磨き。裾部横方向磨き。 内面 口縁部横ナデ。杯部横方向磨ナデ。脚部横方向磨ナデ。
196	土師器 高杯	杯部・裾部一部欠損 口 22.1cm 高 15.0cm 底 15.6cm	南東隅 床面上13.5cm	①砂粒・石英粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/3	鋭い縁の浅い杯部。大きく外反する口縁部。脚部は上半が柱状で裾が開く。 外面 杯部縦方向ハケメ後、斜方向磨き。口縁部横ナデ、下半横方向ナデ。脚部上半縦方向磨ナデ、下半縦方向ハケメ後、斜・横方向磨き。 内面 杯部横方向ハケメ後、横方向磨き。口縁部横直上に縦方向磨き。脚部下半斜方向ハケメ後、上半横方向磨ナデ。裾部横ナデ。
200	土師器 高杯	口縁～体部一部欠損 口 19.7cm 高 15.6cm 底 10.7cm	東壁寄り・南壁脇 床面直上	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐5YR5/6	やや深めの杯部。低い三角錐形の脚部。 外面 口縁部横ナデ。杯部下半縦方向磨き後、上半横方向磨き。 脚部縦方向丁寧な磨き。裾部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部斜・横方向磨き、上半のみ横方向ナデ調整。脚部横・斜方向のハケメ1cmにつき5本。裾部横方向磨ナデ。
190	土師器 壺	口縁部のみ残存 口 13.8cm	南壁P I内 底面上49.5cm	①直径2～3mmの砂粒・角閃石を含む。②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/4	外反する壺形土器の口縁部。端部は上方へ積み上げられ、外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ、下位縦方向ハケメ、上半を中心に縦方向磨き。 内面 口縁部横方向ハケメ後、横方向ナデ調整。端部横方向ナデ。
174	土師器 甕	体部下位1/3残存 底(6.6cm)	南壁脇 床面下30cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	球形体部の壺形土器の下半部。 外面 体部下位縦・斜方向ハケメ後、中位のみ斜方向磨削り。底部磨削り。 内面 体部斜方向磨ナデ。底部磨ナデ。
173	弥生土器 壺	口縁部残存 口 18.0cm	南東壁寄り 床面直上	①細砂・直径3～5mmの砂粒を含む。②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/6	頸部がくの字に屈曲する壺の口縁部。端部はやや内湾し丸くなっている。 外面 口縁部縦方向ハケメの後、縦方向磨き。 内面 口縁部縦方向丁寧な磨き。
180	土師器 壺	体部下位～底部残存 底 8.2cm	南壁寄り 床面直上	①微細砂・長石細粒を多く含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR3/2	厚い底部に球形の体部の壺形土器の下半部。 外面 体部中位横方向ハケメ後、下位縦・斜方向磨き、上半ナデ調整。底部磨削り。黒斑。内面 体部横放向磨ナデ。底部放射状磨ナデ。
172	弥生土器 壺	体部上半1/2～体部下位残存 底 10.0cm	南東隅 床面直上	①細砂・直径1～5mmの砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/4	算盤玉形の体部の壺形土器。口縁部は不明。 外面 体部上位一単位5～6本の櫛状波状文2段施文、上～下位横方向・斜方向磨き。 内面 体部上位横方向磨ナデ、中位～下位縦・横方向指ナデ。
171	土師器 壺	体部一部欠損 口 19.8cm 高 34.5cm 最 33.0cm 底 8.6cm	炉西側 床面直上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	ややつぶれた球形の体部。頸部はくの字に屈曲し、大きく外湾する口縁部がつく。 外面 口縁部上半横ナデ、下半横方向磨き、体部の斜交文様と同様の変色がある部分もある。体部上半横方向の細かな磨き後の斜交文様が残されている。中位横方向磨き。下半斜方向磨き。底部ナデ。 内面 口縁部横方向磨ナデ後、横方向細かな磨き。体部横方向磨ナデ。底部磨ナデ。
187	土師器 甕	口縁～底部1/3残存 口 14.1cm 高 16.4cm 最 15.0cm 底 3.0cm	東壁寄り 床面直上	①細砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	小さな平底で、端部外面に面とりする外反する口縁の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向ハケメ。体部下位斜方向磨削り後、中位斜方向磨ナデ、上位横方向磨ナデ。体部下半に黒斑。 内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部上位～中位縦方向磨削り、下位横方向磨ナデ。
181	土師器 甕	ほぼ完形 口 16.5cm 高 20.0cm 最 18.0cm 底 1.9cm	東壁寄り 床面直上	①細砂・長石細粒・赤色鉄物粒を含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③内面 橙5YR6/6	小さな平底で、端部外面に面とりする外反する口縁の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部ナデ調整。体部上位横方向磨削り・磨ナデ後、下位縦方向ハケメ。煤付着。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜・縦方向磨削り、下位横方向磨削り。
178	土師器 甕	底部・体部一部欠損 口 16.2cm 高 25.0cm 最 22.1cm 底 3.8cm	東壁寄り・南壁寄りの遺物 接合 床面直上	①砂粒・小石(直径3～5mm)を多量に含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③にぶい褐7.5YR5/3	小さな平底で、口縁端部が上方に積み上げられるタイプの甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位縦方向磨ナデ後、中位～下位斜方向磨削り、中位には部分的に縦方向磨き。煤付着。 内面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向磨ナデ。
184	土師器 甕	口縁～体部下位1/3残存 口 15.5cm 最 20.3cm	南壁脇と東壁寄りの破片接合 床面直上	①細砂粒を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄褐10YR5/3	小さな平底に、口縁端部が上方に積み上げられる甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部ナデ調整。体部中位～下位縦方向ハケメ後、上位横方向ハケメ。口縁～体部上半に煤付着。内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ後ナデ。体部横方向磨ナデ、下位のみ斜方向ハケメ残。
192	土師器 甕	口縁～体部上位1/3残存 口(14.2cm)	南東壁寄り 床面上5.5cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR6/4	ゆるやかに屈曲する頸部の甕。口縁端部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ、下部に横方向のハケメが残る。頸部細い磨ナデ。体部縦・斜方向磨ナデ。
354	土師器 甕	口縁部1/3破片 口(14.0cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	受け口状の甕口縁部。端部内面には面とり。 外面 口縁部横ナデ。口縁部下位～頸部縦方向ハケメ。体部上位横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ。体部斜方向ハケメ。
191	土師器 甕	口縁～体部上位1/3残存 口(13.2cm)	北東隅 床面直上	①細砂を多く含むザラザラしている。②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	ゆるやかに屈曲する頸部の甕。口縁端部は積み上げられ、外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向ハケメ。 内面 口縁部～頸部横方向ハケメ後、横ナデ。体部横方向磨ナデ。

遺物観察表

(2区33号住居・第42・43図)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
185	弥生土器 甕	口縁～肩部1/4破片 口 (16.4cm)		北東隅 床面直上	①微細砂・細砂・赤色鉱物 粒を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	ゆるやかに頸部が屈曲し、やや直立ぎみの口縁部。端部は厚く丸い。 外面 口縁部斜・縦方向ハケメ。肩部斜・縦方向ハケメ、縦のハケメは 装飾的。 内面 口縁部横・斜方向ハケメ。肩部横・斜方向ハケメ後、 横方向篋ナデ。
189	土師器 小形甕	口縁～体部下位1/2残存 口 (12.7cm) 最 (14.3cm)		炉底面直上・ 北東隅床面直上 上の破片接合	①微細砂・角閃石・長石細 粒を含む。②酸化焰。やや硬質。 ③橙5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部に丸い体部の甕。口縁部外面に面とり。 外面 口縁部荒いナデ。頸部縦方向ハケメ後、荒い篋ナデ。体部縦方向 ハケメ、部分的に横方向篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ後ナデ。体部横方向篋ナデ。
188	土師器 小形甕	口縁～体部上位残存 口 13.0cm		南壁脇 床面直上	①細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③内 ぶい赤褐5YR5/4 外 ぶい橙7.5YR6/4	ゆるやかに屈曲する頸部に丸い体部の甕。口縁部外面に面とり。 外面 口縁部縦方向の荒いハケメ後、横ナデ。体部上半横方向の細かい ハケメ、下半横方向ナデ調整。頸部ナデ調整。 内面 口縁部横方向の荒いハケメ。体部横方向篋ナデ。
186	土師器 台付甕	体部下位～脚部残存 底 9.0cm		炉使用面上と 北東隅床面直上 上の遺物が接合	①微細砂・砂粒(直径4～5 mm)を多く含む。 ②酸化焰。軟質。 ③明赤褐5YR5/6	やや大きくハの字に開く低い台部。 外面 体部下位斜方向篋ナデ後、縦方向ハケメ。中位のみ横方向篋ナデ。 脚部ナデ調整後、下半のみ縦・斜方向ハケメ。 内面 体部強い篋ナデ。脚部斜方向ハケメ、上半ナデ調整。
183	土師器 甕	口縁～体部下位ほぼ完形 口 17.1cm 最 19.7cm		南壁脇 床面上0～7 cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR6/3	ゆるやかに屈曲する頸部に丸い体部の甕。口縁部は上方につまみ上げ られ、外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ、縦方向ハケメ(4～5本/cm)。頸部縦方向ハケメ (8本/cm)。体部上位縦方向ハケメ(8本/cm)、中位横方向ハケメ(8 本/cm)、下位縦・斜方向ハケメ(8本/cm)の後、上位～中位にかけて 斜方向ハケメ(4～5本/cm)。 内面 口縁部横方向ハケメ(4～5本/cm)後、横ナデ。頸部横方向ハ ケメ(8本/cm)。体部横方向ハケメ(8本/cm)後、上半横方向篋ナデ、 下半横方向篋ナデ、下半縦・斜方向篋ナデ。
179	土師器 台付甕	口縁～体部下位1/2残存 台部1/4残存 口 15.9cm 高 25.1cm 最 20.0cm 底 (8.7cm)		東壁・南壁際 の破片接合 床面直上	①細砂および直径3～4mm の小石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/4	ゆるやかに屈曲する頸部に丸い体部。やや内湾する台部がつく。口縁部 外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位縦方向ハケメ、中位斜方向ハ ケメ、下位縦方向ハケメ。台部縦方向ハケメ。台部接合部横ナデ。 内面 口縁部横方向ハケメ。頸部横方向ハケメ。体部横方向篋ナデ。台部 ナデ調整。台接合部一部にハケメが残る。
182	土師器 甕	口縁全周～体部下位残存 口 17.0cm 最 21.5cm		炉内および炉 周辺と東壁寄 りの床面直上	①砂粒・小石を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙2.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部に丸い体部の甕。口縁部外反するが端部は丸い。 外面 口縁部縦方向ハケメ(4本/cm)後、横ナデ。頸部縦方向ハケメ (4本/cm)。体部上位縦方向ハケメ(10本/cm)、中位横方向ハケメ(10 本/cm)後、上位～中位斜・縦方向ハケメ(4本/cm)。体部上半斜方向 篋ナデ、中位横方向篋ナデ。黒斑。 内面 口縁部横方向ハケメ(4本/cm)後、横ナデ。頸部横方向ハケメ (10本/cm)後、ナデ。体部上半斜方向篋ナデ後、下半横方向篋ナデ。
355	土師器 S字甕	体部破片		埋没土	①微細砂少量含む。②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/3	薄手の甕破片。ハケメの様相等からS字甕と考えられる。 外面 縦・横方向荒いハケメ。 内面 ナデ。
356	弥生土器 壺	口縁部破片		埋没土	①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4	下端が少し垂下する複合口縁の壺形土器破片。 外面 上端部・下端部に櫛歯状工具で刺突文。その間は、横方向ハケメ 後、横ナデ。 内面 縦方向磨き。
215	土製品 紡錘車	1/2残存 上 3.2cm 高1.4cm 下 4.9cm		埋没土	①微細砂。直径1～2mmの 石英粒を含む。②酸化焰。 ③赤褐5YR4/6	断面低い台形の紡錘車。稜はゆるやかに丸い印象。 外面 ナデ。下面にはハケメが残る。

2区37号住居出土遺物観察表《土器》第44図・PL16

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
219	土師器 壺	口縁部破片		埋没土	①細砂をやや多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3	巾2.5cmほどの折り返し口縁破片。 外面 折り返し部横ナデ、下半斜方向ハケメ後、ナデ。 内面 横方向ハケメ後、縦方向磨き。
217	弥生土器 壺	体部破片		埋没土	①細砂を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	小形の壺形体部上位破片か？ 外面 平行線文の間に斜方向の平行線で三角文を描く。 内面 ナデ。
216	土師器 甕	口縁～体部中位1/2残存 口 (17.2cm) 最 (27.3cm)		中央北寄り 床面上4.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/3	ゆるやかに屈曲する頸部に丸い体部の甕。口縁部はやや丸く、外面に 面とり。 外面 口縁部上半横ナデ、下半縦方向荒いハケメ。体部上位斜・縦方向 荒いハケメ、中位斜・横方向荒いハケメ、部分的に縦方向磨き。 内面 口縁部上半横ナデ、下半横方向荒いハケメ。体部横方向篋ナデ。

2区37号住居出土遺物観察表《石器》第44図・PL16

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S20	打製石斧 未製品	6.8・5.9 3.1	黒色頁岩 126.5	埋没土	剥離の初期に生じる大形の剥片を用いる。器体の上半を大きく欠損するため全体の形状 は不明だが、概して短冊状に近い形状を呈する可能性が高い。

2 古墳時代初頭の出土遺物

2区48号住居出土遺物観察表《土器》第45図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
220	土師器 高杯	口縁部小破片 口(9.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐2.5YR4/4	丸い椀形の高杯の杯部。 内外面 斜方向磨き。

2区49号住居出土遺物観察表《土器》第47図・PL21

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
221	土師器 甕	ほぼ完形 口 18.5cm 高 24.6cm 最 23.8cm 底 5.2cm		北隅 床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰白10YR8/1	小さな底部に丸い体部の甕。頸部はゆるやかに屈曲し口縁部は外反して 外部外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部上半斜方向ハケメ。中位横方向ハ ケメ。下半縦方向ハケメ。煤付着。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ後、ナデ。体部上半中位横方向 横ナデ。下半縦方向横ナデ後横方向横ナデ。黒斑。
222	土師器 甕	口縁～体部1/2残存 口(21.0cm) 最(26.0cm)		南東壁寄り 床面直上	①細砂・長石細粒を多く含 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/2 黒褐10YR3/1	小さな底部に丸い体部の甕。頸部はゆるやかに屈曲し口縁部は外反する。 外部外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上半横・斜方向ハケメ。下半縦 方向・斜方向ハケメ。底部ナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。 体部横方向横ナデ。斜方向横ナデ。底部横方向横ナデ。
223	土師器 甕	口縁～体部上半1/2破片 口(17.4cm)		北東壁際 床面上4.5cm	①細砂・石英粒・角閃石を 多量に含。②酸化焰。硬質。 ③黒褐10YR3/2	丸い体部。くの字に外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ハケメ後、横方向横ナデ。
228	土師器 鉢	口縁～体部中部1/2破片 口(6.0cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐5YR5/8	丸い体部。短く外反する口縁部が直立気味につく。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向横ナデ。
226	弥生土器 甕	口縁部1/2破片 口(13.8cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を多量に 含む。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR5/3	やや直立気味の頸部。短く外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。指押え指頭痕残る。輪積み痕2～数段残す。 内面 口縁部横ナデ。下半縦方向磨き。
232	土師器 甕	口縁部小破片 口(11.8cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰③明赤褐5YR5/8	短くくの字に外反する口縁部。外部外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。内面 横ナデ。
224	土師器 甕	口縁～肩部1/2破片 口(14.0cm)		中央部 床面上4.5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③暗褐7.5YR3/3	くの字に鋭く屈曲する甕の口縁部。 外面 口縁部横ナデ。肩部横方向横ナデ。 内面 横ナデ。肩部横方向横ナデ。
227	土師器 壺	口縁部破片 口(18.0cm)		埋没土	①砂粒・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明黄褐10YR6/6	大きく外反する甕の口縁部。外部外面に面とり。 外面 口縁部上端横ナデ。下半縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。
230	土師器 壺	口縁～体部上位小破片 口(14.2cm)		北隅 床面直上	①微細砂・直径2～5mmの 小石を少量含む。②酸化焰 ③にぶい橙5YR6/4	下端に段をもって肥厚して直立し、外部外面は短く外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメかすかに残るナデ。
231	弥生土器 壺	頸部1/4破片 頸部内径9.0cm		埋没土	①微細砂・角閃石を多く含 ②酸化焰。やや硬質。 ③橙7.5YR7/6	くの字に屈曲する頸部破片。 外面 口縁部横ナデ。頸部4条1段の櫛波状文施文。体部上位横方向 横ナデ。内面 口縁部斜方向磨き。体部上位横方向磨き。
225	土師器 壺	体部下位～底部残存 底 6.4cm		南東壁寄り 床面上4.5cm	①砂粒・微細砂・角閃石を 多く含む。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	小さな底部から球形に立ち上がる甕体部下半部。 外面 体部下位縦方向磨き。底部ナデ。 内面 体部下位横方向ハケメ後放射状ハケメ。底部ナデ。
353	弥生土器 壺	口縁部破片		埋没土	①直径0.5～0.1mmの細砂・ 角閃石を多く含む。②酸化 焰③にぶい橙5YR7/3	外面 口縁部破片に櫛波状工具による刺突。下位は縦方向ハケメ後磨き 内面 横方向磨き。
229	弥生土器 壺	頸部～体部破片		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰褐7.5YR6/2	丸い体部の小形甕形土器の肩部破片。 外面 体部上位櫛波平行線文2段の下に細かい櫛波状文を施文。全面 赤色塗彩されていたと考えられるが頸部のみ顕著に残る。 内面 頸部は横方向磨き。赤色塗彩。体部は指ナデ。

2区52号住居出土遺物観察表《土器》第48図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
238	土師器 埴	口縁部1/4破片 口(9.3cm)		埋没土	①細砂・直径1～2mmの赤 色鉱物粒を含む。②酸化焰。 硬質③にぶい黄橙10YR7/2	くの字に頸部が屈曲し、外部外面は薄くなって内湾する。 外面 口縁部横ナデ後、横方向磨き。口縁部はうすくすばり全体が 内湾する。内面 口縁部横方向磨き。
237	弥生土器 小形甕	口縁部1/4破片 口(10.8cm)		埋没土	①細砂・長石細粒・少量の 角閃石を含む②酸化焰。硬 質③にぶい赤褐7.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部から直立気味に外反する口縁部。外部外面は丸い。 外面 口縁部上位横方向磨き下位縦方向磨き、部分的に横方向ナデ。 内面 横方向磨き。
234	土師器 高杯	杯部1/4破片 口(19.6cm)		床面直上	①直径1mmほどの細砂を多 く含む。赤色鉱物粒を含む ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR3/6	直線的に外反する高杯形の杯部。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向磨き。 内面 口縁部横ナデ。杯部縦方向磨き。
233	弥生土器 壺	体部下位1/2残存 底 9.2cm		北壁際 床面上4cm	①砂粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	やや厚手の底部からゆるやかに立ち上がる体部下半部。 外面 体部縦方向磨き。下位横方向横ナデ。底部一方磨き。 内面 体部下位横斜方向磨き。中位横方向磨き。底部一方磨き。

遺物観察表

(2区52号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
236	弥生土器 甕	口縁～体部中位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 13.3cm	埋没土	①微細砂・長石粒を多く含む ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/3	丸い体部からゆるやかに屈曲する頸部に短く外反する口縁部がつく。 外面 口縁部輪積み痕を2段残す。横ナデ。体部上半斜方向寛磨り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半斜方向寛ナデ。
235	弥生土器 壺	体部下位～底部残存	床面直上	①砂粒・微細砂を多く含む ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄褐10YR5/4	厚手の底部。 外面 体部下位縦方向寛磨き。一方向寛磨き。 内面 体部、底部横方向寛磨き。

2区52号住居出土遺物観察表《石器》第48図

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S22	打製石斧	6.8・4.0 1.3	黒色頁岩 35.0	埋没土	器体の下端部分を大きく欠損するため全体の形状は不明だが、側縁形状から判断して、概ね短冊状を呈する可能性が高い。側縁部分は弱く摩耗する。使用段階の欠損か。

2区55号住居出土遺物観察表《土器》第49図・PL22

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
241	土師器 甕	口縁～肩部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (16.0cm)	埋没土	①角閃石と微細砂を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰褐7.5YR4/2	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。端部はつまみ上げられ、外面に面とり。 外面 口縁部斜方向ハケメ。肩部横方向細かいハケメ後、横方向荒いハケメ。 内面 口縁部斜方向ハケメ。肩部斜方向寛ナデ。
239	弥生土器 甕	口縁～頸部残存 口 19.0cm	中央部 床面直上	①細砂・石英粒・角閃石を多く含む。②酸化焰。 ③灰黄褐10YR4/2	ゆるやかに外反する口縁部破片。 外面 口縁部現状で4段の輪積み痕を残す。指ナデ。口縁部外面に面とり。 内面 口縁部横ナデ。
240	土師器 壺	頸部のみ残存	中央部 床面直上	①直径3～5mmの砂粒・石英を多量に含む②酸化焰。硬質。③にぶい赤褐5YR5/3	丸い屈曲する壺形土器頸部破片。 外面 頸部縦方向・斜方向寛磨り後、縦方向寛磨き。 内面 頸部斜方向寛磨き。磨耗が著しく明瞭でない。
242	弥生土器 壺	口縁部破片	埋没土	①微細砂・角閃石と少量の小石を含む。②酸化焰。 ③褐10YR4/6	外面 一単位4条の櫛波状文施文。 内面 横ナデ。
243	弥生土器 壺	体部破片	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③黒褐7.5YR3/1	薄手の小形壺形土器の体部破片。 外面 上半RL横位の縦文施文。下半横方向寛磨き。 内面 横方向寛磨き。

2区55号住居出土遺物観察表《石器》第49図・PL22

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S23	磨石	14.2・8.5 5.6	粗粒安山岩 1060.0	埋没土	断面三角形の棒状礫の三面に部分的に磨り面が認められる。途中で欠損している。

2区57号住居出土遺物観察表《土器》第51図・PL23

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
247	土師器 器台	器受部下位～脚部 $\frac{1}{2}$ 残存 底 (8.9cm)	埋没土	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	ハの字に開く小形器台の脚部。 外面 器受部ナデ。脚部縦方向ナデ。 内面 器受部ナデ。脚部横方向寛ナデ。
1042	土師器 小形器台	器受部～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 7.8cm 高 8.0cm 底 (11.4cm)	埋没土	①細砂・石英粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	小さく浅い器受部。口縁部はやや内湾。脚部は裾が開き、端部は内湾。 外面 口縁部横ナデ。器受部横方向寛磨き。脚部上半縦方向寛磨き。下半ナデ。裾端部横ナデ。 内面 器受部放射状寛磨き。脚部横方向寛磨り。下半ナデ。裾端横ナデ。
245	土師器 甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{4}$ 残存 口 (15.8cm)	中央部 床面上16.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③黒褐5YR3/1	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反する口縁部。端部内面面とり。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向ハケメ中位斜方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向ハケメ後部分的に横方向寛磨き。
246	土師器 壺	口縁～肩部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 8.8cm	埋没土	①直径1～2mmの砂粒・長石粒・黒色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰白10YR8/2 赤 10R4/6	球形の体部からゆるやかに屈曲する頸部に直立気味に口縁部立ち上がる。 外面 口縁部上位横ナデ。下位縦方向寛磨き。横方向ナデ。頸部横ナデ 肩部縦方向細かい寛磨き。赤色塗彩。 内面 口縁部上位横ナデ。下位横方向寛磨き。頸部横ナデ。肩部縦方向ナデ。輪積み痕を残す。

2区59号住居出土遺物観察表《土器》第53図・PL24

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
251	土師器 手捏ね 壺	完形 口 3.8cm 高 5.8cm 底 2.8cm	南東部 床面直上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③明褐灰7.5YR7/2	小形の細頸の壺。体部は算盤玉形。口縁部は外反。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛磨き。底部寛磨き。 内面 口縁部横ナデ。下位横方向寛磨き。体部底部不明。
253	土師器 鉢	ほぼ完形 口 13.6cm 高 4.1cm 底 4.7cm	東壁際 床面上6cm	①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	やや浅い鉢。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部輪積み痕が残るくらいのナデ。底部ナデ。 内面 口縁部横方向ハケメ後横ナデ体部横方向ハケメ後ナデ底部指ナデ。

2 古墳時代初頭の出土遺物

(2区59号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
255	土師器 S字甕	口縁部1/4破片 口 (15.2cm)		埋没土	①直径1mmほどの砂粒を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR4/3	立ち上がり直立し、口縁部内面に面とり。2段目の外反は少ない。 外面 口縁部横ナデ、頸部細かいハケメ後縦方向ハケメ頸部直下に横方向ハケメ。内面 口縁部横ナデ頸部横方向ハケメ下部横方向ハケメ。
252	土師器 高杯	脚裾部1/2欠損 口 13.1cm 高 9.1cm 底 20.1cm		東壁際 床面上2cm	①細砂・角閃石・石英粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR6/4	浅い碗形の杯部。裾が大きく開く低い脚部。口縁部はやや外反。 外面 杯部縦方向ハケメ後、部分的に横方向ハケメ。口縁部横ナデ。脚部縦方向ハケメ後裾部を中心に縦方向ハケメ。内面 杯部縦方向丁寧な磨き。横・斜方向ハケメ後上半のみ縦方向のナデ調整。
256	土師器 台付甕	台部残存 底 7.7cm		埋没土	①微細砂・角閃石・石英細粒を多く含む。②酸化焰 ③にぶい黄橙10YR6/3	ハの字に開く低い台部。 外面 体部下位ナデ。台部縦方向ハケメ。 内面 体部横方向ハケメ。斜方向ハケメ。裾部横ナデ。
254	弥生土器 甕	口縁部破片		埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	外反する壁の口縁部。端部はすぼまる。 外面 7本1単位の櫛描波状文を4段施文。頸部には簾状文があったと思われる。内面 横方向ハケメ。
249	土師器 甕	口縁～体部下位1/4破片 口 (6.8cm) 最 (15.4cm)		南東部 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	丸い体部にゆるやかな頸部から内湾する口縁部が立ち上がる。広口。 外面 口縁部頸部横ナデ、縦方向ハケメ。体部上半横方向ハケメ下半斜方向ハケメ。内面 口縁部横方向ハケメ後ナデ。体部横方向ハケメ。
250	土師器 壺	頸部～体部下位1/4残存 最 (16.8cm)		東壁際 床面上2cm	①細砂を多量に含む。赤色鉱物粒が混じる。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/3	丸い体部に、直立して口縁が立ち上がる。 外面 頸部斜方向ハケメ。体部上中位横方向ハケメ。下位縦方向ハケメ。最下部ナデ。内面 頸部横斜方向ハケメ。体部斜方向ハケメ。
248	土師器 甕	口縁～体部下位1/4残存 口 (14.9cm)		東部 床面直上	①直径2～5mmの砂粒・微細砂を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	丸い体部。屈曲の強い頸部に受け口の口縁部が立ち上がる。端部は外反して内面に面とり。 外面 口縁部頸部横ナデ後縦方向ハケメ。体部横方向ハケメ後斜方向ハケメ。内面 口縁部頸部横ナデ。体部横方向ハケメ。

2区59号住居出土遺物観察表《石器》第53図・PL24

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S26	敲石	12.9・6.3 3.5	灰色安山岩 400.0	埋没土	断面が長楕円形の円礫の両端に敲打痕が残る。
S24	打製石斧	8.4・4.9 2.1	黒色頁岩 79.0	埋没土	左右両側の側縁部分に稜面を残す幅広の剥片を用いる。概ね、短冊状に近い形状を呈す。右側縁には著しい「潰れ」が存在する。

2区60号住居出土遺物観察表《土器》第55図・PL23

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
257	弥生土器 甕	ほぼ完形 口 13.0cm 高 23.6cm 最 19.0cm 底 7.0cm		南東隅 床面上4cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/2	卵形の体部にゆるやかな屈曲の頸部から、短く外反する口縁部がつく。 外面 口縁部～体部中位単節RL縄文横位施文。体部下位上半横方向ハケメ。下半斜・縦方向のハケメ。黒班。内面 口縁部～体部中位横方向ハケメ。体部下位上半不定方向ハケメ、下半内面整形は明瞭ではない。
261	弥生土器 壺	口縁部1/4破片 口 (26.1cm)		南東隅 床面上11cm	①微細砂・直径1mmの砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい褐7.5YR5/2	大きく外反する口縁部。上半に折り返しがある。 外面 口縁部中3.7cmの折り返し部に縄文施文。折り返し部下位斜方向ハケメ。内面 横方向ハケメ。口縁部は大きく外反するが、端部はゆるやかに内湾している。
259	弥生土器 壺	口縁部～体部上位残存 口 14.0cm		北東隅 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部から、やや外反する口縁部が立ち上がる。端部は丸い。 外面 口縁部上半横ナデ。下半指ナデ。指頭痕残る。体部横・斜方向ハケメ後、縦方向ハケメ。 内面 口縁部上半横ナデ、下半横方向ハケメ。体部横方向ハケメ。
262	弥生土器 壺	口縁部～体部上位1/4残存 口 11.6cm		埋没土	①砂粒・石英粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかな屈曲の頸部に、外反する口縁部が立ち上がる。 外面 口縁部横ナデ後、一単位9条の櫛描波状文を1段施文。頸部一単位9条の櫛描簾状文4連止を1段施文。肩部一単位6条の櫛描波状文を2段施文。内面 横方向ハケメ。
351	土師器 壺	頸部のみ残存		埋没土	①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい褐7.5YR7/4	ほぼ直立する頸部。口縁部横に張り出し、体部は球形になるとみられる。 外面 頸部縦方向ハケメ後、縦方向ハケメ。肩部平行線の文様あり。 内面 頸部斜方向ハケメ後、縦方向ハケメ。
269	弥生土器 壺	口縁部～肩部1/4破片		埋没土	①微細砂・長石粒・直径1mmの白色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰黄褐10YR5/2	丸い体部に、ほぼ直立して立ち上がる口縁部。 外面 口縁部下半横ナデ。頸部一単位10条の櫛描簾状文3連止を1段施文。体部上位一単位9条の櫛描波状文を2段施文。 内面 口縁部から頸部横ナデ。体部斜方向のハケメ。
260	弥生土器 壺	口縁部1/4破片 口 (15.2cm)		埋没土	①微細砂・角閃石・長石微細粒を含む。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部に大きく外反する口縁部が立ち上がる。 外面 口縁部横ナデ後、横方向ハケメ。頸部ナデ後、一単位5条の櫛描簾状文を2段施文。体部ナデ後縦方向のハケメ。 内面 口縁部から頸部横ナデ後磨き。体部横方向ハケメ。
273	土師器 器台	脚部1/4破片 底 (13.4cm)		埋没土	①細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	三角錐形で、裾部がやや開いた高杯脚部。 外面 脚部上半縦方向ハケメ。下半横方向ハケメ。 内面 横方向ハケメ。
272	土師器 鉢	口縁部～底部1/4残存 口 (14.0cm) 高 6.9cm 底 5.8cm		埋没土	①微細砂・角閃石と少量の直径3～5mmの小石を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	やや深めの鉢形土器。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向のハケメ概ね2段。底部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部から底部横・斜方向ハケメ。

遺物観察表

(2区60号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
258	土師器 甕	口縁部～体部上位 $\frac{1}{4}$ 残存 口 14.0cm	南東隅 床面直上	①少量の直径5～8mm砂粒と多くの微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	丸い体部にくの字に屈曲する頸部から外反する口縁部が立ち上がる。 外面 口縁部横ナデ。体部上半斜方向のハケメ。 内面 口縁部横・縦方向のハケメ、部分的に横ナデ。体部上半横方向の笥ナデ、一部縦・横方向の笥磨き。
264	土師器 壺	口縁部破片 口 (15.2cm)	埋没土	①微細砂・角閃石・石英粒多く含。やや硬。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	下端に段をもって肥厚して直立し、端部は短く外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ、下半に横方向のハケメ残る。体部ナデ。
265	土師器 壺	口縁部～頸部 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (19.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	直立する頸部に外反する二重口縁がのる。端部外面に鋭い面とり。 外面 口縁部折り返し部上半横ナデ、下半縦方向ハケメ。頸部ナデ。 内面 口縁部上半横ナデ、下半横方向の笥ナデ。頸部ナデ。
263	土師器 甕	口縁部 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (17.8cm)	埋没土	①微細砂・石英粒・角閃石を含む。②酸化焰。硬質。 ③明赤褐5YR5/6	ゆるやかな頸部。外反する口縁部。端部は上に積み上げられ、外面には巾広く面とり。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部最上位縦方向のハケメ、上位横方向のハケメ。内面 口縁部横ナデ。下位に斜方向のハケメが残る。頸部横ナデ。体部横方向の笥削り。
268	弥生土器 甕	口縁部 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (23.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。軟質。 ③にぶい橙7.5YR7/3	ゆるやかな頸部。受け口状口縁。端部内面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。頸部横方向の笥調整。 内面 口縁部横ナデ。頸部縦方向の笥ナデ。

2区64号住居出土遺物観察表《土器》第56図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
275	弥生土器 壺	体部破片	埋没土	①直径1～3mmの砂粒・石英粒を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4	外面 上半部にRL横位縄文施文。下半部ナデ。 内面 横方向笥磨き。
274	土師器 甕	口縁部～体部 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (19.0cm)	北隅 床面上13cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3	丸い体部にゆるやかに屈曲する頸部から、大きく外反する口縁部がつく。口縁端部は丸い。 外面 口縁部から頸部縦方向ハケメ後、横ナデ。体部斜方向のハケメ。 内面 口縁部から頸部横方向ハケメ後、横ナデ。体部縦・斜方向笥ナデ。口縁端部は大きく外湾する。
352	弥生土器 壺	体部上位破片	埋没土	①細砂・微細砂・角閃石と直径3～5mmの小石を少量含。 ②酸化焰③明赤褐5YR5/8	外面 体部丁寧な縦方向の笥磨き後、上部には繊細な平行線文。下部に2条の爪形文。 内面 体部縦方向の指ナデ。

2区65号住居出土遺物観察表《土器》第58図・PL25

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
276	土師器 埴	底部残存 底 2.0cm	東部 床面上8cm	①微細砂・直径1～3mmの石英粒を含む。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/3	小さな底部から丸い体部に続く。 外面 体部下半横方向笥磨き。底部ナデ。 内面 体部下半横方向笥ナデ。
279	土師器 鉢	口縁部～底部 $\frac{1}{4}$ 残存 口 16.8cm 高 7.1cm 底 4.3cm	埋没土	①直径1～2mmの白色鉱物粒微細砂を多く含②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	小さな平底のやや深めの鉢。口縁端部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向笥磨き。底部一方向笥削り。 内面 口縁部横ナデ。体部斜方向笥磨き。底部笥磨き。
278	土師器 壺	体部下位～底部残存 底 8.4cm	埋没土	①微細砂・石英細粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	球形の体部の壺形土器の下半部。 外面 体部下位縦方向笥磨き、下部横方向ナデ。底部笥削り後、一方向笥磨き。 内面 体部下位横方向笥磨き、下部横方向笥ナデ。底部横方向笥ナデ。
277	弥生土器 高杯	杯部のみ残存 口 23.9cm	中央部 床面直上	①角閃石・石英粒・砂粒を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰黄褐10YR6/2	大形で浅い高杯の杯部。口縁端部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向細かい笥磨き。接合部横方向笥削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部縦方向細かい笥磨き。 内外面赤色塗彩されているが、色はあせている。
280	土師器 台付甕	体部下位～中部 $\frac{1}{4}$ 残	埋没土	①直径2～5mmの砂粒少量と微細砂を多く含。②酸化焰。 ②にぶい黄橙10YR6/4。	大形の台付甕の体部・台部の接合部。 外面 体部縦方向ハケメ。台部縦方向ハケメ。 内面 体部横方向ハケメ。台部ナデ。

2区65号住居出土遺物観察表《石器》第58図・PL25

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S25	削器	2.4・5.8 1.1	黒色頁岩 33.0	埋没土	礫面を大きく残す剝離の初期段階に生じる剝片を用いる。加工は上下両端部分に集中的に施され、端部に直線的刃部に作り出している。
S31	砥石	3.5・4.0	流紋岩 30.0	埋没土	扁平な板状に加工された砥石の、上下端が欠損した小形の砥石。上面はよく使用されている。

2 古墳時代初頭の出土遺物

2区67号住居出土遺物観察表《土器》第60図・PL25

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
289	土師器 器台	器受部下位1/2～脚部上位 残存	埋没土	①微細砂・少量の小石直径 5～8mmを含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	特殊器台の器受部と脚部の接合部。 外面 器受部下位斜方向磨き。脚部縦方向磨き。 内面 器受部下位縦・横方向磨き。脚部ナデ。
287	土師器 台付壺	台部残存 底 11.0cm	北部 床面上11.7cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。③橙7.5YR6/6	やや大形の台付壺の台部。端部はやや内湾する。 外面 台部斜方向磨前後、縦・斜方向ハケメ。内面 台部斜方向磨削り。
286	土師器 壺	口縁部1/2欠損 口 11.2cm 高 12.0cm 最 12.2cm 底 5.2cm	北部 床面直上	①細砂粒・石英粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③淡黄2.5Y8/3	丸い体部。ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。小形。 外面 口縁部横ナデ。頸部斜方向磨ナデ。体部上半右上がり斜方向磨ナ デ。中位左上がり斜方向磨ナデ。下半右上がり斜方向磨ナデ。底部磨削 り。黒斑。内面 口縁部から頸部横方向磨き。体部横方向磨ナデ。
284	土師器 壺	口縁部～体部上位1/2破 片。 体部下位～底部1/2残存 口(17.0cm)底 5.9cm	中央部 床面上31cm	①微細砂・長石粒・角閃石・ 赤色鉱物粒・白色鉱物粒を 含む。②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	丸い体部。ゆるやかな頸部。短く外反する口縁部。大形。 外面 口縁部から頸部横ナデ。体部上位横方向磨削り。中位磨削り後、 横方向磨き。下位縦方向磨き。裾部横方向磨削り。底部磨削り。 内面 口縁部から頸部横ナデ。体部上位から下位横方向磨ナデ。
288	土師器 壺	口縁部～体部中位1/2破片 口(15.6cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/2	丸い体部。ゆるやかな頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部縦・斜方向ハケメ。頸部から体部上位斜方向ハケメ後、横 方向磨ナデ。内面 横方向ハケメ後、斜方向磨き。頸部から体部上 位横方向磨き。
285	土師器 壺	口縁部～体部下位1/2残存 口(13.7cm)	中央部 床面上21cm	①直径3～5mmの砂粒・微細 砂・角閃石を含。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。やや下膨れの体部と、外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向ハケメ、下位斜方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向磨ナデ。
283	弥生土器 壺	口縁部～底部1/2残存 口(11.1cm)高 19.1cm 最 15.4cm 底 6.2cm	中央部 床面上23cm	①細砂・長石細粒を多く含。 ②酸化焰。やや軟質。 ③にぶい黄橙10YR6/3	ゆるやかにくの字に屈曲する頸部。下半部に最大径のある体部。 外面 口縁部から頸部縦方向磨き。体部上位横方向磨き。中位縦方 向ハケメ後、上をナデている。下位縦方向磨き。底部磨削り。 内面 口縁部縦方向磨き。頸部横方向磨き。体部上半横方向磨ナデ、 下半縦方向ナデ調整。底部指押え。
281	土師器 壺	体部のみ残存 最 27.8cm	中央部 床面上24cm	①砂粒・白色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/3	体部中位よりやや上に最大径のある球形体部。底部はやや丸い。 外面 体部上半縦方向中狭の磨ナデ。中位から下位縦方向磨き。底部 一方向の磨き。上半煤付着。黒斑。 内面 体部横方向磨ナデ。底部指押え。
282	弥生土器 壺	体部下位1/2残存 底(5.9cm)	南東部 床面上28.5cm	①細砂・角閃石を多量に含。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR8/3	小さな底部。やや下位が張る体部。 外面 体部上半縦方向磨き、下半縦方向磨き後、中位横方向磨き。 底部放射状ナデ。内面 体部上半縦・斜方向磨き後、横方向磨き。 下半斜方向磨き。底部放射状ナデ。

2区77号住居出土遺物観察表《土器》第62図・PL26

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
290	弥生土器 壺	口縁部～頸部1/2残存 口 14.7cm	南東隅 床面直上	①直径1～4mmの砂粒・長 石細粒・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。巾広の折り返しがある。 外面 口縁部上端に巾2.5cmの折り返し部が付けられ、縄文が施されて いる。折り返し部より下は縦方向磨き。黒斑。内面 口縁部上半横 方向ナデ。下半上位横方向磨き。下位縦方向磨き。
291	弥生土器 壺	口縁部1/2残存 口(18.0cm)	西壁寄り 床面直上	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。巾の狭い折り返しがある。 外面 口縁部縦方向ハケメ後、部分的に横方向ナデ。上端部横ナデ。 頸部櫛波状文。 内面 口縁部上半横方向ハケメ。下半から頸部横方向磨削り。
293	弥生土器 壺	体部下位～底部残存 底 9.0cm	南東隅 床面上1.5cm	①細砂・角閃石を多量に含。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	大形の体部下位。 外面 体部下位縦方向磨き。底部磨き。 内面 体部斜方向磨ナデ後、横方向磨き。底部磨き。
296	弥生土器 小形壺	口縁部～体部中位1/2破片 口(9.0cm)	南東隅 床面上1.5cm	①微細砂・長石微細粒を含。 ②酸化焰。 ③暗赤褐5YR3/3	ゆるやかに屈曲する頸部。短い口縁が外反している。体部は丸い。 外面 口縁部ナデ後、単位6条の櫛波状文を4段施文。体部上半横・ 斜方向磨削り。内面 口縁部から体部上半横方向磨き。
292	弥生土器 壺	口縁部～体部上位1/2残存 口(13.4cm)	南壁際 床面直上	①細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。やや外反する口縁部。 外面 口縁部現況で7段の粘土帯痕を残し、端部上面とともにLR横位の 縄文施文。内面 口縁部横方向磨削り後、横・斜方向磨き。
294	弥生土器 壺	口縁部～体部中位残存 口 11.6cm 最 15.0cm	東壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石を含む。白 色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/3	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。体部は球形。 外面 口縁部2段の輪積み痕を残し、横ナデ後、口縁部端下から肩部に かけて単節の縄文横転施文。体部器面が荒れており、整形単位は明瞭で ない。下位に縦方向の磨きがわずかに取れている。 内面 口縁部横方向磨き。体部横方向磨ナデ。
295	土師器 壺	口縁部～体部上位1/2破片 口(18.0cm)	東壁寄り 床面上3cm	①砂粒・赤色鉱物粒を多く 含む。②酸化焰。やや軟質。 ③橙5YR6/6	丸くくの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。体部は丸い。 外面 口縁部から頸部横ナデ。体部上位横・斜方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ナデ。体部上位縦方向ナデ。
298	土師器 台付壺	台部残存 底 8.6cm	P1脇 床面上1.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3	ハの字に開く低い台部。 外面 台部上位ナデ、中位縦方向ハケメの痕跡残る。下位横ナデ。 内面 台部斜方向ナデ。
297	土師器 高杯	杯部1/2残存 口(16.2cm)	東壁寄り 床面上8cm	①微細砂・直径3～5cmの 小石を少量含む。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	口縁部端部が内湾する、鉢形の高杯杯部。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向磨き後、下半縦方向磨き。 内面 口縁部横ナデ。杯部縦方向磨き。

遺物観察表

(2区77号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
299	土製品 紡錘車	3/4残存 口 3.75cm 高 1.4cm 底 4.3cm	北壁際 床面上7cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③にぶい褐7.5YR6/3	断面台形の紡錘車。 内外面 ナデ調整。

2区83号住居出土遺物観察表《土器》第63図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
300	土師器 壺	底部破片 底 6.8cm	北壁際 床面上9.5cm	①砂粒・微細粒・角閃石・石英粒を多く含む。 ②酸化焙。③橙5YR6/6	厚い底部破片。大形の壺と考えられる。 外面 体部下位指押え。底部ナデ。 内面 ナデ。黒斑。

2区84号住居出土遺物観察表《土器》第64図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
301	弥生土器 甕	口縁部1/4破片 口 (14.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石・長石細粒を多く含む。②酸化焙。 ③黒褐2.5Y3/1	ゆるやかに外反する口縁部。 外面 口縁部上位縄文施文。中位横方向ナデ。下半一単位4条の櫛描波状文を2段施文。頸部横方向ナデ。内面 口縁から頸部横方向磨き。
359	弥生土器 壺	体部破片	埋没土	①直径1～3mmの砂粒を多量に含む。②酸化焙。 ③(表)暗灰黄2.5Y5/2 (裏)浅黄2.5Y7/3	外面 上方にR2条の結節が横位に、下方にはLRと思われる不明瞭な縄文が横位に施文されている。施文方向には乱れがある。 内面 ナデ調整。

2区89号住居出土遺物観察表《土器》第65・66図・PL28

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
869	弥生土器 壺	完形 口 16.6cm 高 29.8cm 最 23.8cm 底 7.8cm	南東部 床面上4cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い算盤形の体部。口縁部は外反し、巾広の折り返しから端部につく。 外面 口縁部貼付部横ナデ。下位縦方向ハケメ後ナデ。頸部一単位8本の櫛描波状文。3連止。体部上位斜方向2段にハケメ。櫛描文と同じ施文具とみられる。その下位に一単位8本の櫛描波状文。中位縦・斜方向ハケメ後最大径部分は特に横方向磨き。下半縦方向磨き。底部磨削。 内面 口縁部上端部横ナデ。下半横方向ハケメ。頸部ナデ。体部上半横方向磨ナデ。下半斜方向磨削り後ナデ。
873	弥生土器 壺	口縁部・胴部一部欠損 口 18.9cm 高 32.1cm 最 23.1cm 底 9.5cm	東部 床面直上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。肩部が張る体部。口縁部は外反し、端部はさらに開く。 外面 口縁部横ナデ。体部上位RL横位2段に施文。中位横方向磨き。下半縦方向磨き。底部磨削り後ナデ。 内面 口縁部横方向磨き。体部上半横方向ナデ。下半縦方向ナデ。
891	土師器 鉢	口縁～体部下位1/4残存 口 (4.7cm) 高 (6.3cm) 最 (8.7cm) 底 (3.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	小さな底部の鉢形土器。口縁部は短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向丁寧なナデ。
874	土師器 小形器台	器受部1/4欠損 口 8.8cm 高 7.5cm 底 10.5cm	中央部 床面上7cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。 ③にぶい橙7.5YR7/4	浅い器受部。裾部がやや開くハの字形の脚部。 外面 口縁部横ナデ。器受部縦方向ナデ。脚部縦方向ナデ。ほぼ中位に3孔。その下位に篋描山形文。 内面 口縁部横ナデ。器受部縦方向磨き。脚部横方向磨ナデ。
875	土師器 高杯	脚部上半残存	北東部 床面上18cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焙。硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	端部が内湾する低い高杯脚部。 外面 杯部磨き。脚部縦方向磨き。4孔穿孔。 内面 杯部磨き。脚部杯部との接合部指ナデ。下半横方向磨ナデ。
876	土師器 甕	口縁部1/4・体部中位～底部残存 口 (16.5cm) 高 (9.0cm) 最 (16.5cm) 底 (3.0cm)	中央部 床面上8.5cm	①細砂を含む。 ②酸化焙。 ③にぶい黄橙10YR7/3	小さな底部から大きく開く鉢形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部磨削り後磨き。下端部磨削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ハケメ。下半横方向磨削り。
870	土師器 小形台付壺	ほぼ完形 口 6.5cm 高 12.4cm 最 8.7cm 底 6.4cm	中央部 床面上3cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。硬質。 ③赤褐5YR4/6	ゆるやかな頸部。外反する口縁部。丸い体部。低くハの字に開く台部がつく。 外面 口縁部横ナデ。体部磨削り後、斜方向磨き。台部縦方向磨き。下端横ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ハケメ。下半ナデ。台部横方向ハケメ後ナデ。下端部横ナデ。
887	弥生土器 壺	口縁部1/4破片 口 (12.0cm)	埋没土	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。 ③赤褐5YR4/6	くの字に外反する複合口縁。内面端部は巾広く面とり。 外面 口縁部貼付部横ナデ後棒状付文を貼付。下位指ナデ後横・斜方向磨き。内面 口縁部横方向磨ナデ後丁寧な横方向磨き。
871	弥生土器 壺	体部1/4欠損 口 14.0cm 高 22.5cm 最 (21.5cm) 底 6.0cm	中央部西寄り 床面上3cm	①微細砂・石英細粒・角閃石を含む。 ②酸化焙。硬質。 ③赤褐5YR4/6	くの字に屈曲する頸部。大きく外反する高い口縁部。体部は下膨れで、底部は小さい。 外面 口縁部縦方向磨き。中位にごく細い横位の爪形文1条が施文されている。体部縦方向の細かい磨き後くの字の頸部直下から、一単位10～12本の細い平行線文が2段に施文されその下位に細い横位の爪形文が2条施文されている。最下部には斜方向ハケメが残る。内面 口縁部縦方向磨き。体部上半指ナデ。下半斜方向ハケメ後部分的に指ナデ。

2 古墳時代初頭の出土遺物

(2区89号住居・第65・66・67図)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
885	弥生土器壺	頸部～体部中位 $\frac{1}{2}$ と底部 $\frac{1}{2}$ 残存	最(26.4cm)底(8.0cm)	南壁際 床面上14.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐2.5YR3/6	ゆるやかな頸部。球形の体部。体部下位は図上復元。 外面 頸部縦方向ハケメ。体部上位横方向寛磨き。下位縦方向寛磨き。底部ナデ。内面 頸部横方向寛磨き。体部上位横方向寛磨き。体部下位～底部横方向ナデ。
889	土師器甕	口縁～体部中位 $\frac{1}{2}$ 破片	口(11.2cm)最(12.6cm)	東壁際 床面上11cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3	やや脷長の体部。短くくの字に屈曲する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜方向ハケメ。中位縦方向ハケメ。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
872	土師器小形甕	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存	口(12.0cm)高(11.3cm)最(13.6cm)	西壁際 床面上8cm	①微細砂と少量の角閃石を含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい橙7.5YR7/3	丸い球形の体部。短くくの字に屈曲する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜方向ナデ。中位～下位斜方向寛削り後縦方向ナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。中位～下位縦方向細い寛ナデ。
878	弥生土器小形甕	口縁～体部中位・底部 $\frac{1}{2}$ 残存	口8.8cm高(10.8cm)最9.8cm底4.0cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	体部下位に最大径のある甕形土器。頸部はゆるやかに屈曲し、口縁部は外反する。 外面 口縁部～体部上位一単位4～5本の櫛描波状文。中位横方向寛ナデ。下位斜方向寛ナデ。底部寛削り。内面 口縁部横方向寛磨き。体部中位横方向寛磨き。下位～底部横方向寛ナデ。
888	弥生土器壺	口縁部 $\frac{1}{2}$ 破片	口(16.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。上端に巾狭の折返し。 外面 口縁部貼付部横ナデ。下位縦方向ハケメ。頸部櫛描波状文。内面 口縁部上端部横ナデ。下位横方向ハケメ。頸部横方向寛ナデ。
877	弥生土器甕	口縁部～体部上位残存	口13.7cm	中央部西寄り 床面上3cm	①微細砂と少量の角閃石を含む。②酸化焰。 ③赤褐5YR4/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横方向指ナデ。粘土紐巻上痕残る。体部上位横方向ハケメ。内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ナデ。
923	土師器S字甕	口縁部 $\frac{1}{2}$ 破片	口(16.2cm)	埋没土	①砂粒と直径1～2mmの石英粒を含む。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	屈曲部の低いS字状口縁。端部はやや丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向ハケメ後横方向ハケメ。内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ。体部上位横方向寛ナデ。指頭痕も残る。
922	土師器甕	口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存	口(18.2cm)	埋没土	①微細砂・雲母・角閃石を含む。②酸化焰。 ③赤褐2.5YR4/6	体部からすぐ直立する口縁部。内外面とも2段の節状の稜ができています。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向ハケメ。内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ハケメ後横方向ナデ。
905	土師器甕	口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存	口(15.4cm)	埋没土	①細砂を多量に、角閃石・白色鉱物粒を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。端部外面に面とり。体部丸い。 外面 口縁部縦・斜方向荒いハケメ。頸部～体部上位縦方向ハケメ。体部横方向のハケメ。内面 口縁部横・斜方向荒いハケメ。体部横方向寛ナデ。
881	土師器甕	口縁部 $\frac{1}{2}$ 強、胴上部少々	口(21.3cm)	東壁際 床面上11cm	①細砂・角閃石・石英粒を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。端部はすぼまる。 外面 口縁部縦方向ハケメ後、横ナデ。上端部は指頭による押えがある。頸部～体部上位縦方向ハケメ。上端には工具の圧痕が著しい。一部に横方向のハケメが見られる。内面 口縁部横・斜方向ハケメ。頸部～体部上位横方向ナデ。
884	土師器甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片	口(21.5cm)高(8.5cm)	南東 床面上16cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR6/4	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反し端部が薄くなる口縁部。 外面 口縁部斜方向ハケメ後横ナデ。頭部ナデ。体部上位斜方向寛削り。内面 口縁部横方向ハケメ。体部上位横方向ナデ。
883	土師器甕	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 破片	口(18.6cm)高(10.6cm)最(26.5cm)	東部 床面上9cm	①砂粒・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR7/3	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部縦方向ハケメ後横ナデ。頸部横ナデ。体部上位～中位斜方向ハケメ。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位～中位横方向寛ナデ。
880	土師器甕	口縁～体部中位 $\frac{1}{2}$ 残存	口(14.8cm)高(11.5cm)最20.0cm	南壁際 床面上3.5cm	①細砂・微細砂と少量の角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する短い口縁部。端部外面の面とり下端が大きく垂下している。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上半横・斜方向ハケメ。部分的に横方向のナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
896	土師器甕	口縁部破片	口(9.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。端部外面鋭い面とり。 外面 口縁部横ナデ。頸部～体部下位縦方向荒いハケメ。内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ハケメ。体部下位横方向寛ナデ。
879	土師器甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片	口(19.0cm)最(22.0cm)	中央部西寄り 床面上6cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい黄橙10YR6/4	ゆるやかに屈曲する広口の頸部。短く外反する口縁部。体部は丸い。 外面 口縁部指ナデ。頸部斜方向指押え。体部上半横方向ハケメ。内面 口縁部横方向ハケメ。体部上半横方向ハケメ。

2区90号住居出土遺物観察表《土器》第69図・PL29

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
303	弥生土器壺	口縁部破片	口(18.8cm)	埋没土	①微細砂・石英細粒を含む。黒色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焰。③黒10YR1/1.7	受け口状の口縁部破片。 外面 口縁部横方向寛磨き。 内面 口縁部横方向寛磨き。
302	弥生土器壺	体部中位 $\frac{1}{2}$ 破片	最(29.2cm)	南西壁寄り 中央 床面上2.5cm 床面直上	①直径3～5mmの小石・赤色鉱物粒微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4	球形の体部中位の破片。 外面 体部上位RL縄文横位施文。その下に一単位7条の櫛描波状文3連止を1段施文。下位横方向寛磨き。 内面 体部斜・横方向寛磨き。

遺物観察表

2区90号住居出土遺物観察表《石器》第69図・PL29

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S28	磨石・敲石	26.5・12.5 6.5	石英閃緑岩 3065.0	埋没土	やや偏平の円盤。上面はやや斜めになってくぼみ、磨り面が使いこまれている。小口は、敲き痕があり、敲石としても使用されている。

2区91号住居出土遺物観察表《土器》第71図・PL30

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
305	弥生土器 壺	口縁～頸部残存 口 13.6cm	南隅部 床面直上	①微細砂・角閃石直径3～5mmの石英を含む。②酸化焙。③橙5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。上端はやや内湾する。 外面 上半折り返し部にLRR(前々段反摺)横位を施文。 内面 上端横ナデ。上位か下位横方向縦方向磨き。下端横方向磨削り。
307	弥生土器 甕	口縁～体部上位1/4残存 口 14.8cm	中央北西寄り 床面直上	①細砂を多く含む。②酸化焙。③にぶい橙7.5YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部から頸部上半に3段の輪積み痕を残しLL(直前段反摺)横位の縄文を3段施文。内面 口縁から頸部横方向磨き。
308	弥生土器 壺	体部上半1/4残存	南隅部 床面直上	①微細砂・角閃石・長石細粒・赤色鉱物細粒を含む。②酸化焙。硬質。③赤褐5YR4/6	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。 外面 頸部縦方向磨き。体部上半縄文横位施文。下半横方向磨き。 内面 頸部横ナデ。体部上半から下半横方向磨き。
304	弥生土器 壺	口縁～体部中位1/2残存 口(13.8cm)	中央南西寄り 床面上4.5cm	①細砂を多く含む。②酸化焙。③にぶい橙7.5YR7/4	ゆるやかなくの字の頸部。直立気味に外反する口縁部。やや丸い体部。 外面 口縁部から体部上位LR横位の縄文を4段施文。下半横方向磨き。 内面 口縁部横方向磨き。体部上位から下半横方向磨ナデ。
306	弥生土器 壺	口縁部1/4残存 口 16.3cm	中央南西寄り 床面直上	①微細砂・細砂を含む。②酸化焙。③にぶい橙7.5YR6/4	ゆるやかに外反する口縁部破片。 外面 口縁部上半5段の輪積み痕を残しナデ調整。下半横方向磨き。 内面 口縁部上半から下半横方向磨き。
360	弥生土器 壺	体部破片	埋没土	①微細砂を多く含む。②酸化焙。③にぶい黄橙10YR6/3	外面 無節。縄文施文。 内面 横方向磨き。
311	土師器 高杯	脚部残存 底 11.2cm	中央南西寄り 床面直上	①微細砂・角閃石・石英細粒を含む。②酸化焙。③にぶい黄橙10YR6/6	ハの字に、低く開く高杯脚部。 外面 脚部縦方向磨削り後、縦・斜方向磨き。 内面 脚部横方向磨ナデ。裾部横ナデ。
312	弥生土器 高杯	杯部1/4残存 口 22.1cm	北東壁寄り 床面直上	①微細砂を含むが緻密胎土である。②酸化焙。硬質。③暗赤10R3/6	深い碗形の高杯杯部。 内外面とも丁寧な磨き調整。赤色塗彩。
309	土師器 小形甕	口縁部体部一部欠損 口 11.0cm 高 11.5cm 最 11.8cm	南東壁際 床面直上	①直径0.5～2mmの砂粒・長石細粒を含む。②酸化焙。③にぶい赤褐7.5YR5/4 極暗赤褐5YR2/3	ゆるやかな頸部。外反する口縁部。端部外面は面とり。体部は丸く、底部はごく小さい。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向ハケメ。体部横斜方向ハケメ後横方向磨き。底部縦方向ハケメ。 内面 口縁部下半斜方向ハケメ上半横ナデ。頸部指押え。体部横方向ハケメ後縦方向指ナデ。底部横方向ハケメ後一方向指ナデ。
310	弥生土器 壺	体部下位～底部 底 4.0cm	中央北西寄り 床面上2cm	①微細砂を多く含む。白色鉱物粒が目立つ。②酸化焙。③黒褐5YR2/1	やや下膨れの体部下位。 外面 体部下位縦方向磨き。底部磨き。 内面 体部下位底部横方向磨ナデ。

2区26号土坑出土遺物観察表《土器》第73図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
314	弥生土器 小形甕	口縁～体部下位1/2破片 口(9.6cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。②酸化焙。やや硬質。③明赤褐5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。体部は小さく丸い。 外面 口縁部から体部上位ナデ後一単位5条の櫛描波状文を2段ずつ2段(計4段)施文。頸部波状文と同じ施文で簾状文1段。 内面 口縁から体部横方向磨き。
315	弥生土器 甕	口縁部1/2破片 口(14.5cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。②酸化焙。硬質。③にぶい黄橙10YR6/4	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。端部はすぼまる。 外面 口縁部ナデ後上半一単位9条の櫛描波状文を2段施文。頸部櫛描簾状文3連止施文直下に波状文施文。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向磨ナデ。
313	土師器 壺	口縁～頸部1/2破片 口(19.8cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焙。③明黄褐10YR7/6	直立する頸部。やや内湾して開く複合口縁部。複合部は垂下する。 外面 口縁部折り返し部上半横ナデ。下半縦方向ハケメ。頸部縦方向ハケメ。内面 口縁部横方向ハケメ後横ナデ。頸部横方向磨ナデ。

4区1号周溝墓出土遺物観察表《土器》第77図・PL32

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
316	土師器 壺	口縁～頸部1/2残存 口(24.5cm)	周溝北西部 底面上47cm	①微細砂・角閃石・石英粒を含む。②酸化焙。③橙5YR6/6	丸くゆるやかに屈曲する頸部。2段に屈曲する口縁部。上段は長い。 外面 口縁部縦方向ハケメ後横ナデ。頸部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。頸部磨ナデ。ハケメ痕を残す。

2 古墳時代初頭の出土遺物

4区3a号周溝墓出土遺物観察表《土器》第78図・PL33

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
317	弥生土器 壺	口縁部破片		北周溝 底面上4cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐5YR5/6	ゆるやかに外反する口縁部。上端に折り返しがある。 外面 折り返し部およびその下位にRL横位縄文施文。 内面 横方向寛磨き。
318	弥生土器 壺	体部 $\frac{3}{4}$ 残存 最(27.1cm) 底(8.8cm)		北周溝東隅 底面直上	①細砂・長石細粒・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/3	やや厚手の底部から球形の体部が立ち上がる。 外面 体部上半横方向寛磨き後上半～下半縦方向寛磨き。肩部単節横ころがしの縄文施文。底部ナデ。上半煤付着。内面 体部横方向寛磨きナデ
319	土師器 壺	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口(16.0cm)		北周溝中央部 底面上4cm	①細砂と直径3～5mmの石英粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰白10YR8/2	球形の体部。直立気味に立ちあがる頸部。さらに外反する口縁部。口縁部上半は内湾する。 外面 口縁部下半縦方向ハケメ後上半横ナデ。体部横方向ハケメ後縦方向寛磨き。内面 横方向ハケメ後上半のみ横ハケ。下端に稜。頸部下位指押え。中位～下位横方向寛磨き。内面黒色。

4区4号周溝墓出土遺物観察表《土器》第81図・PL33

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
320	弥生土器 壺	体部下位～底部 $\frac{3}{4}$ 残存 底 5.6cm		周溝北西隅 底面上5cm	①砂粒・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③内 ぶい黄橙10YR6/3 外 ぶい赤褐2.5YR5/4	厚い底部に下膨れの体部が立ち上がる。 外面 体部中位ハケメ整形具による横線文。その下に楕円形の刺突文がほぼ1cm間隔でつけられている。下位横方向寛磨き。体部下半赤色塗彩。 内面 体部中位横方向寛磨きナデ。

4区5号周溝墓出土遺物観察表《土器》第81図・PL34

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
324	弥生土器 高杯	裾部一部欠損 口 8.5cm 高 7.6cm 底 9.0cm		南周溝中央部 底面上18cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄橙10YR3/4	ハの字に開く脚部に、やや内湾して開く杯部のついた高杯。 外面 杯部～脚部縦方向寛磨き。端部横ナデ。 内面 杯部端部横ナデ。中央部縦方向寛磨き。脚部横方向寛磨き。
323	弥生土器 壺	完形 口 11.4cm 高 12.5cm 最 12.5cm 底 4.5cm		西周溝中央部 底面直上	①微細砂・角閃石・黒色鉱物細粒を含む。 ②酸化焰。 ③浅黄橙10YR8/3	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。端部に面とりし寛による刻み目。肩部横方向寛磨き後一単位9条の櫛描波状文2段施文。体部中位斜方向寛磨き後横方向寛磨き。下位横方向寛磨き。黒斑あり。 内面 口縁部横ナデ。肩部横方向寛磨き。体部横・斜方向寛磨き。
321	弥生土器 壺	完形 口 13.1cm 高 16.3cm 最 14.0cm 底 4.8cm		南周溝中央部 底面上9cm	①微細砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄2.5Y7/3	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。端部に面とりし刻み目。肩部一単位9条の櫛描波状文を2段施文。やや乱れている。体部中位横方向寛磨き。下位縦方向寛磨き調整の後横方向寛磨き。底部寛ナデ。 内面 口縁部横ナデ。肩部横方向寛磨き。体部横方向寛磨き後縦方向に3段の寛磨き。底部寛削り。
322	弥生土器 壺	口縁部・体部一部欠損 口 14.3cm 高 18.0cm 最 14.5cm 底 5.4cm		西周溝中央部 底面上2cm	①直径1～3mmの砂粒・微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。やや長い体部。 外面 口縁部上半横ナデ。下半縦方向ハケメ後ナデ。頸部ナデ後3～4条の櫛描波状文施文。体部上半縦方向寛磨き。中位斜方向寛磨き。下半横・斜方向寛磨き。底部寛磨き。 内面 口縁部上半横ナデ。下半～体部下半横方向寛磨き。底部寛ナデ。

4区6号周溝墓出土遺物観察表《土器》第81図・PL33

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
325	弥生土器 壺	口縁下位～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 最(25.4cm)		北周溝 底面直上	①微細砂・石英細粒を多く含む。黒色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。球形に近い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部一単位9本の櫛描波状文2連を1段施文。体部上位一単位5～7本の櫛描波状文4段施文。下位横方向寛磨き。 内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部ナデ後横方向寛磨き。

6区2号住居出土遺物観察表《土器》第83図・PL36

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
326	弥生土器 壺	体部破片		北東隅 床面直上	①微細砂・直径2～3mmの小石を含む ②酸化焰。硬質。 ③黒褐7.5YR3/2	やや肩が張る体部破片。 外面 頸部から体部上位にかけてRL横位縄文を施文。以下縦方向寛磨き。 内面 横方向寛磨き。
327	土師器 高杯	脚部 $\frac{1}{2}$ 残存 底(14.6cm)		中央東壁寄り 床面上2.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい褐7.5YR5/4	裾部が大きく開いた高杯脚部。 外面 脚部縦方向寛磨き。 内面 脚部上半縦方向ナデ。下半横方向ナデ。
328	土師器 台付甕	台部残存 底 11.7cm		北東隅 床面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③褐7.5YR4/3	下端が内湾する台部。 外面 台部縦方向寛磨きナデ。 内面 台部横・斜方向寛削り。
329	土製品 紡錘車	完形 上 3.8cm 高 1.6cm 最 4.4cm 下 4.3cm		南壁際 床面直上	①細砂・微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③黒2.5Y2/1	断面が台形を呈する、厚みのある紡錘車。 上面 ナデ後、中央の穿孔の周囲に、17本の放射状の爪形文を施す。 側面 ナデ。 下面 丁寧になでられており、整形痕は不明瞭。

遺物観察表

6区12号住居出土遺物観察表《土器》第85図・PL36

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
330	土師器 甕	口縁～肩部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (14.9cm)	南東周溝内 床面上3cm	①砂粒を多く含む②酸化焰 や>軟。③内 暗褐7.5YR3/3 外 黒7.5YR2/1	ゆるやかに屈曲する頸部。短く内湾する口縁部。体部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向 $\frac{1}{2}$ 後縦方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。
331	土師器 S字状口 縁台付甕	口縁～体部下位 $\frac{1}{4}$ 残存 口 (11.6cm)	南東寄り 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	屈曲が直立するS字甕。口縁部端部内面には面とり。体部は全体に丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向ハケメ。肩部に横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。頸部下には指頭痕。体部斜方向ハケメ。
332	土師器 甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{4}$ 残存 口 (18.4cm)	南東寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む ②酸化焰。 ③黒褐2.5Y3/1	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。体部はやや肩が張る。 外面 口縁部横ナデ。口縁部下位～頸部縦方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。体部上位横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。内面 口縁部上位横ナデ。口縁～頸部横方向ハケメ。体部ナデ。
334	弥生土器 壺	体部下位～底部 $\frac{1}{4}$ 残存	南東周溝内 床面上3cm	①細砂・石英粒・角閃石を 多く含む。 ②酸化焰 ③赤褐5YR4/6	小さい底部から長く外反して立ち上がる体部。 外面 体部下位縦方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部ナデ。 内面 体部下位横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。
333	土師器 壺	口縁部上半 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (21.2cm)	中央東寄り 床面上8cm	①少量の微砂・直径2～5 mmの小石・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	大きく外反する口縁部。端部外面に面とり。二重口縁と考えられる。 外面 口縁部端部外面面とりして横方向ハケメ。上半斜方向ハケメ。ハ ケメの上端部横ナデ。 内面 口縁部横・斜方向ハケメ。
335	土師器 鉢	口縁部 $\frac{1}{4}$ ～底部残存 口 (9.8cm) 底 4.0cm	埋没土	①微細砂・直径1～3mmの 石英粒を含む。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	丸く深い碗形の体部。短く外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上半斜方向ハケメ。下半指ナデ。底部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部斜・横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。

6区14号住居出土遺物観察表《土器》第87・88図・PL35

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
339	弥生土器 甕	口縁～体部一部欠損 口 9.7cm 高 13.1cm 最 11.5cm 底 4.6cm	西壁寄り 床面直上	①細砂・長石粒を多く含む ②酸化焰。硬質。 ③灰褐5YR4/2	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反する口縁部。 外面 口縁部～体部上半LR横位の縄文施文。中位縦方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。下半縦 方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。体部黒斑。内面 口縁部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。 体部斜方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。
344	弥生土器 甕	ほぼ完形 口 9.9cm 高 13.9cm 最 10.9cm 底 4.7cm	北西壁寄り 床面直上	①細砂を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③外 上半にぶい黄橙 10YR6/3 内 灰褐7.5YR4/2	ゆるやかに屈曲する頸部。端部が大きく外反する口縁部。 外面 口縁部輪積み痕を残して付加条第1種(軸RL+R2本)の縄文施 文。体部上半縄文施文。中位～下半横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部一方 $\frac{1}{2}$ 磨き。 体部上半煤付着。内面 口縁部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。体部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。
343	弥生土器 甕	口縁～体部下位残存 口 11.9cm 最 16.8cm	北西壁寄り 床面直上	①直径1～3mmの砂粒・長 石粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。③褐7.5YR4/3	丸い体部から直立気味に屈曲して立ち上がり、外反する口縁部。 外面 口縁部～体部上位横位LR縄文施文。中位縦・斜方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。 内面 口縁部ナデ。体部横・斜方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。図示は同方向 $\frac{1}{2}$ 磨きの単位。
336	弥生土器 甕	ほぼ完形 口 15.2cm 高 25.7cm 最 21.7cm 底 6.9cm	北西壁寄り 床面上2.5cm	①細砂・角閃石を多く含む 白色鋳物粒が目立つ。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR6/3	ゆるやかに屈曲し、短く外反する口縁部。体部はやや丸く、底部は小さい。 外面 口縁部～肩部LR横位の縄文施文。体部中位横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。下位横 方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部ナデ。体部外面に黒斑。 内面 口縁部斜方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。肩部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。体部斜方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。体 部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。
342	弥生土器 甕	口縁～肩部 $\frac{1}{2}$ ・体部下半 残存 口 13.2cm 高 21.4cm 最 17.4cm 底 6.0cm	北西壁寄り 床面直上	①直径2～6mmの砂粒・長 石細粒・角閃石・赤色鋳物 粒を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	ゆるやかに屈曲する頸部から直立気味に短く外反する口縁部。体部はや や肩が張る。 外面 口縁部～体部上位LR横位の縄文施文。中位～下位横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。後 斜方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。 内面 口縁部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。輪積みの凹凸が残る。体部上位～下位横方 向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。
337	弥生土器 甕	ほぼ完形 口 14.2cm 高 26.0cm 最 20.1cm 底 6.3cm	北西壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む ②酸化焰。 ③にぶい橙10YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部から、外反する口縁部。体部は丸い。 外面 口縁部～肩部LR横位の縄文施文。体部中位～下位横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。 底部ナデ。煤付着。黒斑あり。内面 口縁部～肩部横ナデ。体部横方 向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部器面が荒れており不明。
341	弥生土器 甕	ほぼ完形 口 14.8cm 高 30.3cm 最 22.3cm 底 6.0cm	北西壁寄り 床面上2cm	①直径0.5～4mmの砂粒・角 閃石を多量に含む。白色鋳 物粒が目立つ。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい褐7.5YR6/3	くの字に屈曲する頸部から外反する口縁部。体部は長く、中位に最大径。 外面 口縁部7段の輪積み痕を残し口縁部から体部上位にかけてLR横位 の縄文施文。体部中位横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。下位縦方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部一方 $\frac{1}{2}$ 磨 き。内面 口縁部上半横ナデ。下半斜方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。体部中位～下位 横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部器面が荒れており不明。
338	土師器 平底甕	ほぼ完形 口 14.2cm 高 21.0cm 最 18.0cm 底 4.3cm	北西壁寄り 床面直上	①細砂粒・長石粒を多量に 含む。 ②酸化焰。や>軟質。 ③にぶい赤褐2.5YR4/4	くの字に屈曲する頸部から短く外反する口縁部。体部はやや肩が張り、 長い。底部は小さい。 外面 口縁部上半横ナデ。頸部～体部中位縦方向ハケメ。下位横方向の 荒いハケメ後斜方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。底部 $\frac{1}{2}$ 磨き。黒斑あり。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。
345	土師器 小形器台	脚裾部一部欠損 口 7.9cm 高 8.2cm 底 8.2cm	北西壁寄り 床面直上	①細砂・長石細粒・石英細 粒を多量に含む。 ②酸化焰。軟質。 ③橙7.5YR7/6	やや内湾するロート形の器受部。ハの字に広がる脚部。 外面 器受部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。口縁部横ナデ。接合部横方向ナデ。脚部上 半縦方向 $\frac{1}{2}$ 磨き、下半横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。脚部に外面から5孔穿たれている。 内面 器受部横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。口縁部横ナデ。脚部上半横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き、下 半横方向 $\frac{1}{2}$ 磨き。

2 古墳時代初頭の出土遺物

(6区14号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
340	土師器 高杯	口縁部・裾部一部欠損 口 13.1cm 高 10.7cm 底 10.0cm	北壁寄り 床面直上	①砂粒・長石細粒を多く含。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐2.5YR5/6	やや深い碗形の杯部。裾が少し開いた低い脚部。 外面 杯部横方向細かい篋磨き。口縁端部横ナデ。脚部上半縦方向細かい篋磨き、下半横方向細かい篋磨き。 内面 杯部横方向細かい篋磨き。口縁端部巾広の横ナデ。脚部横方向篋削り。
346	土製品 紡錘車	完形 上 2.9cm 高 1.7cm 最 4.4cm 下 4.2cm	南東土坑内 底面上2cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③赤褐5YR4/6	断面が台形を呈する、厚手の紡錘車。 上面 一部剥離があるがよくなでられている。 側面 横方向篋削り。 下面 外縁にそって14カ所の小円形刺突文が施されている。

3. 古墳時代中・後期の出土遺物

区42号住居出土遺物観察表〈土器〉第94～100図・PL38～40

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
521	土師器 手捏ね 小形高杯	口縁部・脚端部一部欠損 底 (7.8cm)	北西隅 床面上5.5cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄2.5Y6/3	逆ハの字に開く杯部。断面三角形の裾が開く脚部。 外面 口縁部ナデ。杯部斜方向寛ナデ。脚部上半縦方向寛ナデ、下半横方向寛ナデ後、縦方向寛磨き。 内面 口縁部ナデ。杯部斜方向寛磨き。脚部横方向ナデ。
499	土師器 小形埴	ほぼ完形 口 9.3cm 高 5.9cm	北壁脇 床面直上	①細砂と少量の角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ナデ、下半横方向指ナデ。 内面 口縁部横方向寛ナデ後、横ナデ。体部上半横方向指押え、下半横方向寛ナデ。
502	土師器 埴	口縁部一部欠損 口 8.7cm 高 6.0cm 底 3.9cm	北壁寄り中央 床面上2.5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部上半横ナデ、下半粘土帯痕残る。頸部から体部上半縦方向寛ナデ。体部下半ナデ。底部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上半指押え、下半寛ナデ。
501	土師器 小形埴	完形 口 7.7cm 高 6.8cm	北壁際 床面上3.5cm	①微細砂・細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部から体部上位縦方向寛ナデ。体部中位斜方向寛削り、下位横方向指ナデ。底部寛ナデ。 内面 口縁部横方向寛ナデ後、横ナデ。頸部から体部上位指押え。体部中位から下位横方向指ナデ。底部寛ナデ。
503	土師器 小形埴	口縁部～底部残存 口 9.9cm 高 5.5cm	西壁北寄り 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③灰黄褐10YR5/2	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する大きな口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部指頭痕が残る。体部横・斜方向寛ナデ。底部横方向寛削り。内面 口縁部横ナデ。頸部指頭痕が残る。体部横方向寛ナデ。底部一方向寛ナデ。
507	土師器 小形埴	体部残存 最 7.4cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	偏平な体部。 外面 体部上半ナデ、下半横方向寛削り。底部ナデ。 内面 体部上半指押え。体部下半から底部横方向寛ナデ。
504	土師器 小形埴	頸部～底部残存 最 (8.0cm)	南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	やや頸部の縮まった丸い体部。 外面 体部上位横方向寛ナデ、上半斜方向寛ナデ、下半横方向寛削り。底部寛削り。 内面 体部上半ナデ、指頭圧痕が残る。下半横方向寛ナデ。底部寛削り。
493	土師器 小形埴	口縁部一部欠損 口 10.5cm 高 7.9cm	南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/3	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する大きな口縁部。下膨れの体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向の寛ナデ。体部上半部分的に横方向指ナデ、下半横方向寛削り。底部ナデ。内面 口縁部横方向寛ナデ後、横ナデ。体部横方向寛ナデ。底部放射状寛ナデ。
495	土師器 小形埴	完形 口 8.7cm 高 8.5cm 底 4.1cm	北壁寄り中央 床面直上	①砂粒・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③黒7.5YR2/1	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位縦方向ナデ後、横方向ナデ。中位から下位横方向ナデ。底部ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部上位横ナデ、中位指押え。下位から底部横方向寛ナデ。
492	土師器 小形埴	完形 口 8.8cm 高 9.2cm 底 4.3cm	南東隅 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向指ナデ。体部上半縦方向指ナデ、下半横方向ナデ。底部横方向指ナデ。内面 口縁部横方向寛ナデ後、横ナデ。頸部下部指押え。体部上半ナデ、下半横方向指ナデ。底部横方向指ナデ。
497	土師器 小形埴	完形 口 8.5cm 高 8.8cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。丸底に近い。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向指押え。体部上半斜方向ナデ、下半斜・横方向指ナデ。底部沈線のような圧痕がつく。内面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ、下半横・斜方向指ナデ。底部縦方向指ナデ。
500	土師器 埴	完形 口 8.0cm 高 8.1cm	北壁寄り中央 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	くの字に屈曲する頸部。やや短く外反する口縁部。丸い体部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。体部上半縦方向ナデ、下半横方向のナデの後、斜方向に深い寛ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ、下半斜方向寛ナデ。底部寛ナデ。
506	土師器 小形埴	体部残存 底 3.7cm	南壁際中央 床面上4.5cm	①微細砂・白色鉱物粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	丸い体部。平底。 外面 頸部横ナデ。体部上位縦方向寛ナデ、中位横方向指ナデ、下位横方向指ナデ。底部ナデ。 内面 頸部横ナデ。体部上半ナデ、下半横方向指ナデ。底部寛ナデ。
531	土師器 埴	口縁部～底部残存 口 (8.9cm) 高 10.8cm	北壁寄り中央 床面直上	①砂粒・細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	くの字に屈曲する頸部。端部が内湾する短い口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横方向指ナデ。体部上半横方向指ナデ、下半斜方向指ナデ。底部深い寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半指押え、下半ナデ。底部横方向指ナデ。
518	土師器 埴	口縁部～底部残存 口 (12.0cm) 高 10.9cm	南壁際中央 床面上11.5cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/3	くの字に屈曲する頸部。高く外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部縦方向ナデ。
491	土師器 埴	ほぼ完形 口 9.6cm 高 10.1cm	南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/8	やや偏平の小さな体部。鋭く屈曲する頸部。高く外反する口縁部。 外面 口縁部上半横ナデ、下半横方向指ナデ。体部上位から下位横方向指ナデ。底部削り。内面 口縁部横ナデ。体部上半指押え、下半横方向指ナデ。底部寛ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(1区42号住居・第94・95図)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
511	土師器 鉢	完形 口 15.0cm 高 6.1cm 底 7.3cm	南壁際中央 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい橙5YR6/4	大きな平底。偏平な体部。くの字に屈曲する頸部。短く口縁部が外反。 外面 口縁部横ナデ。頸部指押え。体部縦方向ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ナデ、下半から底部縦・斜方向 篋削り。
513	土師器 鉢	底部一部欠損 口 15.0cm 高 6.5cm 底 7.0cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・角閃石と少量の 直径2.5mmの小石を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	大きな平底。偏平な体部。くの字の頸部から短く口縁部が外反する。 外面 口縁部から頸部横ナデ。体部縦方向ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ナデ、下半から底部縦方向篋削 り。
512	土師器 鉢	完形 口 14.2cm 高 6.8cm 底 7.5cm	北壁寄り中央 床面上4.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	大きな平底。偏平なやや肩の張る体部。くの字の頸部から短く口縁部が 外反する。 外面 口縁部から頸部横ナデ。体部上位縦方向の篋ナデ、中位から下位 縦方向の篋ナデ。底部篋削後、篋ナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部下 に指頭圧痕が残る。体部上位横方向ナデ、下位斜方向篋削。底部篋削。
510	土師器 鉢	ほぼ完形 口 12.9cm 高 7.7cm 底 7.8cm	北壁寄り中央 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/4	大きな平底。偏平な体部。くの字の頸部。短く口縁部が外反する。 外面 口縁部から頸部横ナデ。体部横方向ナデ後、縦方向篋磨き。底部 篋削り。内面 口縁部横ナデ。体部上半横ナデ、下半横方向篋ナデ。 底部縦方向篋削り。
514	土師器 鉢	底部一部欠損 口 13.6cm 高 6.3cm	北壁寄り中央 床面直上	①細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③赤褐2.5YR4/8	大きな平底。偏平な体部。くの字の頸部。短く口縁部が外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ後、一部に横方向篋磨き、 下半縦方向篋磨き。底部篋削り。内面 口縁部横ナデ。体部上半横方 向ナデ、下半縦方向篋ナデ後、縦方向篋磨き。
515	土師器 鉢	口縁部一部欠損 口 16.1cm 高 6.5cm 底 7.2cm	南壁際中央 床面上1.5cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③灰褐5YR4/2	大きな平底。偏平な体部。くの字の頸部。短く口縁部が外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ、下半斜方向篋削り後、斜方向篋磨。 内面 口縁部横ナデ。体部上半指頭痕が残る。下半横方向篋ナデ。底部 横方向篋削り。
519	土師器 鉢	完形 口 11.6cm 高 4.2cm 底 6.2cm	北東壁際 床面上1.5cm	①微細砂・直径2～5mmの 砂粒を含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	平底から浅い椀形の体部が立ち上がる。口縁部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ、下半斜方向篋削り後、斜方向篋磨。 底部篋ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。底部篋削り。
516	土師器 鉢	口縁部一部欠損 口 13.6cm 高 5.1cm 底 7.0cm	P1東脇 床面直上	①微細砂・細砂・直径2～5 mmの砂粒を多く含む。 ②酸化焰③暗赤褐5YR3/6	大きな平底から体部・口縁部が外反して立ち上がる。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋ナデ、一部に工具痕が乱雑に残る。 底部ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。底部篋痕あり。
517	土師器 鉢	口縁部・底部一部欠損 口 11.6cm 高 5.7cm 底 5.9cm	南東中央寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多量に含。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	平底から体部が直立気味に立ち上がり、ゆるやかに短い口縁部が外反。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋ナデ、下部横方向篋削り。底部篋削。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向篋ナデ、下半横方向篋削り。底部 篋削り。
489	土師器 壺?	完形 口 8.9cm 高 10.9cm	北壁寄り中央 床面直上	①砂粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/8	丸い体部。やや広口で、口縁部は内湾して直立気味に立ち上がる。 外面 口縁部ハケメ後横ナデ。頸部ナデ。体部上位から中位ナデ、下位 篋削り。底部篋削り。 内面 口縁部から頸部横ナデ。体部横方向篋ナデ。底部放射状の指ナデ。
524	土師器 壺	口縁部・底部一部欠損 口 11.2cm 高 13.3cm	北壁寄り中央 床面直上	①砂粒・石英粒・微細砂を 含む。②酸化焰。 ③橙2.5YR6/2	くの字に屈曲する頸部。短く内湾する口縁部。球形の体部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横ナデ、中位から下位縦方向篋ナデ。底 部篋削。内面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ、下半横・斜方向篋ナデ。
525	土師器 壺	体部下位1/4欠損 口 11.0cm 高 13.3cm	北壁寄り中央 床面直上	①細砂・直径1～3mmの砂 粒・石英粒と角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐2.5YR5/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。やや偏平な丸い体部。口縁端 部は内湾する。 外面 口縁部上半横ナデ、下半縦方向篋ナデ。体部上半縦方向ナデ、中 位斜方向篋ナデ、下位縦方向篋削り。底部篋削り。丸底に近い。 内面 口縁部上半横ナデ、下半横方向篋ナデ。体部横方向篋ナデ。底部 篋削り。
527	土師器 壺	口縁部・体部一部欠損 口 10.5cm 高 11.4cm	南東隅 床面直上	①砂粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。やや偏平な体部。 外面 口縁部横ナデ。体部上半丁寧なナデ調整、下半斜方向篋削。丸底。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向指押え、下半横方向篋ナデ。
528	土師器 壺	完形 口 10.8cm 高 11.0cm	北壁脇中央 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③浅黄2.5Y7/3	くの字に屈曲する頸部。丸い体部。内湾する口縁部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。頸部から体部上半縦方向篋ナデ。体部中位縦方向 篋ナデ、下半横・斜方向篋ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横方向篋ナデ後、横ナデ。体部から底部横・斜方向篋ナデ。
530	土師器 壺	頸部～底部残存 最 13.2cm	南東中央寄り 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	やや肩の張る体部。丸底。 外面 体部上半横ナデ、下半斜方向篋磨き。底部篋削り。 内面 体部上半ナデ、下半から底部横方向篋ナデ。
532	土師器 壺	口縁部欠損 最 16.1cm	北壁寄り中央 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③赤褐10YR5/6	くの字に屈曲する頸部。高く外反する口縁部。やや偏平な丸い体部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ナデ、下半から底部横方向篋削り。 体部中位に1カ所直径8mmの完通しない穿孔あり。 内面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ、下半横方向篋ナデ。
526	土師器 小形壺	口縁部・体部一部欠損 口 10.5cm 高 11.7cm	南壁際中央 床面直上	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向篋ナデ。体部縦方向篋ナデ、下部横方 向ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ輪積み痕を残す。下半横方向篋ナデ。

遺物観察表

(1区42号住居・第95～97図)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
529	土師器 甕	口唇部一部欠損 口 12.6cm 高 14.1cm	北壁寄り中央 床面直上	①砂粒・石英粒を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部斜方向ハケメ後ナデ。体部上半斜方向ハケメ後ナデ、下半斜方向ハケメ後、横方向磨き。底部磨削り。 内面 口縁部上半横ナデ、下半横方向ハケメ残る。頸部ナデ、指頭痕が残る。体部斜方向ハケメ。底部器面が荒れている。黒色の付着物がついている部分がある。
498	土師器 鉢	完形 口 9.6cm 高 7.7cm 底 3.8cm	南東隅 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。中位が張る扁平な体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向磨ナデ。体部上半横方向ナデ、下半横方向磨削り。底部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向磨ナデ。底部放射状の磨ナデ。
496	土師器 鉢	ほぼ完形 口 11.3cm 高 6.8cm 底 3.8cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。やや肩の張る碗形の体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向ナデ。体部横方向磨削り。底部磨削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部から底部横・斜方向ナデ。
508	土師器 鉢	完形 口 11.4cm 高 9.7cm 底 4.0cm	南東隅 床面直上	①微細砂・直径1～3mmの砂粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。U字形の体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向磨ナデ、中位斜方向磨ナデ後、縦方向磨削り、下位横方向磨削り。底部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向磨ナデ。底部磨ナデ。
494	土師器 鉢	完形 口 11.2cm 高 7.2cm 底 4.7cm	西壁寄り 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。やや肩の張る碗形の体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部から体部上位縦方向磨ナデ、中位縦方向磨ナデ、下位横方向磨削り。底部磨削り。内面 口縁部横ナデ。頸部指頭圧痕が残る。体部斜方向磨ナデ。底部磨ナデ。
505	土師器 小形甕	口縁～体部1/4・底部残存 口(11.7cm) 高 8.6cm 底 6.0cm	西壁寄り 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。丸い体部。大きな平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部指ナデ。体部上位から中位縦方向磨削り、下位横方向磨削り。底部周縁のみ磨削り。 内面 口縁部横ナデ。体部から底部横方向磨ナデ。
490	土師器 小形甕	完形 口 10.7cm 高 9.2cm 底 5.0cm	北壁際中央 床面直上	①微細砂と少量の砂粒を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。やや肩の張るU字形の体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部から体部上位縦方向磨ナデ、中位斜方向磨ナデ、下位横方向磨削り。底部無調整。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向磨ナデ。底部指ナデ。
509	土師器 小形甕	完形 口 13.4cm 高 8.3cm 底 4.0cm	北壁際中央 床面上3.5cm	①微細砂・直径3～5mmの小石を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR4/3	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。碗形の体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦・斜方向磨ナデ。体部上半縦・斜方向磨削り、下半横方向磨削り。底部ナデ。内面 口縁部横方向磨ナデ。体部上半縦・横方向指ナデ、下半から底部横方向磨ナデ。
485	土師器 高杯	杯部のみ残存。口縁部一部欠損 口 19.2cm	北壁際中央 床面上7.5cm	①微細砂と少量の小石直径3～10mmを含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	稜の不明瞭な杯部。口縁部はやや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。杯部上半縦方向ナデ、下半横方向ナデ。下部横方向磨削り。内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデの後、縦方向磨削り。
484	土師器 高杯	杯部のみ残存。口縁部1/5欠損	南壁際中央 床面上4.5cm	①微細砂・砂粒・赤色鉱物粒を含む。②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	稜の不明瞭な杯部。口縁部はやや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ調整。 内面 口縁部横ナデ。杯部横方向磨ナデ後、放射状磨削り。
477	土師器 高杯	ほぼ完形 口 19.0cm 高 16.3cm 底 16.5cm	南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石・直径1～2mmの白色鉱物粒を含む。②酸化焰。 ③赤10YR5/6	稜の不明瞭な杯部。裾が大きく開く三角錐形の脚部。 外面 口縁部横ナデ。杯部ナデ、指頭圧痕残る。下部磨ナデ。脚部上半斜方向磨ナデ、下半ナデ後縦方向磨削り。裾部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部横方向磨ナデ。脚部斜方向ナデ。裾部横ナデ。
479	土師器 高杯	裾部一部欠損 口 20.0cm 高 19.6cm 底 16.1cm	北壁寄り中央 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR5/3	稜が不明瞭で、深めの杯部。裾が大きく開く三角錐形の脚部。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向ハケメ後ナデ調整、その後縦方向磨削り。下部横方向磨削り後磨削り。脚部縦方向ハケメ後、縦方向磨削り。裾部横ナデ。内面 口縁部横ナデ。杯部横・斜方向磨ナデ後、縦方向の強い磨削り。脚部上半横方向ナデ、下半横方向ハケメ。
478	土師器 高杯	完形 口 20.4cm 高 18.7cm 底 16.2cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/8	稜が不明瞭な杯部。裾が大きく開く筒状の脚部。 外面 口縁部横ナデ。杯部ナデ後、縦方向磨削り。下部縦方向ハケメが一部に残る。脚部縦方向ハケメ後ナデ、その後荒く縦方向磨削り。裾部縦方向磨ナデ。端部横ナデ。 内面 口縁部横方向ハケメ後、横ナデ。杯部横方向磨ナデ後、斜・縦方向磨削り。脚部上半斜方向ナデ。裾部横方向磨ナデ。
481	土師器 高杯	完形 口 16.4cm 高 13.9cm 底 12.3cm	南東壁寄り 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石・直径2～5mmの小石を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	明瞭な稜をもつ杯部。裾が大きく開く筒状の脚部。 外面 口縁部強い横ナデ。杯部ナデ。下部横方向磨削り。脚部、杯部との接合部にハケメ残る。脚部縦方向磨ナデ。裾部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部斜方向磨ナデ。脚部横方向磨削り。裾部磨ナデ。
482	土師器 高杯	完形 口 16.8cm 高 14.3cm 底 13.1cm	南東壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石・直径1～2mmの石英粒を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	明瞭な稜をもつ杯部。裾が大きく開く筒状の脚部。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向磨ナデ後、一部に横方向ナデ。接合部指ナデ。脚部縦方向磨ナデ。裾部横方向磨ナデ後横ナデ。内面 口縁部横ナデ。杯部横方向荒いハケメ。脚部横方向磨ナデ。裾部横ナデ。
483	土師器 高杯	杯部残存 口 20.2cm	南東壁際 床面直上	①微細砂・細砂と少量の直径3～10mmの小石を含む。 ②酸化焰。③橙7.5YR6/6	明瞭な稜をもつ杯部。口縁部は外反する。 外面 口縁部から杯部上半横ナデ、下半丁寧なナデ。下部横方向磨削り。内面 口縁部横ナデ。杯部横方向磨ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(1区42号住居・第97~100図)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
487	土師器 高杯	杯部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 19.8cm		南壁際中央 床面上11.5cm	①細砂と直径3~10mmの少量の小石を含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	明瞭な稜をもつ杯部。 外面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ後、縦方向に磨き。一部に煤付着。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ後、縦方向に磨き。
488	土師器 高杯	杯部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (19.4cm)		埋没土	①微細砂・角閃石・石英細粒・長石粒を含む。 ②酸化焰③明褐7.5YR5/6	明瞭な稜をもつ杯部。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向にナデ後、部分的に指ナデ。杯下部横方向に磨削り。内面 口縁部横ナデ。杯部横方向に磨削り。杯下部ナデ。
486	土師器 高杯	杯部 $\frac{1}{4}$ ・脚部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (19.5cm)		北壁際中央 床面上3.5cm	①微細砂と砂粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	明瞭な稜をもつ杯部。口縁部外面には面とり。三角錐形の脚部。 外面 口縁部から杯部上半横ナデ。杯部下半斜方向にハケメ。脚部縦方向にナデ。下半部に斜方向にハケメ残る。内面 口縁部から杯部上半横ナデ。杯部下半横方向にナデ後、斜方向に磨削り。脚部横方向に磨削り。
480	土師器 高杯	口縁部・脚部一部欠損 口 19.4cm 高 17.3cm 底 16.4cm		北壁寄り中央 床面上4.5cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	明瞭な稜をもつ杯部。口縁部は外反。裾部が大きく開く筒状の脚部。 外面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ調整。一部に縦方向の磨き痕が見える。脚部縦方向に磨削り。裾部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ後、縦方向に磨削り。磨耗が著しく不明な部分が多い。脚部上位縦方向に指ナデ、下位横方向に磨削り。
534	土師器 壺	底部欠損 口 16.2cm 高 26.1cm 底 5.4cm		北壁寄り中央 床直・北西隅 床面上5cm	①微細砂・角閃石・白色鉱物細粒を含む。②酸化焰。 硬質。③橙5YR6/8	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。やや長い体部。小さい平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横・斜方向に磨削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部指押え、指頭圧痕残る。体部斜方向に磨削り。
538	土師器 壺	口縁部~体部上位 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (16.6cm)		北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・角閃石・石英粒を多く含む。②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/4	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。端部はさらに外反。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。 内面 口縁部横ナデ後横ナデ。体部斜方向に磨削り。
536	土師器 壺	体部一部・底部 $\frac{1}{2}$ 欠損 口 20.1cm 高 27.0cm 底 (6.3cm)		北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・白色鉱物粒・石英細粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	くの字に屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。球形の体部。小さい平底。 外面 口縁部縦方向にハケメ後、上半のみ横ナデ。体部上位縦方向にハケメ後、横・斜方向の強い磨削り。中位縦方向に磨削り。下位横方向に磨削り。 内面 口縁部横方向に磨削り。体部横方向に磨削り。下位には斜方向もある。底部磨削り。
535	土師器 壺	底部欠損 口 19.8cm		北壁寄り中央 床面上2cm	①微細砂・直径1~2mmの細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。球形の体部。小さい平底。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向に磨削り後、斜方向に磨削り。中位斜方向に磨削り。下位斜方向に磨削り。内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ・横方向にハケメが残る。体部上半指押え。下半横方向に磨削り。
533	土師器 壺	口縁部・体部一部欠損 口 25.0cm 高 29.6cm 底 7.8cm		南壁際中央 床面上5cm	①微細砂・角閃石・白色鉱物微細粒を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄褐10YR6/3	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜方向に磨削り。上半斜方向の丁寧なナデ調整。下半横方向に磨削り後、斜方向に磨削り。底部磨削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向に磨削り。体部横・斜方向に磨削り。底磨削り。
537	土師器 壺	体部 $\frac{1}{2}$ 残存 最 47.0cm		P1横 床面直上 北部 床面直上	①直径1~3mmの砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	厚手で大形の体部。 外面 体部上半縦・横方向に磨削り後、部分的にナデ調整。中位中広に最大径付近をナデている。下半斜方向に磨削り。 内面 体部上位から中位横方向に磨削り。下位は斜方向に磨削り。
543	土師器 杯	$\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.0cm) 高 4.1cm		埋没土	①細砂・長石細粒・角閃石を含む。②酸化焰。硬質。 ③橙2.5YR6/6	口縁部が内側に屈曲する浅い体部。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向・周縁部横方向の磨削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
545	土師器 杯	口縁部~底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.0cm) 高 3.8cm		埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部が直立する浅い体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向に磨削り、周縁部横方向に磨削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
542	土師器 杯	口縁部~底部 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (14.9cm) 高 3.1cm		埋没土	①微細砂・長石粒を多量に含む。②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/6	口縁部が大きく外反する。ごく浅い体部。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向に磨削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
540	土師器 杯	$\frac{1}{2}$ 残存 口 (14.0cm) 高 4.7cm		埋没土	①砂粒を多く含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③にぶい橙5YR6/4	口縁部が短く直立する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向に磨削り、周縁部磨削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
541	土師器 杯	口縁部~杯部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.8cm) 高 4.2cm		埋没土	①直径1~2mmの砂粒・角閃石を多く含む。②酸化焰。硬質。③にぶい橙5YR6/4	口縁部がやや内湾する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向に磨削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ。
520	土師器 杯	$\frac{1}{4}$ 欠損 口 11.4cm 高 3.1cm		南東隅 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	大きな平底から外反して立ち上がる口縁部。 外面 口縁部横ナデ。杯部指ナデ、無調整部分残る。底部一方向に磨削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ、指頭痕残る。底部ナデ。
544	土師器 杯	$\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.4cm) 高 4.4cm		埋没土	①細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/6	口縁部が短く直立する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部周縁部横方向に磨削り、中央部放射状に磨削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
546	土師器 鉢	口縁部~杯部 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (16.6cm)		埋没土	①直径1~5mmの砂粒・角閃石を多く含む。②酸化焰。硬質③にぶい褐7.5YR5/3	口縁部が短く内傾する。深く大形の鉢。 外面 口縁部横ナデ。体部上位無調整?中位から下位横方向に磨削り。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。
523	土師器 台付壺	体部下位~台部の $\frac{1}{2}$ 残存 底 (5.2cm)		埋没土	①細砂・石英細粒・角閃石を多く含む。②酸化焰。 ③褐7.5YR4/6	低くハの字に開く台部。 外面 体部下位斜方向に磨削り。台部縦方向に磨削り。 内面 体部横・斜方向に磨削り。裾部横ナデ。

遺物観察表

(1区42号住居・第100図)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
539	土師器 甕	口縁部～体部上位残存 口 22.2cm	埋没土	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	大きく外反する口縁部。体部は長胴と思われる。 外面 口縁部横ナデ。頸部体部篋削りの圧痕が強く残。体部斜方向篋削。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
555	須恵器 蓋	1/2残存 口 (11.0cm) 高 2.2cm 摘径 (5.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	内面に鋭いかえりのある小形の蓋。 内外面 ナデ調整。天井部上半回転篋削り。
553	須恵器 蓋	天井部～口縁部1/2残存 摘径 5.5cm	埋没土	①微細砂と直径5mmの小石を少量含む。②還元焰。 ③黄灰2.5Y6/1	偏平な摘みをつけた蓋。 内外面 回転ナデ。天井部外面回転篋削り。
554	須恵器 蓋	天井部のみ残存 摘径 5.0cm	埋没土	①微細砂を含む。②還元焰。 ③灰白2.5Y8/1	偏平な摘みをつけた蓋。 内外面 回転ナデ。天井部外面回転篋削り。
551	須恵器 高台付椀	1/2残存 口 (16.4cm) 高 4.8cm	埋没土	①黒色鉱物細粒を含む。 ②還元焰。③灰7.5Y5/1	底径、口径ともに大きな高台付椀。口縁部は外反する。 内外面 右回転クロコ成整形。底部回転篋削り調整。削り出し高台。
548	須恵器 壺	口縁部～体部上位1/2残存 口 (11.9cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。③灰黄2.5Y7/2	肩の張る体部。くの字に屈曲する頸部。口縁端部は内湾する。 外面 口縁部ナデ。体部ナデ。内面 口縁部ナデ。体部ナデ。
522	須恵器 壺	肩部1/4破片	南壁際中央 床面上11.5cm	①微細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②還元焰。軟質。 ③灰褐5YR6/2	肩の張る体部。 内外面 回転ナデ。器面は荒れているが、外面肩部直下に2条の凹線がみられる。
549	須恵器 壺	頸部～体部中位1/2残存	埋没土	①細砂・角閃石を多量に含 ②還元焰。③灰5Y4/1	やや頸部が上方に伸びる口縁部。 内外面 回転ナデ。頸部外面に細い凸帯が1条巡る。肩部外面に自然軸。
552	須恵器 長頸壺	体部下位～底部残存 底 (10.0cm)	埋没土	①微細砂・直径1cmほどの 黒色鉱物粒を少量含む。 ②還元焰。③灰黄2.5Y6/2	付高台の底部。 内外面 底部切り技法不明。底部回転篋削り。右回転ナデ調整。付高台。
550	須恵器 鉢	口縁部～高台部1/2残存 口 (15.8cm) 高 9.7cm	埋没土	①直径1～3mmの小石を少 量含む。 ②還元焰。③褐灰10YR6/1	口縁部が短く直立する。高台付の鉢。 内外面 ナデ調整。底部切り難し技法不明、回転篋削り調整。付高台。

1区42号住居出土遺物観察表《石器》第99図・PL40

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S44	凹み石	13.6・9.8 7.4	粗粒安山岩 1220.0	埋没土	片面のほぼ中央に集合打痕がみられる。
S47	砥石?	8.2・5.8 3.1	粗粒安山岩 180.0	埋没土	偏平な円形の礫の片面に磨った痕跡が見られる。
S43	紡錘車	5.6 1.0	かんらん岩 40.0	西壁寄り 床面上2cm	薄い台形を呈する紡錘車、上下面および側面はよく磨かれており、わずかに擦痕が残る。

2区47号住居出土遺物観察表《土器》第102図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
780	土師器 台付甕	体部下位～台付上半1/2	P2内 床面上20cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	やや厚手の台付甕の台接合部。 外面 体部下位縦方向篋磨き。台部縦方向篋磨き。 内面 体部下位縦方向篋磨き。台部横方向指ナデ。

2区47号住居出土遺物観察表《石器》第102図・PL40

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S76	磨石・敲石	15.2・6.4 4.1	粗粒安山岩 610.0	埋没土	やや偏平な棒状礫の片面には磨り痕があり、一方の小口には集合打痕がみられる。
S73	磨石・敲石	17.0・8.4 5.2	粗粒安山岩 1060.0	埋没土	一端の欠損した、偏平な棒状礫。もう一端の小口に打痕がある。
S74	敲石	17.9・6.7 5.8	粗粒安山岩 1070.0	埋没土	断面の丸い棒状礫の両端の小口に打痕がある。
S75	敲石	17.0・7.8 5.0	砂岩 915.0	埋没土	断面が台形のやや曲かった棒状礫の一端の小口に集合打痕がみられる。
S72	敲石	19.5・7.2 4.7	石英閃緑岩 1165.0	埋没土	やや偏平な棒状礫の両端の小口に打痕がある。

2区109号住居出土遺物観察表《土器》第103図・PL41

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
752	土師器 高杯	脚部のみ残存 底 14.2cm	中央部 床面上5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	裾が大きく開いた筒状の脚部。 外面 脚部斜方向篋ナデ後、縦方向篋磨き。裾部横ナデ。 内面 脚部上半斜指押え。下半横方向篋ナデ。裾部横ナデ。
751	土師器 高杯	脚部残存 裾部一部欠損 底 13.1cm	南東隅 床面上8.5cm	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	裾が大きく開いた筒状の脚部。 外面 脚部横ナデ後、縦方向篋磨き。裾部横ナデ。 内面 脚部上半縦方向指ナデ。中位指押え。裾部横ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(2区109号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
747	土師器 壺	口縁～体部下位1/2残存 口(11.4cm)	北部 床面上5cm	①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③におい赤褐5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。端部外面に面とり。体部中位が屈曲して筒形になる。 外面 口縁～頸部横ナデ。輪積み痕一部残る。体部上位縦方向寛ナデ。中位斜方向寛ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向寛ナデ。中位斜方向寛ナデ。
744	土師器 甕	口縁～体部1/2残存 口(13.4cm)	北部 床面上3cm	①微細砂・角閃石・白色鉱物細粒を少量含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦横方向寛ナデ。一部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
748	土師器 甕	体部下位～底部残存 底(6.5cm)	北部 床面上7cm	①微細砂・直径2～5mmの石英粒・5～8mmの小石を含む。 ②酸化焰③明赤褐2.5YR5/6	外面 体部下位斜方向寛ナデ。底部寛ナデ。 内面 体部底部とも器面が荒れており不明。
750	土師器 甕	口縁～体部上位1/4破片 口(14.0cm)	南東部 床面直上	①微細砂・角閃石・赤色鉱物粒を多く含む。②酸化焰。 ③黒褐7.5YR3/2	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
749	土師器 甕	口縁部1/2残存 口(16.8cm)	南東隅 床面上10cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③褐7.5YR4/3	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
746	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口14.4cm	南東隅 床面上6cm	①微細砂・直径2～5mmの小石を少量含む。②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する広口の頸部。外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半横方向寛ナデ後、部分的に横方向寛磨き。内面 口縁部横ナデ。体部斜方向寛ナデ。
745	土師器 甕	口縁～体部中位1/4残存 口14.5cm	北部 床面直上	①微細砂・角閃石と少量の細砂を含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する厚い口縁部。体部は球形。 外面 口縁部上半横ナデ。下半ナデ。体部上位ナデ。中位横方向寛ナデ。寛ナデ。内面 口縁部上半横ナデ。下半ナデ。体部横方向寛ナデ。
743	土師器 甕	口縁～体部中位1/2欠損。 口15.0cm 高22.8cm	北部 床面上5.5cm	①微細砂・石英微細片・直径3～5mmの白色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。 ③におい赤褐2.5YR5/4	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。やや長い球形体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部上位縦方向寛ナデ。体部中位～下位横方向寛ナデ後、横方向寛磨き。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。

2区68号土坑出土遺物観察表《土器》第105図・PL4

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
759	土師器 杯	口縁～杯部1/3破片 口(13.8cm)	西部 床面上6.5cm	①微細砂・長石微細粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐2.5YR5/6	口縁部が内傾する、深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部不明。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ調整後横方向寛磨き。
758	土師器 高杯	杯部1/2残存 口(18.4cm)	中央部 床面上2cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③赤10R5/6	稜の明瞭な杯部。口縁部はやや内湾。 外面 口縁部上位横ナデ、中～下位ナデ後縦方向寛磨き。杯部下位横方向寛磨き。内面 口縁部上位横ナデ、中～下位ナデ後放射状寛磨き。
757	土師器 高杯	杯部1/2残存 口(18.6cm) 高(5.0cm)	南部 床面上10cm	①砂粒・長石細粒・石英粒を多く含む。②酸化焰。硬質。 ③におい赤褐5YR5/3	口縁部が外反する杯部。 外面 口縁部上位横ナデ、中位ナデ、下位斜方向寛ナデ。 内面 口縁部ナデ後放射状寛磨き。
755	土師器 甕	口縁～体部中位1/2 口15.4cm 最22.0cm	中央部 床面直上	①微細砂・角閃石・白色微細粒を含む。 ②酸化焰。 ③赤褐5YR4/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜方向寛ナデ、上半縦方向寛ナデ後部分的に寛磨き。ナデ。 内面 口縁部横ナデ。頸部指押え。体部斜方向寛ナデ。
756	土師器 壺	体部下位～底部 底(7.0cm)	西部 床面上3cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。③橙2.5YR6/6	小さな底部。 外面 体部下位斜方向寛ナデ。ナデ。底部寛ナデ。ナデ。内面 ナデ。

2区3号住居出土遺物観察表《土器》第107図・PL4

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
626	土師器 甕	口縁部1/4破片 口(19.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③におい黄橙10YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。 内面 口縁部横ナデ、ナデ残したハケメがみえる。体部横方向寛ナデ。
624	土師器 甕	体部1/2残存 最28.0cm	北東際 床面上3.5cm	①微細砂・直径1～3mmの砂粒を多量に含む。②酸化焰。 ③におい黄橙10YR6/4	丸い体部。 外面 体部斜方向寛ナデ。 内面 体部斜方向寛ナデ。
625	土師器 杯	1/2残存 口(11.7cm) 高3.9cm	北東寄り 床面上4.5cm	①直径1～3mmの砂粒を含む。 ②酸化焰。軟質。 ③橙5YR6/8	下位に稜をもつ浅い杯。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。杯部寛ナデ。周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
627	須恵器 台付壺?	台部破片 底(18.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。白色鉱物細粒が目立つ。 ②還元焰。③灰N5/	貼り付けられたとみられる台部の破片。 内外面 ナデ調整。 内面には、焼成時に付着した岩砕が目立つ。

遺物観察表

I 区65号住居出土遺物観察表《土器》108～110図・PL43

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
588	土師器 杯	口縁～底部1/2残存 口 10.0cm 高 2.7cm	東壁際 床面上2.5cm	①微細砂と少量の角閃石を含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	口縁部が短く直立する。浅い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部周縁部横方向篋削り、中央部一方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
587	土師器 杯	口縁部1/2残存 口 11.6cm 高 3.4cm	中央西寄り 床面上3cm	①直径3～5mmの小石・砂粒・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/6	口縁部が短く外反する。浅い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部周縁部横方向篋削り、中央部一方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
589	土師器 杯	口縁～底部1/2残存 口 10.3cm 高 3.1cm	北西隅 床面上4.5cm	①微細砂・角閃石を少量含。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部が短く内傾する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り、更にその外側ナデ。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
585	土師器 杯	口縁部1/4欠損 口 11.6cm 高 3.3cm	南壁際 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	口縁部が短く直立する。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り、周縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
586	土師器 杯	口縁部1/4欠損 口 12.2cm 高 4.2cm	中央東寄り 床面上19.5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	口縁部が短く内湾する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
591	土師器 杯	口縁～底部1/2残存 口 (9.5cm) 高 3.1cm	埋没土	①直径2～3mmの砂粒を少量と微細砂を含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/6	口縁部が短く内傾する。小形。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
584	土師器 杯	口縁部～杯部残存 口 12.1cm	中央東寄り 床面14cm	①微細砂・細砂・角閃石を少量含む。②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部が短く稜をもって内傾する。深い大形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り、周縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
582	土師器 甕	体部下位～底部残存 底 5.4cm	中央 床面上3cm	①細砂・直径2～5mmの砂粒・石英粒を多量に含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/4	小さな平底。 外面 体部横・斜方向篋削り。底部篋削り。 内面 体部～底部横方向篋ナデ。
583	土師器 甕	体部下位～底部残存 底 4.7cm	南壁 床面上15.5cm	①微細砂多く含。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	小さな平底。 外面 体部下位横方向篋削り。底部篋削り。内面 横方向篋ナデ。
580	土師器 甕	口縁～体部上位1/2破片 口 (22.0cm)	南東壁隅 床面上7.5cm	①微細砂・角閃石・直径1～3mmの砂粒を含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/6	口縁部が大きく外反する。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
590	土師器 甕	口縁～体部上位1/2破片 口 (20.8cm)	埋没土	①微細砂・角閃石・長石細粒を多量に含む。②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR6/3	口縁部が大きく外反する。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向ナデ。
579	土師器 甕	口縁～体部中位1/2残存 口 (22.0cm)	南東壁隅 床面上7.5cm	①微細砂・角閃石・白色鉱物細粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁部が大きく外反する。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部篋削り工具端部の圧痕が著しく残る。頸部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
578	土師器 甕	口縁～体部上位残存 口 21.4cm	中央東寄り 床面上13cm	①微細砂・直径3～8mmの灰白色鉱物粒を多量に含。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	口縁部が外反する長胴の甕。下半部はやや径が小さい。 外面 口縁部横ナデ。頸部～体部縦方向篋削り後、部分的に縦方向篋磨。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向篋ナデ。体部横方向篋ナデ。
577	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口 21.1cm	甕右袖 床面直上	①微細砂・角閃石・白色鉱物細粒を多量に含む。 ②酸化焰。硬質。 ③赤褐5YR4/6	口縁部が大きく外反する。長胴で、上半部がやや膨らむ。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横・斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向篋ナデ(狭)。体部横方向篋ナデ。
575	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口 20.4cm	中央東寄り 床面上12cm	①細砂・白色鉱物粒・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	口縁部が大きく外反する。長胴で、上半部がやや膨らむ。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向篋削り後、縦方向篋磨き。 内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部上位横方向篋ナデ、下半縦方向ナデ。
576	土師器 甕	口縁～体部上位残存 口 17.6cm	中央東寄り 床面上16.5cm	①直径1～5mmの細砂・白色鉱物粒を多量に含む。 ②酸化焰。③橙7.5YR6/6	口縁部が外反する。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向篋削り、部分的に横方向ナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
573	土師器 甕	体部の一部と底部欠損 口 19.9cm 高 27.2cm 最 24.8cm	中央東寄り 床面上5.5cm	①微細砂・角閃石・白色鉱物細粒を含む。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	くの字の頸部。弧状に外反する口縁部。球形の体部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。輪積痕残る。頸部横ナデ。体部横・斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
574	土師器 甕	底部残存	中央南寄り 床面上10.5cm	①微細砂および小石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	丸底。 外面 体部下位斜方向篋削り。底部篋削り。 内面 丁寧な篋ナデ。
581	須恵器 大甕	口縁部1/2破片 口 (30.0cm)	中央 床面上3cm	①微細砂と直径3～5mmの砂粒・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。③明赤褐2.5YR5/8	外反する大形甕の口縁部。端部外面に面とり。 外面 口縁部ナデ。頸部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。一部ハケメ状の痕跡あり。頸部横方向篋ナデ。

I 区65号住居出土遺物観察表《石器》第110図・PL43

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S53	敲石	22.1・7.0 5.2	ひん岩 1260.0	埋没土	一端の一部を欠損する棒状礫のもう一端の小口に打痕が残る。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

I区8号住居出土遺物観察表《土器》第111図・PL44

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
798	土師器 杯	口縁部一部欠損 口 11.4cm 高 3.5cm	埋没土	①細砂・長石粒を含む。 ②酸化焙。 ③にぶい橙5YR6/4	口縁端部が短く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中位指ナデ無調整部分も残る。下位篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部中位ナデ指頭痕残る。
799	土師器 杯	口縁～底部1/4残存 口 (11.8cm) 高 4.1cm	埋没土	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。 ③橙2.5YR6/8	口縁端部が短く内傾する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
801	土師器 杯	口縁～杯部1/4破片 口 (14.4cm) 高 4.3cm	埋没土	①微細砂・石英細粒・角閃石を含む。②酸化焙。 ③橙5YR6/6	口縁部が大きく外反する浅い杯。口縁部下の稜は不明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
797	土師器 甕	口縁～体部上1/4 口 (22.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR7/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。口縁端部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
796	土師器 甕	口縁～体部上1/4破片 口 (15.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を少量含。 ②酸化焙。 ③橙5YR6/6	ゆるやかな屈曲の頸部。外反する口縁部。口縁端部は短く直立する。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋ナデ。

I区48号住居出土遺物観察表《土器》第113・114図・PL44

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
561	土師器 杯	口縁～杯部1/4残存 口 10.9cm 高 3.4cm	南壁際 床面上7.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焙。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁端部が短く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向・斜方向篋削り、上位の一部に煤付着。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
560	土師器 杯	口縁～杯部1/4残存 口 (10.8cm) 高 (3.5cm)	南壁際 床面上13cm	①砂粒・微細砂・角閃石を含む。②酸化焙。硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	口縁端部が短く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ、指頭痕残る。
567	土師器 杯	口縁～杯部1/4破片 口 (12.9cm) 高 (3.2cm)	埋没土	①直径1～2mmの砂粒と角閃石を含む。②酸化焙。硬質。 ③橙2.5YR6/8	口縁端部が丸い屈曲から直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
566	土師器 杯	口縁～底部1/4破片 口 (13.5cm) 高 3.4cm	埋没土	①直径1～2mmの白色鉱物粒と角閃石含む。②酸化焙。硬質。③明赤褐5YR5/6	口縁端部が稜をもたずにゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部器面荒れて不明。 内面 口縁部～杯部中位横ナデ。
565	土師器 杯	口縁～底部1/4破片 口 (16.0cm) 高 4.1cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。硬質。 ③明赤褐灰2.5YR5/6	口縁端部がゆるやかに内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部中位まで横ナデ、下位ナデ。
557	土師器 甕	口縁～体部中位残存 口 21.4cm	竈前 床面直上	①微細砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化焙。硬質。 ③橙2.5YR6/6	大きく外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部削りり疔痕が顕著についている。体部上位斜方向篋削り、中位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。
556	土師器 甕	口縁～体部下位1/4残存 口 (23.7cm) 最 (27.2cm)	竈前方 4cm 竈内 9cm	①細砂・角閃石・白色鉱物粒を多量に含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部明瞭な段がある。体部上半斜方向篋削り、下半斜・縦方向篋削り後、横方向ナデ。 内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部横方向篋ナデ。
558	土師器 甕	体部・底部一部欠損 口 20.4cm 高 31.7cm	竈右 床面直上	①微細砂・角閃石・白色鉱物粒を多く含む。②酸化焙。 ③にぶい橙5YR6/4	大きく外反する口縁部。やや上半部が膨らむ長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部削りり疔痕が残る。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
564	土師器 甕	口縁～体部上位1/4破片 口 (21.2cm)	埋没土	①微細砂・角閃石・長石微細粒を多く含む。②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
563	土師器 甕	口縁～肩部1/4破片 口 (24.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石・長石細粒を多く含む。 ②酸化焙。やや硬質。 ③橙5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。端部は肥厚する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向篋ナデ。
559	須恵器 甕	体部下位1/4残存 最 (19.1cm)	竈内 床面上 2cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焙。 ③にぶい黄橙10YR7/3	丸い体部。丸底。 外面 体部中位横方向指ナデ、下位縦・斜方向タタキ後部分的にナデ。 内面 体部横・斜方向篋ナデ。
562	須恵器 高盤	口縁～脚部1/4残存 口 (25.0cm) 高 (8.1cm) 底 (13.0cm)	南壁際 床面上12cm	①細砂粒を少量含む。 ②還元焙。 ③灰10Y4/1	焼き歪みが著しい。 外面 口縁部回転ナデ。杯部回転ナデ。台部回転ナデ一部に指ナデ痕。 内面 口縁部回転ナデ。杯部回転ナデ。台部上半回転ナデ、下半手持ち篋ナデ。

I区48号住居出土遺物観察表《石器》第114図・PL44

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S51	磨石・敲石	7.1・7.0 4.1	粗粒安山岩 260.0	埋没土	一端が欠損した礫の一面に磨り面が、側面の一方に打痕がある。
S49	磨石	8.1・5.8 3.8	粗粒安山岩 175.0	埋没土	一部を欠損する小礫の一面に磨り面がみられる。
S52	敲石	14.7・6.5 4.2	変質安山岩 510.0	埋没土	断面三角形の棒状礫の一端にわずかな打痕がみられる。

遺物観察表

(1区48号住居)

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	器形・整形・文様の特徴
S50	敲石	13.3・5.8 5.4	閃緑岩 500.0	埋没土	断面三角形の棒状礫の二面に磨り面が、一端の小口に打痕がみられる。
S48	敲石	13.4・6.4 3.6	粗粒安山岩 470.0	埋没土	扁平な礫の一面と、上面の中央に顕著な打痕がみられる。

I 区66号住居出土遺物観察表《土器》第116図・PL45

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
595	土師器 杯	完形 口 10.1cm 高 3.0cm	東壁竈脇 床面上8.5cm	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに短く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
602	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (11.2cm) 高 2.5cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁端部が短く内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
599	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (11.2cm) 高 2.8cm	埋没土	①直径1～2mmの砂粒・長石粒と角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り、周縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
598	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 10.8cm 高 3.1cm	埋没土	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/6	口縁端部がごく短く内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
600	土師器 杯	口縁～体部下位 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (11.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を少量含。 ②酸化焰。硬質③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 丁寧なナデ。
601	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (13.5cm) 高 (2.9cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙2.5YR6/8	口縁端部がゆるやかに内湾する杯。口径が広い。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り、器面磨耗のため単位等不明。 内面 口縁部～杯部中位横ナデ。
596	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (16.2cm) 高 5.1cm	竈左袖脇 床面直上	①直径5～8mmの砂粒を少量・細砂粒を多く含む。 ②酸化焰③明赤褐5YR5/6	口縁端部が短く内傾する大形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
603	須恵器 蓋	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (6.0cm) 高 2.1cm	埋没土	①微細砂を含む。②還元焰。 ③灰7.5Y5/1	台付長形蓋の蓋と思われる。 内外面 ナデ調整。
597	土師器 甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{4}$ 破片 口 (20.9cm)	埋没土	①直径2～5mmの砂粒・角閃石を含む。白色鉱物粒が目立つ②酸化焰。やや軟質 ③浅黄橙10YR8/3	大きく外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
594	土師器 甕	口縁～体部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (24.0cm)	中央北寄り 床面上3.5cm	①石英細粒・細砂・角閃石を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	大きく外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。
593	土師器 甕	口縁～体部中位残存 口 22.1cm	竈右袖 床面直上	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	大きく外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向篋削り。
592	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口 22.0cm	竈右袖 床面直上	①細砂・角閃石・直径3～8mmの白色鉱物粒を多く含。 ②酸化焰。③橙5YR6/6	大きく外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向篋削り。体部斜方向篋削り。

I 区68号住居出土遺物観察表《土器》第118・119図・PL46

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
833	土師器 甕	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 21.7cm	中央南寄り 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石・白色鉱物微細粒を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	大きく外反する口縁部。上半部がやや膨らむ長胴甕。口縁端部内面に平坦面。 外面 口縁部横ナデ。頸部篋削り圧痕が強く入る。体部上位斜方向篋削り、中位～下位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向篋削り。
832	土師器 甕	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 21.0cm	貯蔵穴脇 床面上15.5cm	①細砂・砂粒・角閃石を多く含む。②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR6/4	大きく外反する口縁部。中位が膨らむ長胴甕。口縁端部内面に平坦面。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。端部に沈線。体部横・斜方向篋削り。
835	土師器 甕	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (21.4cm)	中央部 床面直上	①微細砂・直径2～5mmの細砂を多く含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	大きく外反する口縁部。上半部が膨らむ長胴甕。口縁端部内面に平坦面。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向篋削り。
837	土師器 甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{4}$ 破片 体部下位 $\frac{1}{4}$	中央南寄り 床面上3.5cm	①細砂・微細砂・角閃石を多量に含み、直径3～8mmの小石も混じる。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	大きく外反する口縁部。長胴甕。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り、下位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り、下位横方向篋削り。
834	土師器 甕	口縁～体部中位 $\frac{1}{4}$ 残存 口 21.8cm	南壁寄り 床面上7cm	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR6/4	大きく外反する口縁部。中位が膨らむ長胴甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部篋削りの端部圧痕が強く残る。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(1区68号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
831	土師器 甕	口縁部・体部一部欠損 口 22.0cm 高 33.0cm 最 28.3cm	南壁寄り 床面上7cm	①微細砂・角閃石・白色鉱物細粒を多量に含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい赤褐5YR5/4	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部丁寧な篋ナデ。
838	土師器 杯	口縁部1/4破片 口 (10.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。硬質。 ③赤褐10R5/4	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ。
839	土師器 杯	口縁部1/4破片 口 (14.0cm) 高 3.8cm	埋没土	①微細砂・石英粒・角閃石を多く含む。②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する、やや大形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

1区68号住居出土遺物観察表《石器》第119図・PL46

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S86	磨石	14.0・7.5 3.7	粗粒安山岩 515.0	埋没土	偏平な礫の一面に顕著な磨り面がみられる。
S85	磨石	12.4・7.1 3.9	ひん岩 540.0	埋没土	偏平な礫の一面に磨り面がみられる。
S88	敲石	9.0・6.7 4.9	石英閃緑岩 380.0	埋没土	一端が欠損した棒状礫のもう一端の小口に打痕がみられる。
S89	磨石	8.5・7.9 2.6	石英閃緑岩 295.0	埋没土	一端が欠損した一面に磨り面がみられる。
S90	磨石	5.1・6.65 4.2	粗粒安山岩 200.0	埋没土	偏平な丸い礫の両面に磨り面がみられる。

1区70号住居出土遺物観察表《土器》第121図・PL46

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
840	須恵器 杯	口縁部一部欠損 口 9.9cm 高 3.1cm 底 6.0cm	南壁内 床面上11cm	①直径2～4mmの砂粒少量と黒色鉱物細粒含②還元焰。 ③にぶい黄橙10YR7/2	底径比の大きい杯。 内外面 荒れている。
843	土師器 杯	口縁部1/4破片 口 (13.8cm) 高 3.0cm	埋没土	①微細砂・角閃石・長石粒を含む。②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	口縁端部が短く内傾する、浅い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
842	土師器 杯	口縁部1/4破片 口 13.3cm 高 4.2cm	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐5YR5/6	口縁端部が短く内傾する、やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部横・斜方向篋ナデ。
841	須恵器 壺	口縁部1/4破片 口 (14.6cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元焰。③黄灰2.5Y6/1	くの字に屈曲する頸部。口縁部は外反して、端部外面に面とり。 内外面 口縁部ナデ調整。

2区36号住居出土遺物観察表《土器》第123・124図・PL47

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
647	土師器 杯	口縁部1/4破片 口 (10.9cm) 高 3.4cm	埋没土	①微細砂と直径1～2mmの砂粒を含む。②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	口縁端部がゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
644	土師器 杯	口縁部一部欠損 口 11.2cm 高 3.2cm	埋没土	①細砂・長石粒・角閃石を多く含む。②酸化焰。軟質。 ③にぶい橙5YR7/4	口縁端部がゆるやかに内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り、周縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
639	土師器 杯	口縁部1/4残存 口 11.8cm 高 3.9cm	竈前 床面上30cm	①微細砂・赤色鉱物粒・角閃石を多量に含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/8	口縁端部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
649	土師器 杯	口縁部1/4破片 口 (12.9cm) 高 3.2cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに直立する、浅い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
648	土師器 杯	口縁部1/4破片 口 13.8cm 高 3.6cm	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに直立する、大形の浅い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯～底部横方向篋削り。内面 横方向ナデ。
657	須恵器 鉢	口縁部1/4破片 口 (17.8cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。③灰N5/	やや厚手の鉢。 内外面 ナデ調整。
651	土師器 杯	口縁部1/4破片 口 (11.2cm) 高 3.4cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR7/4	口縁端部がゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部横ナデ。
646	土師器 杯	口縁部1/4残存 口 10.3cm 高 3.1cm	埋没土	①細砂・角閃石を含む。白色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焰。③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに直立する杯。やや厚手。 外面 口縁部横ナデ。杯～底部一方向篋削り。 内面 口縁部～底部ナデ。
650	土師器 杯	口縁部1/4残存 口 (10.8cm) 高 3.1cm	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	口縁端部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

遺物観察表

(2区36号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
652	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(20.0cm)高(4.1cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/8	口縁部が短く外反する浅い整形の杯。口縁部下の稜は不明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ。
645	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(11.2cm)高 4.5cm	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	口縁部が短く内湾する、深い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部井桁様の方向に寛削り、周縁部横方向 寛削り。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
654	須恵器 蓋	$\frac{3}{4}$ 残存 口 9.5cm 高 1.4cm	埋没土	①微細砂・砂粒を多く含む。 ②還元焰。 ③オリープ灰7.5Y3/1	鋭いかえりが内面につく小形の蓋。握みは欠損。 外面 回転寛削り。周縁部横ナデ。 内面 ナデ調整。
653	須恵器 蓋	体部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(10.8cm)	埋没土	①微細砂と少量の小石を含む。 ②還元焰。③灰白2.5Y7/1	鋭いかえりがつく。やや高い蓋。 内外面 回転ナデ調整。天井部外面に回転寛削り痕残る。
656	須恵器 杯	天井部下位～口縁部 $\frac{1}{2}$ 口(10.8cm)高 3.8cm	埋没土	①微細砂・黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。③褐灰10YR5/1	底径比・器高の大きい、深めの小形の杯。 内外面 回転ナデ調整。
655	須恵器 高盤	$\frac{1}{2}$ 破片 口(21.3cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②還元焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	口縁部はやや肥厚し、端部上面に面とり。 内外面 回転ナデ調整。天井部外面に回転寛削り。
643	土師器 甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片 口(23.1cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/6	大きく外反する口縁部。上半部が膨らむ長胴甕。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
640	土師器 甕	口縁～体部中位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 21.0cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明褐7.5YR5/6	大きく外反する口縁部。上半部が膨らむ長胴甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部凹線様にナデられている。体部斜方向寛削り。 内面 口縁部～頸部横ナデ。体部横方向丁寧なナデ。
637	土師器 甕	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 18.6cm	南東隅 床面上6cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。一部に輪積み痕残す。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。
642	土師器 甕	口縁～頸部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(22.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR7/4	鋭く、くの字に屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。体部はやや丸い か？ 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部斜方向寛削り。
641	土師器 甕	口縁～頸部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(20.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石・長石細 粒を含む。②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR7/3	大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部斜方向寛削り。
638	土師器 甕	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口(19.6cm)	南東隅 床面直上	①直径1～2mmの細砂・角 閃石・直径3～5mmの灰白 色鉱物粒を多量に含む。 ②酸化焰。③明赤褐5YR5/8	ゆるやかにくの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。上半部がやや膨ら む。やや短い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向寛削り。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。

2区36号住居出土遺物観察表《石器》第124図・PL47

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S55	磨石	9.8・8.0 2.2	粗粒安山岩 255.0	埋没土	偏平な軽石の両面に磨り面がある。
S56	凹み石	10.0・8.0 3.9	角閃石安山岩 310.0	埋没土	偏平な軽石の両面と二側面に顕著な打痕がみられる。

2区50号住居出土遺物観察表《土器》第126・127図・PL49

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
693	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(10.6cm)高 3.0cm	東壁際 床面上9cm	①細砂・角閃石を含む。② 酸化焰。硬質③赤褐10R5/4	口縁部が外反する浅い杯。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部寛削り。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
697	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(10.6cm)高(3.3cm)	埋没土	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/8	口縁部が短くゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部寛削り。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
695	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(11.2cm)	埋没土	①直径2～5mmの砂粒を多 く含む。②酸化焰。 ③橙2.5YR6/8	口縁部が短く内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
696	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(11.9cm)	埋没土	①角閃石・微細砂を含む。 ②酸化焰硬質③橙5YR6/8	口縁部が外反する浅い杯。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部中位寛削り。内面 横ナデ。
692	須恵器 甕	口縁部破片	中央東寄り 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。③灰N4/	大甕。口縁部は巾の狭い折り返し。 内外面 ナデ調整。
694	須恵器 椀	体部下位～高台部残存 底 9.2cm	埋没土	①砂粒・橙色鉱物粒を含む。 ②還元焰。軟質。 ③灰褐7.5YR5/1	内外面 回転ナデ調整。回転糸切り離し。付高台。
690	土師器 甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片 口(15.1cm)	中央東寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多量に含 む。②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	くの字に屈曲する頸部。やや長く外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。
691	土師器 甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片 口(20.9cm)	中央東寄り 床面上5.5cm	①直径2～5mmの砂粒・長 石細粒・角閃石・直径3～10 mmの白色鉱物粒を多く含② 酸化焰。硬質③灰白5Y8/2	大きく外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向寛削り。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(2区50号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
689	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口 17.0cm	中央東寄り 床面直上	①微細砂・細砂・白色鉱物 粒を多量に含む。②酸化焰 ③にぶい黄橙10YR6/4	外反する口縁部。中位がやや膨らむ体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部～体部中央斜方向寛削り。体部下位横・斜方 向寛削り。 内面 口縁部～頸部横ナデ。体部中央横方向寛ナデ。
687	土師器 甕	体部・底部一部欠損 口 22.0cm 最 40.8cm 底 5.0cm	竈内 床面直上	①微細砂・角閃石・直径2 ～5mmの砂粒を多量に含。 ②酸化焰③明赤褐5YR5/6	大きく外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向寛削り。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
688	土師器 甕	体部下位残存 底 4.0cm	竈右袖下 床面直上	①直径2～5mmの砂粒・石英 粒・灰白色鉱物粒多量含②酸 化焰③にぶい橙7.5YR6/4	長胴甕。 外面 体部縦方向寛削り。 内面 体部横方向寛ナデ。

2区50号住居出土遺物観察表《石器》第127図・PL49

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S68	磨石・敲石	6.4・6.7 3.5	粗粒安山岩 215.0	埋没土	一端が欠損した、やや偏平な礫の、もう一端の小口に打痕がみられる。
S67	磨石	14.0・7.5 4.1	ひん岩 610.0	埋没土	楕円形のやや偏平な礫の、一面に磨り面がみられる。礫の長軸方向の凹みが著しい。
S66	磨石	13.7・5.9 3.3	石英閃緑石 410.0	埋没土	やや偏平な棒状礫の一面に磨り痕がみられる。
S61	砥石	4.3・5.1 5.5	砥沢石 150.0	埋没土	小口と側面の一面に自然面を残す緩状の砥石。残りの三面は使用されており、一方の小口は欠損する。
S62	磨石・敲石	14.0・7.7 4.4	変質デイサイト 750.0	埋没土	楕円形のやや偏平な礫の一面いっばいに磨り面がみられ、一方の小口には顕著な敲打痕がある。
S64	磨石・敲石	14.0・8.1 4.3	粗粒安山岩 650.0	埋没土	楕円形のやや偏平な礫の一面中央部に磨り面がみられ、一方の小口には顕著な敲打痕がある。
S63	敲石	16.2・6.4 3.65	文象斑岩 550.0	埋没土	やや偏平な棒状礫の一面中央に狭い磨り面がみられ、一方の小口には顕著な打痕がみられる。
S65	敲石	12.9・6.0 4.1	石英閃緑岩 490.0	埋没土	不整楕円形のやや偏平な礫の一端の小口に打痕がみられる。

2区94号住居出土遺物観察表《土器》第128図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
855	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (10.4cm)	埋没土	①微細砂・長石粒・角閃石 を含む。②酸化焰。 ③橙5YR7/6	口縁部が外反する、ごく浅い杯。口縁部下の稜線は不明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

2区95号住居出土遺物観察表《土器》第129図・PL50

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
718	土師器 杯	$\frac{1}{2}$ 残存 口 10.8cm 高 3.2cm	東壁際 床面上33cm	①直径1～3mmの砂粒・長 石粒を含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/8	口縁部が短く直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部巾広の寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
717	土師器 甕	口縁部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (14.0cm)	中央西寄り 床面上18cm	①微細砂・石英粒・角閃石 を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3	ゆるやかな頸部から短く外反する口縁部。口縁端部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
716	土師器 甕	口縁部～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (21.8cm)	中央西寄り 床面上18cm	①微細砂・角閃石を多量に 含む。②酸化焰。軟質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。

1区22号住居出土遺物観察表《土器》第131図・PL50

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
436	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (10.4cm)	埋没土	①微細砂・長石細粒・角閃 石を含む。②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部が短く内傾する、やや小形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
433	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (11.0cm) 高 3.4cm	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。硬質。 ③明赤褐5YR5/6	口縁部が短く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部指ナデ。指頭痕残る。
437	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (12.4cm)	埋没土	①微細砂・長石細粒を少量 含む。②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁端部が丸く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
430	土師器 杯	$\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.8cm) 高 3.8cm	竈右前 床面上32cm	①細砂・長石粒を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに短く内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
432	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.0cm)	埋没土	①微細砂を含。②酸化焰。 やや硬質。③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに直立する杯。端部内面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。杯部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

遺物観察表

(1区22号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
431	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.0cm)	旧竈 床面上48.5cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③にぶい橙5YR6/4	口縁端部が短く内湾する杯。やや大形。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
435	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (13.0cm) 高 (4.2cm)	埋没土	①細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③明赤褐5YR5/6	口縁端部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ。
434	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (13.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③橙2.5YR6/6	口縁端部がかすかに内湾する杯。端部はやや厚くなる。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部横ナデ。
438	須恵器 壺	底部 $\frac{1}{2}$ 破片 底 (5.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元焰。硬質。 ③灰赤2.5YR5/2	内外面 回転ナデ調整。内面に自然釉付着。底部回転篋削り。周縁回転篋削り。
428	土師器 甕	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (19.0cm)	竈前 床面上5cm	①直径1～3mmの砂粒と赤色鉱物粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰③明黄褐10YR7/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
429	土師器 甕	口縁部～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (22.0cm)	竈中央部 床面上4.5cm	①細砂・長石粒・角閃石・石英微細粒を含む。 ②酸化焰。③橙7.5YR7/6	大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。

1区22号住居出土遺物観察表《石器》第131図・PL50

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S37	磨石	14.9・7.9 5.2	石英閃緑岩 980.0	埋没土	楕円形の礫の一面が磨られており、平坦な面となっている。
S38	磨石・敲石	10.6・7.3 3.1	溶結凝灰岩 350.0	埋没土	一端を欠損する扁平な礫の側面に、巾の狭い磨り面と、打痕がみられる。

1区24号住居出土遺物観察表《土器》第132図・PL51

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
441	土師器 杯	ほぼ完形 口 11.4cm 高 3.5cm	北東隅 床面上2.5cm	①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR7/4	口縁端部が急激に内湾する杯。やや深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
443	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (11.6cm) 高 2.9cm	埋没土	①直径1～3mmの砂粒・石英細粒・長石細粒を含む。 ②酸化焰③黄橙7.5YR7/8	口縁端部がゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
440	土師器 杯	口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損 口 11.6cm 高 3.3cm	北西隅 床面上16.5cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁端部がかすかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向の篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
442	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (19.6cm) 高 4.3cm	竈左脇 床面上2cm	①直径1～3mmの砂粒を多く含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁部が大きく外反する盤状の杯。大形。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
445	須恵器 椀	体部下位～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 底 (12.8cm)	埋没土	①微細砂を僅かに含む。 ②還元焰。③褐灰10YR6/1	底径のやや広い、高台付の椀。内外面 回転ナデ調整。底部切り離し技法不明。回転篋削り。付高台。
444	須恵器 壺	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (14.0cm)	埋没土	①黒色鉱物微細粒を含む。 ②還元焰。 ③黄灰2.5Y6/1	外面端部に面をつくり、やや内湾させた蓋。 外面 口縁部横ナデ。頸部～体部上位縦方向タキ後ナデ。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向タキ後ナデ。体部指ナデ。
439	土師器 甕	口縁～体部中位残存 口 21.0cm	南西部 床面上3.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部が外反する長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部体部の篋削り工具の圧痕が強く残る。体部斜方向篋削り。内面 口縁～頸部横ナデ。体部横方向篋ナデ。

1区26号住居出土遺物観察表《土器》第134図・PL51

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
454	土師器 杯	$\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.0cm) 高 3.7cm	埋没土	①直径2～4mmの砂粒と石英粒を含む。②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	口縁部が内傾する杯。底部は中央がやや深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り。周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
455	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (10.6cm) 高 2.5cm	埋没土	①微細砂・長石細粒・石英細粒を含む。②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙2.5YR6/4	口縁端部が短く直立する小形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
456	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (11.0cm) 高 2.6cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁部が短く外反する小形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ。
458	土師器 杯	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (11.4cm) 高 3.0cm	埋没土	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁端部が短くゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横・斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。指頭痕残る。
449	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.2cm) 高 (3.6cm)	北西部 床面上6cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。③橙7.5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する、やや大形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
457	土師器 杯	口縁～杯部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (13.1cm)	埋没土	①直径1～2mmの砂粒・角閃石を含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁端部が短くゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(1区26号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
451	土師器 甕	口縁～体部上位1/4破片 口(17.2cm)	埋没土	①直径1～2mmの砂粒・微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。体部はやや丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。
452	土師器 甕	口縁～体部上位1/4残存 口(19.2cm)	埋没土	①直径0.5～1mmの砂粒・石英粒・角閃石を多量に含む。 ②酸化焰。③橙7.5YR6/6	ゆるやかな頸部から、大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。
453	土師器 甕	口縁～体部上位1/4破片 口(22.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	ゆるやかな頸部から、大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
448	土師器 甕	体部下位1/4残存 底 5.0cm	竈前 床面上1.5cm	①細砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄褐10YR5/4	小さな平底。やや膨らんだ長胴の体部。 外面 体部下位縦方向寛削り。更に下位横方向ナデ後、横方向寛磨き。 内面 体部下位横方向寛ナデ。
447	土師器 甕	口縁～体部上位1/4破片 口(24.0cm)	竈左袖 床面上2cm	①細砂・角閃石・長石細粒を含む。②酸化焰。 ③黄褐7.5YR7/8	大きく外反する口縁部。端部はさらに外傾する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。
446	土師器 甕	口縁～体部中位1/4残存	南部 床面上5.5cm	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかな頸部から外反する口縁部。体部は上半がやや膨らむ。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦・斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部斜・横方向寛ナデ。
461	須恵器 甕	体部破片	埋没土	①直径5～8mmの小石・細砂を多量に含む。②還元焰 ③褐灰5YR6/1	外面 体部格子タタキ。 内面 体部同心円状タタキ。
459	須恵器 杯	天井部～口縁部1/4破片 口(10.0cm)高(3.7cm)	埋没土	①少量の細砂・多量の微細砂を含む。②還元焰。 ③褐灰7.5YR5/1	底径の大きい小形の杯。 内外面 回転ナデ調整。天井部外面右回転寛削り。
460	須恵器 蓋	1/4破片 口(12.8cm)	埋没土	①微細砂・白色鉱物粒・黒色鉱物粒含。②還元焰 ③灰N5/	内外面 回転ナデ調整。
450	須恵器 甕	頸部破片	北西部 床面上7cm	①直径5～8mmの小石細砂を多量に含む。②還元焰。 ③褐灰7.5YR5/1	頸部に断面方形の突帯が巡る大甕。 内外面 ナデ調整。口縁部下外面に櫛波状文が施文されている。

1区26号住居出土遺物観察表《石器》第135図・PL51

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S39	砥石	9.7・6.65 4.3	砥沢石 210.0	埋没土	上・下二面に自然面を残す糸巻き状の手持ち砥石。稜線は鋭く使いこまれているが、使用面の両端に段があり、変則的な使用をうかがわせる。
S40	磨石・敲石	8.4・5.8 3.2	粗粒安山岩 190.0	埋没土	一端を欠く棒状の另一端の小口に打痕がみられ、側面に磨り面がみられる。
S41	凹み石	7.8・5.2 3.4	粗粒安山岩 190.0	埋没土	偏平な楕円形の礫の両面に凹みがある。
S42	凹み石	7.9・5.7 4.0	軽石 120.0	埋没土	偏平な楕円形の軽石の両面に凹みがある。

2区85号住居出土遺物観察表《土器》第136図・PL51

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
849	土師器 杯	1/4残存 口(13.6cm)高(4.2cm)	東壁際 床面上4cm	①直径1～3mmの砂粒・角閃石を含む。②酸化焰。 ③淡赤橙2.5YR7/4	口縁端部がゆるやかに内傾する。やや深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部寛削り。周縁部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
851	土師器 杯	口縁～杯部1/4破片 口(16.8cm)	埋没土	①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/6	口縁部がゆるやかに外反する盤状の杯。大形。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部横方向丁寧なナデ。
848	土師器 杯	口縁～杯部1/4破片 口(18.4cm)	中央部 床面直上	①細砂・角閃石・長石細粒を含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁部がゆるやかに外反する、深めの杯。口縁部下の稜線は不明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ。
847	土師器 甕	口縁～体部中位1/4破片 口(18.2cm)	竈右袖脇 床面上4.5cm	①微細砂・角閃石・赤色鉱物粒を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	ゆるやかな屈曲の頸部。口縁部は短く外反する。体部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
852	須恵器 盤	口縁～底部破片 口(26.2cm)	埋没土	①細砂を多く含む。黒色鉱物微細粒が目立つ。 ②還元焰。③灰7.5Y5/1	口縁端部外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。中位回転寛削り。 内面 口縁部横ナデ。中位横ナデ。
853	土師器 甕	口縁～体部上位破片 口(20.0cm)	埋没土	①砂粒・細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/3	大きく外反する口縁部。端部は肥厚する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。
854	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口(23.0cm)	竈右袖 床面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。体部は上半が膨らむ。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部の寛削り打痕が残る。体部横・斜方向寛削り。下半部摩耗が著しく整形痕不明。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向寛ナデ。

遺物観察表

2区102号居住出土遺物観察表《土器》第138図・PL53

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
726	土師器 杯	完形 口 11.1cm 高 3.7cm		南壁際西寄り 床面上4.5cm	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	口縁端部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り。周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
731	土師器 杯	口縁～杯部1/4残存 口 (13.0cm) 高 (3.9cm)		竈内 床面上2.5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③橙5YR6/6	口縁端部が短くゆるやかに内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部周縁横方向篋削り。中央部一方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁寧ナデ。
730	土師器 杯	口縁～底部1/2残存 口 11.4cm 高 3.8cm		竈右脇 床面上3.5cm	①細砂・角閃石を多量に含。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	口縁端部が短く薄く直立する杯。やや深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部井桁の方向に篋削り。周縁部横方向の 篋削り。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
728	土師器 杯	口縁～底部3/4残存 口 12.7cm 高 4.0cm		竈内 床面上3.5cm	①微細砂・細砂・角閃石を 含む。②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4	口縁端部が短くゆるやかに直立する杯。深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
729	土師器 杯	口縁～底部1/4残存 口 (12.5cm) 高 4.4cm		南壁際 床面上13cm	①直径1～2mmの砂粒・微 細砂を多く含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかにごく短く内湾する杯。深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り。周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
727	土師器 杯	完形 口 12.4cm 高 4.3cm		東壁ピット 脇 床面上3cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙5YR6/4	口縁端部が短く内傾する杯。深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篋削り。周縁部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
734	土師器 杯	完形 口 13.4cm 高 4.2cm		埋没土	①細砂・石英・角閃石を多 く含む。②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/8	口縁端部が短く直立する杯。深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部T字方向に二方向の篋削り。周縁部横 方向篋削り。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
733	土師器 甕	口縁～体部上位1/2 口 (16.6cm)		埋没土	①微細砂・細砂・角閃石を 多量に含む。②酸化焰。 ③にぶい赤褐7.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向篋削り。体部横方向篋削り。
724	土師器 甕	口縁～体部中位1/4残存 口 (15.2cm)		竈右袖部 床面直上	①直径1～8mmの砂粒小石 を多量に含む。②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向篋削り。体部斜方向篋削り。
725	土師器 甕	口縁部一部欠損 口 11.2cm 高 15.9cm 底 4.4cm		竈焚き口	①微細砂・角閃石を多く含。 ②酸化焰。 ③にぶい橙10YR7/3	コップ形。頸部はなく、口径が最大径。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。磨いた効果がある部分もある。 底部ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部上半斜方向篋削り。下半粘土帯 残る。指押え。底部ナデ。
720	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口 20.0cm		竈焚き口 床面直上	①微細砂・角閃石・白色鉍 物細粒を多量に含む。 ②酸化焰。③橙7.5YR6/6	ゆるやかな頸部から外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向篋削り。下位斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向篋削り。体部横方向篋削り。
721	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口 22.0cm		竈右袖部 床面直上	①微細砂・角閃石・白色鉍 物粒を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4	大きく外反する口縁部。体部上位がやや膨らむ長胴。 外面 口縁部横ナデ。頸部1条のナデ、ナデの上には体部篋削り端部圧 痕がつく。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向篋削り。体部横方向篋削り。
723	土師器 甕	口縁～体部中位1/4残存 口 (21.6cm)		竈左袖部 床面直上	①微細砂・角閃石多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	大きく外反する口縁部。体部上位がやや膨らむ長胴。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ篋削り工具の庄痕が顕著。体部斜方向 篋削り。内面 口縁部横ナデ。頸部横方向篋削り。体部横方向篋削り。
722	土師器 甕	口縁～体部下位1/2残存 口 (22.0cm)		竈左袖部 床面直上	①直径1～2mmの細砂・白 色鉍物粒を多量に含む。 ②酸化焰③明赤褐5YR5/6	大きく外反する口縁部。直線的な長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向篋削り。
719	土師器 甕	体部一部欠損 口 18.0cm 高 27.1cm 最 25.5cm 底 8.0cm		南壁脇東寄り 床面直上	①直径1～3mmの砂粒・石 英粒・白色鉍物粒多量に含 ②酸化焰③暗褐7.5YR3/4	丸く屈曲する頸部。口縁部は外反し、端部は丸い。 外面 口縁部・頸部横ナデ。体部斜方向篋削り後縦・横・斜方向篋削り 内面 口縁部・頸部横ナデ。体部上半横方向篋削り。縦・斜ナデ。
737	須恵器 蓋	天井部～口縁1/4 口 (18.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。③灰白7.5Y7/1	やや屈曲の緩いカエリをもつ蓋。 内外面 回転ナデ。
738	須恵器 壺	頸部のみ残存		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。③灰7.5Y4/1	内外面 回転ナデ。頸部内面および肩部外面に自然釉。
732	須恵器 碗	口縁一部欠損 口 8.4cm 高 4.1cm 底 6.2cm		東壁際 床面上24cm	①直径1mmの白色鉍物粒含。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	口径・底径ともに小さく、器高のある碗。 内外面 ロクロ整形。底部外面手持ナデ調整。底部切り離し技法不明。
735	須恵器 碗	底部～高台部1/2残存 底 (13.0cm)		埋没土	①黒色鉍物微細粒を多く含。 ②還元焰。③褐灰7.5Y6/1	後の鋭い高台がつく。 内外面 回転ナデ調整。付高台。
736	須恵器 杯	1/4残存 口 11.5cm 高 3.2cm 底 7.1cm		埋没土	①直径0.5～2mmの黒色鉍 物粒多く含む。②還元焰。 ③明褐灰5YR7/1	底径の広い、浅い杯。 内外面 ロクロ整形。回転篋削り後、底部手持ち篋削り。

2区102号居住出土遺物観察表《石器》第139図・PL53

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S71	磨石	20.5・6.7	かこう岩 390.0	埋没土	大形の礫の一面に磨り面がみられるが、一部を残して欠損している。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

2区73号住居出土遺物観察表《石器》第142図・PL54

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S54	敲石	11.9・5.3 4.6	ひん岩 400.0	埋没土	断面三角形の棒状鏢の一端に打痕がみられる。

3区9号住居出土遺物観察表《土器》第143図・PL54

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
397	土師器 甕	体部下位1/2残存		西部・北西隅 床面直上	①微細砂・細砂・小石を多量に含む。②酸化焙。③にぶい橙5YR6/4	球形の体部破片。 外面 体部斜方向篋削り。 内面 体部ナデ。
401	土師器 杯	口縁部1/2破片 口(12.8cm)		南部 床面下11cm	①細砂・赤色鉱物細粒を含む。②酸化焙。硬質。③にぶい黄橙10YR7/3	二段に屈曲して外反する口縁部。杯部は浅い。口縁部下の稜は鋭い。 外面 口縁部横ナデ。須恵器のような凹凸を意識している。杯部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
400	土師器 杯	口縁～杯部1/2破片 口(14.0cm)高(4.8cm)		北東隅 床面上3cm	①微細砂・長石細粒を含む。②酸化焙。硬質。③暗赤褐5YR3/2	高く外反する口縁部。口縁部下の稜は鋭い。杯部は浅い。 外面 口縁部横ナデ。中央付近に沈線。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
399	土師器 杯	1/4残存 口13.3cm 高4.3cm		北東隅 床面上3cm	①細砂・角閃石を多く含む。②酸化焙。硬質。③にぶい赤褐2.5YR5/4	やや端部が内湾して外反する口縁部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。底部一方方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
398	土師器 杯	完形 口14.2cm 高4.3cm		北東隅 床面上2cm	①直径2～4mmの砂粒・石英粒・長石粒を多く含む②酸化焙。硬質③黒褐5YR2/2	外反する口縁部。口縁部下の稜は鋭い。口縁部内面面取り。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。

3区2号住居出土遺物観察表《土器》第146図・PL55

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
377	土師器 杯	1/4残存 口10.9cm 高3.3cm		埋没土	①細砂・角閃石を含む。②酸化焙。やや軟質。③橙2.5YR6/6	口縁部が短く外反して直立する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
380	土師器 杯	口縁～杯部1/2破片 口(12.0cm)高(4.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含むが、精選された胎土である。②酸化焙。硬質③橙5YR6/6	口縁部が外反する杯。口縁部下の稜線は鋭い。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
379	土師器 杯	口縁～杯部1/2破片 口(10.6cm)高3.3cm		埋没土	①直径1～2mmの砂粒・長石粒を含む。②酸化焙。やや軟質。③橙2.5YR6/6	口縁部が短く外反して直立する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篋削り。単位不明。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
378	土師器 杯	1/4残存 口(12.0cm)高3.5cm		埋没土	①細砂・石英粒・角閃石を含む。②酸化焙。軟質。③明赤褐5YR5/6	口縁部がごく短く内傾する杯。やや深い。 外面 口縁部横ナデ。体部荒れている。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。
374	須恵器 長頸壺	口縁部1/2残存 口(8.4cm)		北東隅 床面上22cm	①微細砂を含む。白色鉱物粒が目立つ。②還元焙。硬質。③灰5YR4/1	口縁部が外反する長頸壺。口縁部上面に面取り。 外面 口縁部回転ナデ調整。 内面 口縁部回転ナデ調整。自然袖付着。
373	土師器 小型甕	口縁～体部中位1/2残存 口(13.2cm)高5.0cm		南壁際 床面直上	①直径0.5～2mmの砂粒・長石粒を含む。②酸化焙。③にぶい橙5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部から、短く外反する口縁部。口縁部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。
375	土師器 甕	口縁～体部上位1/2破片 口(20.6cm)		埋没土	①直径1～5mmの砂粒と角閃石を多量に含む。②酸化焙③にぶい黄橙10YR6/4	大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。
376	土師器 甕	口縁～体部上位1/2破片 口(16.8cm)		埋没土	①細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焙。③橙7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。やや丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。

3区2号住居出土遺物観察表《石器》第146図・PL55

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S35	磨石・敲石	12.3・5.1 3.1	ひん岩 275.0	埋没土	一端を欠損する楕円形の偏平な鏢の側面に巾の狭い磨り面と打痕がみられる。もう一側面と、完存する小口にも打痕がみられる。

3区4号住居出土遺物観察表《土器》第147図・PL56

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
382	須恵器 高杯	口縁部・脚部欠損 口13.2cm 高15.2cm		北東隅 床面上2cm	①黒色鉱物微細粒を少量含む。②還元焙。③灰白2.5YR7/1	外反する口縁部。やや浅い杯部に長脚の脚部。脚中位に2条の沈線が巡るが、透かし孔はない。 外面 口縁部回転ナデ。杯部回転ナデ。脚部回転ナデ。内面 口縁部回転ナデ。杯部回転ナデ。脚部上半斜方向指ナデ。下半回転ナデ。

5区7号住居出土遺物観察表《土器》第149図・PL56

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
860	土師器 杯	1/2残存 口(10.8cm)高3.9cm		北西隅 床面上2.5cm	①直径1mmほどの砂粒・長石粒を含む。②酸化焙。やや硬質。③橙5YR6/6	口縁部がごく短く内湾する、やや深い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部篋削り。周縁部一部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

遺物観察表

(5区7号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
861	土師器 杯	ほぼ完形 口 10.5cm 高 3.5cm		西壁際 床面上4cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁端部がゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向篔削り。周縁部横方向篔削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部横ナデ。
866	土師器 杯	口縁～底部1/4破片 口 (13.0cm) 高 3.5cm		埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部がゆるやかに外反する杯。口縁部下の稜は不明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向篔削り。磨耗が著しく単位は不明瞭。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
863	土師器 杯	1/4欠損 口 10.6cm 高 3.2cm		北西隅 床面上3.5cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	口縁端部が短く内傾する、やや深い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部多方向篔削り。周縁部横方向篔削り、さらに周縁ナデ。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
858	土師器 甕	底部残存		北西隅 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4	丸底。 外面 底部篔削り。 内面 丁寧なナデ。
864	須恵器 椀	1/2残存 口 (11.0cm) 高 4.4cm 底 (7.3cm)		竈内埋没土	①細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③明褐2.5YR5/6	底径の広い、深い椀。平底。 内外面 横ナデ。ロクロ使用かどうかは疑問。椀部外面に2段にわたって沈線がめぐる。底部外面は篔削り。
856 a	土師器 甕	口縁～肩部1/4破片 口 (18.8cm)		竈前 床面上18cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR7/6	ゆるやかに屈曲する口縁部から、わずかに外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篔削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篔削り。
856 b	土師器 甕	体部のみ1/2残存		竈前 床面上18cm	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	球形の体部。 外面 体部磨耗して明確でないが、横方向篔削り。 内面 体部丁寧な篔削り。
865	土師器 甕	口縁～体部上位1/4破片		埋没土	①微細砂・角閃石・直径1～3mmの小石・長石細粒を含む。②酸化焰。やや硬質。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかな屈曲の頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篔削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篔削り。
857	土師器 甕	口縁～体部上位残存 口 20.6cm		南寄り 床面上4.5cm 南壁際 床面上13.5cm	①細砂・角閃石と直径2～8mmの白色鉱物粒を多量に含む。②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/8	大きく外反する口縁部。体部上位はやや膨らむ。 外面 口縁部横ナデ。頸部篔削り端部の圧痕が明瞭に残る。一部ナデ。体部斜方向篔削り。内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
859	土師器 甕	体部下位～底部残存		竈右袖内 床面上15.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐7.5R4/3	小さな平底。 外面 体部下位斜方向篔削り。底部篔削り。 内面 体部ループ状の篔削り。底部横方向篔削り。

7区10号住居出土遺物観察表《土器》第150図・PL57

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
867	土師器 甕	口縁～体部中位1/2残存 口 26.0cm		北東壁寄り 床面直上	①微細砂・角閃石・白色鉱物粒を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR6/4	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。端部は丸い。球形の体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部明瞭な稜を作り出し凹線の様になっている。体部横方向篔削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向ナデ。体部横方向篔削り。

8区7号住居出土遺物観察表《土器》第152・153図・PL58

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
413	土師器 杯	1/2残存 口 (11.4cm) 高 3.9cm		貯蔵穴脇 床面直上	①砂粒・微細砂・角閃石を多く含む。②酸化焰。 ③暗赤褐7.5R3/2	やや内湾して外反する口縁部。端部内面に面とり。口縁部下は凹線。 外面 口縁部横ナデ。底部篔削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
411	土師器 杯	ほぼ完形 口 10.9cm 高 3.6cm		貯蔵穴 底面上1.5cm	①細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	やや浅い杯部。わずかに外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向篔削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
406	土師器 杯	ほぼ完形 口 11.9cm 高 3.9cm		貯蔵穴脇 床面直上	①砂粒を含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/8	大きく外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部篔削り。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
404	土師器 杯	完形 口 11.8cm 高 4.1cm		貯蔵穴脇 床面上6cm 床面直上	①細砂を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR7/8	外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部篔削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
414	土師器 杯	口縁～底部1/4残存 口 (13.1cm) 高 (4.1cm) 底 (11.9cm)		竈前 床面直上	①直径1～2mmの砂粒・赤色鉱物粒を含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	外反する口縁部。杯部はやや浅い。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部篔削り。荒れている。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
409	土師器 杯	完形 口 4.2cm 高 4.0cm		貯蔵穴脇 床面上3.5cm	①直径1～2mmの砂粒・赤色鉱物粒を含む。②酸化焰 硬質③橙5YR7/8	外反する口縁部。口縁端部は丸い。口縁部下は凹線。 外面 口縁部横ナデ。底部篔削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
412	土師器 杯	口縁部1/4欠損 口 11.9cm 高 3.9cm		南隅部 床面上4cm	①直径1mmの細砂・赤色鉱物粒を含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/8	大きく外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。底部篔削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
408	土師器 杯	口縁部1/4欠損 口 12.7cm 高 4.4cm		南東壁際 床面上13cm	①直径2～4mmの砂粒を多く含む。②酸化焰。硬質。 ③橙7.5YR6/8	外反する口縁部。口縁端部はやや丸く肥厚する。 外面 口縁部横ナデ。底部篔削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(8区7号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
410	土師器 杯	口縁部1/4欠損 口 12.2cm 高 4.1cm	東隅部 床面上5.5cm	①細砂・赤色鉱物粒を多く含む。②酸化焰。やや軟質。 ③橙7.5YR6/6	外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
407	土師器 杯	完形 口 12.2cm 高 3.6cm	貯蔵穴脇 床面上6.5cm	①砂粒・細砂を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR7/8	外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。杯部はやや浅い。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
416	土師器 杯	1/2残存 口 (12.7cm) 高 3.9cm	埋没土	①細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	大きく外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。杯部は浅い。 外面 口縁部横ナデ。杯部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
405	土師器 杯	完形 口 11.8cm 高 4.0cm	北壁隅部 床面上22cm	①細砂を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR7/6	外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
417	土師器 杯	口縁～杯部1/4破片 口 (10.2cm)	埋没土	①細砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。③橙5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する杯。やや小形。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向寛削り。内面 口縁部横ナデ杯部ナデ。
415	土師器 杯	1/2残存 口 (11.8cm) 高 (3.0cm)	貯蔵穴脇 床面上6cm	①微細砂・長石粒・角閃石を含む。②酸化焰。硬質。 ③にぶい橙7.5YR6/4	口縁部がゆるやかに直立する杯。杯部は浅い。口縁部下の稜は不明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
426	須恵器 杯	口縁～体部下位1/2破片 口 (15.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。白色鉱物粒・黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。③灰7.5Y5/1	成形技法不明。右回転クロコ整形、切り離し技法不明。
427	須恵器 椀	体部下位～高台部1/4底 (7.4cm)	埋没土	①細砂を含む。黒色鉱物粒が目立つ。②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	ハの字形に付けられた高台。 右回転クロコ整形、底部回転糸切り離し、付高台。
422	土師器 台付壺	底部台部欠損 口 13.7cm	竈右脇 床面直上	①微細砂・角閃石・細砂を多量に含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。体部は球形。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向寛削り後、下半のみ横・斜方向寛磨き。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。
423	土師器 壺	口縁～体部中央1/2残存 口 (12.8cm) 最 18.1cm	竈左脇 床面上12cm	①直径3～8mmの小石・砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。やや硬質。 ③橙5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。口縁部は直立気味に立ち上がり端部が外反する。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部斜方向寛削り後、縦方向寛磨き。
424	須恵器 壺	完形 口 4.2cm 高 13.7cm	南東壁寄り 床面上3.5cm	①少量の細砂と微細な黒色鉱物粒を含む。②還元焰。 ③灰7.5Y5/1～6/1	ゆるやかに直立する短い口縁部。やや肩の張る体部。丸底。 外面 口縁部回転ナデ。体部上半回転ナデ、下半斜方向寛削り、寛ナデ。底部一方寛削り。内面 口縁部回転ナデ。
425	土師器 壺	口縁部1/2破片 口 (21.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい褐7.5YR6/3	ゆるやかなくの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横方向寛削り。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部丁寧なナデ。体部横方向寛削り後縦方向寛磨き。
419	土師器 壺	口縁～体部下位1/4残存 口 18.8cm	竈前 床面直上	①細砂・角閃石・白色鉱物粒を多く含む。②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。中位がやや膨らむ長胴の体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部・頸部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
418	土師器 壺	口縁～体部下位残存 口 22.0cm	竈前 床面直上	①細砂・角閃石・直径2～8mmの白色鉱物粒を多量に含む。②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/3	大きく外反する口縁部。中位よりやや下が膨らむ長胴の壺。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向寛削り、下位に縦方向寛磨き。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向寛ナデ、下位斜・縦方向寛ナデ。
421	土師器 壺	体部下半1/2～底部残存 底 5.4cm	竈右袖部 床面上25.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR7/6	小さな平底。長胴壺。 外面 体部中位縦方向寛削り、下位斜方向寛削り。底部一方寛削り。 内面 体部中位横方向寛ナデ、下位斜方向ナデ。底部寛ナデ。

8区7号住居出土遺物観察表《土器》第153図・PL58

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
420	土師器 壺	体部・底部一部欠損 口 17.8cm 高 26.0cm 底 (6.0cm)	竈左袖部 床面直上	①細砂・角閃石・石英粒を多量に含む。②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/8	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。卵形の体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上半縦方向寛削り、下半斜方向寛削り。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向寛ナデ。

8区11号住居出土遺物観察表《土器》第154図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
403	土師器 杯	口縁部1/2破片 口 (11.4cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③橙5YR6/8	大きく外反する口縁部。口縁部下の稜は明瞭。 外面 口縁部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。
402	土師器 小形壺	口縁部1/4破片 口 (15.0cm)	東壁 床面上6.5cm 西壁際 床面上10.5cm	①微細砂・角閃石・長石細粒を含む。 ②酸化焰。 ③赤褐10YR5/3	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。広口。 外面 口縁部横ナデ。体部寛削り。単位方向不明。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。

群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告第193集

荒砥上ノ坊遺跡Ⅰ
縄文時代～古墳時代の調査
《遺物観察表編》

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

平成7年3月20日 印刷
平成7年3月25日 発行

編集／群馬県教育委員会
〒371 前橋市大手町1丁目1番1号
電話 (0272) 23-1111(代表)

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511(代表)

発行／群馬県考古資料普及会
〒377 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社